

(様式第10)

海大第 501号
令和 6年 10月 4日

厚生労働大臣 殿

北海道大学総長 寶金 清博

北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
氏名	国立大学法人北海道大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

国立大学法人北海道大学 北海道大学病院

3 所在の場所

〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目
電話(011) 716 - 1161

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科							有
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科	4腎臓内科	
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科	8代謝内科	
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			11リウマチ科	
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	腫瘍内科	2	脳神経内科	3	循環器外科	4	形成外科	5	リハビリテーション
6	病理診断科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位: 床)
64	0	0	0	874	938	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	240	295.9	535.9	看護補助者	111	診療エックス線技師	0
歯科医師	78	51.2	129.2	理学療法士	19	臨床検査技師	82
薬剤師	76	0	76	作業療法士	17	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	10	その他	0
助産師	33	0	33	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	1007	15.6	1022.6	臨床工学士	30	医療社会事業従事者	30
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	64
歯科衛生士	11	0	11	歯科技工士	6	事務職員	320
管理栄養士	7	0	7	診療放射線技師	60	その他の職員	99

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	70	眼科専門医	16
外科専門医	73	耳鼻咽喉科専門医	15
精神科専門医	15	放射線科専門医	33
小児科専門医	27	脳神経外科専門医	13
皮膚科専門医	12	整形外科専門医	37
泌尿器科専門医	14	麻酔科専門医	31
産婦人科専門医	18	救急科専門医	13
		合計	387

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (渥美 達也) 任命年 令和 4 年 4 月 1 日
 日 日

「医療安全管理委員会 委員」 病院長補佐 平成28年4月1日～平成30年3月31日 病院長 令和4年4月1日～現在に至る
--

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	713.6 人	18.2 人	731.8 人
1日当たり平均外来患者数	2463.7 人	590.9 人	3054.5 人
1日当たり平均調剤数		1537	剤
必要医師数		213	人

必要歯科医師数	33	人
必要薬剤師数	25	人
必要(准)看護師数	468	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	1072 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	11 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 222 ㎡		病床数	6 床		
	[移動式の場合] 台数					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 13 ㎡					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	93 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	173 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) オートクレーブ			
病理検査室	799 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 切り出し台			
病理解剖室	208 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 剖検台			
研究室	2031 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
講義室	37 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1 室	収容定員	50 人
図書室	136 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	3 室	蔵書数	1670 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	90.97	%	逆紹介率	61.97	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		15328		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11317		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1285		人
	D: 初診の患者の数		18263		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
橋場 弘之	田村・橋場法律相談事務所	○	法律に関する識見を有する者	無	1

橋本 暁佳	札幌医科大学		医療に係る安全管理に関する	無	1
高田 久	北海道盲導犬協会		医療を受ける者	無	2
向野 雅彦	北海道大学大学院		医療を提供する者	無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
本学のホームページおよび本院のホームページへの掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0人
テモゾロミド用量強化療法	0人
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法	1人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	0人
陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。)	1人
シスプラチン静脈内投与及び強度変調陽子線治療の併用療法 頭頸部扁平上皮がん(喉頭がん、中咽頭がん又は下咽頭がんであって、ステージがⅡ期(p16陽性中咽頭がんに限る)、Ⅲ期又はⅣ期のものに限る。)	2人
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	0人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブパクリタキセル静脈内投与の併用療法	0人
イマチニブ経口投与及びペムプロリズマブ静脈内投与の併用療法	0人
生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん(大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。)	0人
	0人
先進医療の種類合計数	10

取扱い患者数の合計(人)

4人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要	実績無し		
医療技術名			取扱患者数
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	17	90	腸管神経節細胞僅少症	1
2	筋萎縮性側索硬化症	38	91	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
3	脊髄性筋萎縮症	10	92	CFC症候群	1
4	原発性側索硬化症	2	93	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	4
5	進行性核上性麻痺	17	94	先天性ミオパチー	1
6	パーキンソン病	272	95	筋ジストロフィー	30
7	大脳皮質基底核変性症	9	96	脊髄空洞症	5
8	ハンチントン病	4	97	脊髄髄膜瘤	6
9	神経有棘赤血球症	1	98	アイザックス症候群	1
10	シャルコー・マリエ・トゥース病	8	99	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性 脳動脈症	3
11	重症筋無力症	96	100	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びま ん性白質脳症	1
12	多発性硬化症／視神経脊髄炎	194	101	前頭側頭葉変性症	2
13	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運 動ニューロパチー	21	102	アレキサンダー病	1
14	封入体筋炎	8	103	限局性皮質異形成	2
15	クロー・深瀬症候群	5	104	先天性大脳白質形成不全症	1
16	多系統萎縮症	28	105	ドラベ症候群	1
17	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	188	106	レノックス・ガストー症候群	18
18	ライソゾーム病	10	107	ウエスト症候群	5
19	副腎白質ジストロフィー	1	108	ラスムッセン脳炎	2
20	ミトコンドリア病	21	109	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1
21	もやもや病	154	110	結節性硬化症	12
22	プリオン病	1	111	先天性魚鱗癬	6
23	HTLV-1関連脊髄症	4	112	家族性良性慢性天疱瘡	1
24	全身性アミロイドーシス	48	113	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	60
25	遠位型ミオパチー	1	114	特発性後天性全身性無汗症	12
26	自己貪食空胞性ミオパチー	1	115	弾性線維性仮性黄色腫	1
27	神経線維腫症	46	116	マルファン症候群	11
28	天疱瘡	87	117	エーラス・ダンロス症候群	3
29	表皮水疱症	12	118	ウィルソン病	12
30	膿疱性乾癬(汎発型)	16	119	クルーゾン症候群	1
31	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	120	歌舞伎症候群	2
32	中毒性表皮壊死症	1	121	無脾症候群	2
33	高安動脈炎	46	122	ウェルナー症候群	1
34	巨細胞性動脈炎	23	123	4p欠失症候群	1
35	結節性多発動脈炎	22	124	アンジェルマン症候群	1
36	顕微鏡的多発血管炎	71	125	22q11.2欠失症候群	1
37	多発血管炎性肉芽腫症	36	126	修正大血管転位症	6
38	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	48	127	単心室症	11
39	悪性関節リウマチ	19	128	左心低形成症候群	2
40	パージャール病	6	129	三尖弁閉鎖症	7
41	原発性抗リン脂質抗体症候群	21	130	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2
42	全身性エリテマトーデス	590	131	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
43	皮膚筋炎／多発性筋炎	233	132	ファロー四徴症	10
44	全身性強皮症	137	133	両大血管右室起始症	3
45	混合性結合組織病	55	134	アルポート症候群	3
46	シェーグレン症候群	426	135	急速進行性糸球体腎炎	9
47	成人スチル病	31	136	抗糸球体基底膜腎炎	3
48	再発性多発軟骨炎	9	137	一次性ネフローゼ症候群	76
49	ペーチェット病	193	138	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3
50	特発性拡張型心筋症	120	139	紫斑病性腎炎	11
51	肥大型心筋症	69	140	先天性腎性尿崩症	1
52	再生不良性貧血	43	141	間質性膀胱炎(ハンナ型)	12
53	自己免疫性溶血性貧血	14	142	オスラー病	37
54	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	143	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	6
55	特発性血小板減少性紫斑病	82	144	α1-アンチトリプシン欠乏症	1
56	血栓性血小板減少性紫斑病	1	145	副甲状腺機能低下症	2
57	原発性免疫不全症候群	47	146	偽性副甲状腺機能低下症	2
58	IgA腎症	69	147	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	9
59	多発性嚢胞腎	204	148	グルタル酸血症1型	1
60	黄色靱帯骨化症	8	149	尿素サイクル異常症	1
61	後縦靱帯骨化症	167	150	リジン尿性蛋白不耐症	1
62	広範脊柱管狭窄症	8	151	複合カルボキシラーゼ欠損症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

63	特発性大腿骨頭壊死症	180	152	原発性高カイロミクロン血症	1
64	下垂体性ADH分泌異常症	51	153	家族性地中海熱	28
65	下垂体性TSH分泌亢進症	5	154	強直性脊椎炎	38
66	下垂体性PRL分泌亢進症	21	155	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
67	クッシング病	35	156	軟骨無形成症	1
68	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	90	157	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
69	下垂体前葉機能低下症	351	158	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
70	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4	159	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	4
71	先天性副腎皮質酵素欠損症	36	160	後天性赤芽球癆	3
72	先天性副腎低形成症	1	161	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
73	アジソン病	3	162	クローンカイト・カナダ症候群	3
74	サルコイドーシス	243	163	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
75	特発性間質性肺炎	71	164	総排泄腔遺残	1
76	肺動脈性肺高血圧症	65	165	胆道閉鎖症	9
77	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1	166	IgG4関連疾患	21
78	慢性血栓栓性肺高血圧症	73	167	黄斑ジストロフィー	2
79	リンパ脈管筋腫症	26	168	レーベル遺伝性視神経症	1
80	網膜色素変性症	37	169	若年発症型両側性感音難聴	2
81	バッド・キアリ症候群	3	170	好酸球性副鼻腔炎	68
82	特発性門脈圧亢進症	4	171	先天性肺静脈狭窄症	1
83	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	94	172	シトリン欠損症	1
84	原発性硬化性胆管炎	15	173	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	1
85	自己免疫性肝炎	56	174	遺伝性自己炎症疾患	2
86	クローン病	187	175	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	14
87	潰瘍性大腸炎	341	176	特発性多中心性キャッスルマン病	9
88	好酸球性消化管疾患	8	177	ホモシスチン尿症	1
89	慢性特発性偽性腸閉塞症	2	178		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	177
合計患者数(人)	6779

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療	・抗菌薬適正使用体制加算
・特定機能病院入院基本料 1.一般病棟の場合 イ.7対1入院基本料	・患者サポート体制充実加算
・特定機能病院入院基本料 3.精神病棟の場合 ハ.13対1入院基本料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・臨床研修病院入院診療加算 1 基幹型	・ハイリスク妊娠管理加算
・超急性期脳卒中加算	・ハイリスク分娩管理加算
・診療録管理体制加算1	・呼吸ケアチーム加算
・医師事務作業補助体制加算1 ロ:20対1	・後発医薬品使用体制加算1
・急性期看護補助者体制加算1 25対1(看護補助者5割以上)	・病棟薬剤業務実施加算1・2
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・データ提出加算2イ
・夜間看護体制加算	・入退院支援加算1イ
・看護職員夜間配置加算1 12対1	・入退院支援加算3
・看護補助加算2	・入院時支援加算2
・療養環境加算	・認知症ケア加算2
・重症者等療養環境特別加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算

・無菌治療室管理加算1・2	・精神疾患診療体制加算
・放射線治療病室管理加算 1 治療用放射性同位元素による治療の場合	・精神科急性期医師配置加算2イ
・緩和ケア診療加算	・排尿自立支援加算
・個別栄養食事管理加算	・地域医療体制確保加算
・精神科応急入院施設管理加算	・救命救急入院料1 (ER)
・精神科身体合併症管理加算	・精神疾患診断治療初回加算イ
・精神科リエゾンチーム加算	・救急体制充実加算2
・摂食障害入院医療管理加算	・小児加算 (ER)
・栄養サポートチーム加算	・早期離床・リハビリテーション加算 (ER)
・医療安全対策加算1	・特定集中治療室管理料2 (ICU)
・感染対策向上加算1	・小児加算 (ICU)
・指導強化加算	・早期離床・リハビリテーション加算 (ICU)
・総合周産期特定集中治療室管理料 1 母体・胎児集中治療室管理料 (MFICU)	
・総合周産期特定集中治療室管理料 2 新生児集中治療室管理料 (NICU)	
・新生児治療回復室入院医療管理料 (GCU)	
・小児入院医療管理料2	
・プレイルーム加算 (保育士2名以上の場合)	

・無菌治療管理加算1・2(小児入院医療管理料)	
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	
・歯科外来診療医療安全対策加算2	
・歯科外来診療感染対策加算4	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・外来腫瘍化学療法診療料1
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・がん薬物療法体制充実加算
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・連携充実加算
・喘息治療管理料	・ニコチン依存症管理料
・糖尿病合併症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん治療連携計画策定料
・難治性がん性疼痛指導管理加算	・がん治療連携管理料
・がん患者指導管理料イ	・外来がん患者在宅連携指導料
・がん患者指導管理料ロ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料ハ	・外来排尿自立指導料
・がん患者指導管理料ニ	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・外来緩和ケア管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・薬剤管理指導料

・糖尿病透析予防指導管理料	・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・小児運動器疾患指導管理料	・医療機器安全管理料1
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・医療機器安全管理料2
・婦人科特定疾患治療管理料	・精神科退院時共同指導料1及び2
・腎代替療法指導管理料	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・一般不妊治療管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
・生殖補助医療管理料2	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・二次性骨折予防継続管理料1	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・二次性骨折予防継続管理料3	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・下肢創傷処置管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・外来放射線照射診療料	・横隔神経電気刺激装置加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・長期継続頭蓋内脳波検査
・遺伝学的検査	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・骨髄微小残存病変量測定	・脳磁図(その他のもの)
・BRCA1/2遺伝子検査	・脳磁図(自発活動を測定するもの)
・がんゲノムプロファイリング検査	・脳波検査判断料1

・遺伝子相同組換え修復欠損検査	・遠隔脳波診断
・染色体構造変異解析	・神経学的検査
・Y染色体微小欠失検査	・補聴器適合検査
・先天性代謝異常症検査	・黄斑局所網膜電図
・デングウイルス抗原定性、抗原・抗体同時測定定性	・全視野精密網膜電図
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・小児食物アレルギー負荷検査
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・内服・点滴誘発試験
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・センチネルリンパ節生検(併用)
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・センチネルリンパ節生検(単独)
・細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出	・経頸静脈的肝生検
・クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB遺伝子検出	・経気管支凍結生検法
・検体検査管理加算(IV)	・画像診断管理加算1
・国際標準検査管理加算	・画像診断管理加算3
・遺伝カウンセリング加算	・ポジトロン断層撮影
・遠隔遺伝カウンセリング加算	・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合)イ以外の場合
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合)イ以外の場合

・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・コンピュータ断層撮影(CT)
・胎児心エコー法	・冠動脈CT撮影加算
・ヘッドアップティルト試験	・外傷全身CT加算
・人工膵臓検査	・大腸CT撮影加算
・磁気共鳴コンピュータ断層撮影(MRI)	・人工腎臓
・心臓MRI撮影加算	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・乳房MRI撮影加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・ストーマ合併症加算
・一般名処方加算	・人工膵臓療法
・外来化学療法加算1	・磁気による膀胱等刺激法
・無菌製剤処理料	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・リハビリテーション初期加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・急性期リハビリテーション加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・センチネルリンパ節加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・皮膚移植術(死体)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・自家脂肪注入

・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・がん患者リハビリテーション料	・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・療養生活継続支援加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・救急患者精神科継続支援料	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))
・認知療法・認知行動療法1	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・精神科作業療法	・椎間板内酵素注入療法
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・腫瘍脊椎骨全摘術
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・緊急穿頭血腫除去術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・頭蓋内腫瘍摘出術 脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・医療保護入院等診療料	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・硬膜外自家血注入	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・乳がんセンチネルリンパ節加算2
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)・(過活動膀胱)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・舌下神経電気刺激装置植込術	・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)
・角結膜悪性腫瘍切除術	・乳癌センチネルリンパ節加算1

<ul style="list-style-type: none"> ・角膜移植術(内皮移植加算) 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳癌センチネルリンパ節加算2
<ul style="list-style-type: none"> ・羊膜移植術 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・気管支バルブ留置術
<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術) 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下肺切除術(区域切除および肺葉切除術または1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障手術(濾過胞再建術(needle 法)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
<ul style="list-style-type: none"> ・網膜再建術 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
<ul style="list-style-type: none"> ・人工内耳植込術 	<ul style="list-style-type: none"> ・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
<ul style="list-style-type: none"> ・植込型骨導補聴器移植術 	<ul style="list-style-type: none"> ・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・植込型骨導補聴器交換術 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術) 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)(高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)(アテローム切除アブレーション式血管形成術用カテーテルによるもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸腔鏡下弁形成術

・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・胸腔鏡下弁置換術
・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)に限る。)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)

・同種心移植術	・腹腔鏡下肝切除術
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的動脈遮断術	・生体部分肝移植術
・経皮的下肢動脈形成術	・同種死体肝移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下膵中央切除術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・ダメージコントロール手術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術	・同種死体膵移植術
・腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	・同種死体膵腎移植術
・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)	・腹腔鏡下結腸悪性腫切除術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)
・内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)
・小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・埋没陰茎手術
・結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・精巣温存手術

<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下小切開副腎摘出術 	<ul style="list-style-type: none"> ・精巣内精子採取術
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下小切開腎部分切除術 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下小切開腎摘出術 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・腎臓悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・同種死体腎移植術 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
<ul style="list-style-type: none"> ・生体腎移植術 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工授精
<ul style="list-style-type: none"> ・尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・胚移植術
<ul style="list-style-type: none"> ・膀胱水圧拡張術 	<ul style="list-style-type: none"> ・採卵術
<ul style="list-style-type: none"> ・ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道) 	<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術 	<ul style="list-style-type: none"> ・胎児胸腔・羊水腔シャント術

・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・無心体双胎焼灼術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胎児輸血術
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・臍帯穿刺
・膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・体外式膜型人工肺管理料
・尿道狭窄グラフト再建術	・体外受精・顕微授精管理料
・人工尿道括約筋植込・置換術	・受精卵・胚培養管理料
・胚凍結保存管理料	・外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
・輸血管理料Ⅰ	・入院ベースアップ評価料85
・コーディネート体制充実加算	・歯科治療時医療管理料
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・医療機器安全管理料(歯科)
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・口腔細菌定量検査
・麻酔管理料(Ⅰ)	・有床義歯咀嚼機能検査
・麻酔管理料(Ⅱ)	・咀嚼能力検査
・周術期薬剤管理加算	・咬合圧検査
・放射線治療専任加算	・精密触覚機能検査
・外来放射線治療加算	・睡眠時歯科筋電図検査
・高エネルギー放射線治療	・歯科画像診断管理加算 1 歯科画像診断管理加算 2

・強度変調放射線治療(IMRT)	・歯科口腔リハビリテーション料2
・一回線量増加加算(乳房照射)	・手術用顕微鏡加算
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・歯根端切除術の注3
・体外照射呼吸性移動対策加算	・歯周組織再生誘導手術
・定位放射線治療	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算(動体追尾法)	・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算(その他のもの)	・顎関節人工関節全置換術(歯科)
・粒子線治療	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・粒子線治療適応判定加算	・歯科麻酔管理料
・粒子線治療医学管理加算	・周術期薬剤管理加算
・画像誘導密封小線源治療加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・保険医療機関間の連携による病理診断	・印象採得 歯科技工士連携加算1
・病理診断管理加算2	・光学印象
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・光学印象歯科技工士連携加算
・看護職員処遇改善評価料62	・咬合採得 歯科技工士連携加算1
・仮床試適 歯科技工士連携加算1	
・CAD/CAM冠・CAD/CAMインレー	

・歯科技工加算1	
・歯科技工加算2	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料	
・口腔病理診断管理加算2	
・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	
・入院ベースアップ評価料85	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マルチオミクス解析を用いた細胞間相互作用に注目した精神神経ループスの病態解明	河野 通仁	リウマチ・腎臓内科	6,420,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づくBRCA変異を有する胆道がんに対する医師主導治験	川本 泰之	腫瘍センター	60,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
O-17標識水を水トレーサーとして用いたMRIによる関節軟骨病変の早期診断を可能とする革新的評価法の確立と治験に向けた実用化研究	小野寺 智洋	整形外科	15,751,590	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
生体吸収性素材とハイドロゲルによる新規シートを用いた内視鏡的絆創膏の開発	大野 正芳	消化器内科	10,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
細胞内代謝に注目した関節リウマチにおける滑膜線維芽細胞の病態関与	河野 通仁	リウマチ・腎臓内科	7,500,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
生体直交反応を利用した3Dプリンター用次世代バイオインクの開発	松岡 正剛	整形外科	1,050,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
希少がんに対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTER KEY Project)	木下一郎	がん遺伝子診断部	7,819,230	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
希少造血器腫瘍に対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTER KEY Project: NCCH-1812)	小野澤真弘	臨床研修センター	1,003,846	補委 国立研究開発法人国立がん研究センター
もやもや病のエピゲノム血液バイオマーカー探索一血漿microRNAの包括的検証一	伊東 雅基	脳神経外科	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
Inflammingにおける炎症・老化細胞の解析とバイオマーカーへの展開	外丸 詩野	病理診断科	3,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
機能的糖脂質分子を導入した新規軟骨再生材料の開発	小野寺 智洋	整形外科	4,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
一軸配向化合成コラーゲン線維が誘導する骨髄幹細胞の分化と基質産生促進機序の解明	近藤 英司	スポーツ医学診療センター	4,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ミクログリアに注目した抗リン脂質抗体による中枢神経障害の病態解明	渥美 達也	病院長	5,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
水素の同位体効果をつツールとした肝灌流修復法の開発	嶋村 剛	臓器移植医療部	5,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
低酸素環境におけるMCTs発現とがん免疫療法の応答性に関する研究	山口 敦史	薬剤部	480,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
エピテーゼの新規接着法の構築	若林 侑輝	生体技工部	460,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
歯医者さんの世界を体験してみよう～むし歯治療から最新の研究まで～	川本 千春	むし歯科	430,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
蛍光スペクトル解析胸腔鏡と5-ALAを応用した新規肺腫瘍マーキング法の開発	新垣 雅人	呼吸器外科	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
遺伝子情報に基づいたインプラント周囲炎の画期的治療法の開発	堀内 留美	義歯科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
オキシソリジノン系抗MRSA薬の唾液中濃度による治療モニタリングと投与量最適化	武隈 洋	薬剤部	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
マウス肺癌モデルを用いたCD73を標的とした赤外光線免疫療法の確立	畑中 豊	ゲノム・コンパニオン診断研究部門	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌の個別化医療に向けた腫瘍特性の非侵襲的画像化と人工知能解析の融合	藤間 憲幸	放射線診断科	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
4D Flow-MRIによる門脈塞栓術後の残肝肥大予測法確立と先制IVRの開発	阿保 大介	放射線部	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
乳癌の再発転移予測に向けたMRIと半導体PETのバイオマーカーによる微小環境評価	加藤 扶美	放射線診断科	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ヒストン脱メチル化酵素阻害剤による膵管癌に対する新たな腫瘍免疫療法の開発	川久保 和道	光学医療診療部	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
羊膜MSC由来HSPB6陽性エクソソームを用いた炎症性腸疾患への治療効果の検討	桂田 武彦	光学医療診療部	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肝癌幹細胞の維持・免疫寛容機構の解明と治療最適化の検討	荘 拓也	消化器内科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
末梢血単核球ミトコンドリア機能を筋ジストロフィーの重症度評価・治療に応用する。	山澤 弘州	小児科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
PHRを活用した機械学習モデルによる心血管病の重症化予防を目指した研究	横田 卓	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
小細胞肺癌におけるProx1によるNotch pathwayの制御機構、治療開発	榊原 純	呼吸器内科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
小児・AYA世代におけるMDSの発生機序と治療戦略の解明	平林 真介	小児科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
胃癌に対する新規腹腔鏡用蛍光スペクトル測定システムを用いた術中転移診断法の確立	海老原 裕磨	低侵襲外科診断治療学研究部門	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺がん糖鎖抗原を用いた光免疫とiRGDナノ粒子によるsiRNA送達システムの開発	加藤 達哉	呼吸器外科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CyTOFを用いた集中治療後症候群の病態解明と予防法開発に向けた基盤研究	前川 邦彦	救急科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
外傷急性期の凝固活性因子の由来と凝固活性化能の違い、その放出のタイミング	早川 峰司	救急科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
細菌由来の分子による腸-肺連関メカニズムに基づいたARDS治療薬開発の基盤研究	高氏 修平	救急科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
多次元先端映像解析を駆使した顕微鏡手術「複雑性」の解明	杉山 拓	脳神経外科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腎移植における慢性抗体関連型拒絶反応の早期診断法の開発とメカニズム解析	堀田 記世彦	泌尿器科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
糖尿病網膜症病態におけるミューラー細胞のαB-クリスタリンの発現	加瀬 諭	眼科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CPCを用いたSARS-CoV-2をはじめとするウイルスを対象とした臨床研究	川本 千春	むし歯科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨内における上皮間葉転換のメカニズムの解明	田中 宗一	口腔外科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
障害児・者の歯科治療時におけるストレスモニターとしての自律神経活動の測定	大島 昇平	小児・障がい者歯科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ICTを活用した医療者-患者双方に対するストレスフリーな歯科治療の実現	竹生 寛恵	歯周病科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
最新のデジタル半導体PET装置に対応した心臓動態ファントムの開発と撮像技術の確立	孫田 恵一	放射線部	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
3Dシミュレーションシステムによる高難度吻合技術教育および評価ツールの開発	松井 あや	消化器外科II	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
動脈硬化制御作用をもつ新規血管作動性物質による虚血性心疾患バイオマーカーの創出	佐藤 健吾	検査・輸血部	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がん特異的糖鎖抗原を用いた小児がんに対する近赤外光線免疫療法法の確立:前臨床モデル	長 祐子	小児科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝芽腫発生モデルを利用したエピゲノム異常がもたらす抗がん剤耐性機序の解明	本多 昌平	消化器外科I	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲル化されたMSC由来エクソソームの内視鏡的粘膜下層剥離術後食道狭窄に対する効果	小野 尚子	光学医療診療部	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝癌幹細胞におけるPARP阻害剤耐性メカニズムの解明およびその克服	小松 嘉人	腫瘍センター	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
深層学習を活用した多面的病理学的検討による、小児期発症肺高血圧症の病態解明	永井 礼子	小児科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
水疱性類天疱瘡におけるIgE自己抗体特異的皮膚炎症増幅機構の解明	泉 健太郎	皮膚科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト化マウスによる非アルコール性脂肪肝炎発症、肝移植後再発の免疫学的機序解明	後藤 了一	消化器外科I	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血中exosome内circRNA発現解析による膀胱がん診断・予後関連マーカー探索	柿坂 達彦	消化器外科I	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胆道癌におけるChemokineによる悪性度進行機構の解明	中西 喜嗣	消化器外科II	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術後認知機能障害病理における統合的ストレス応答の果たす役割	内田 洋介	手術部	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脂質ラフトのバイオイメーキングと電気生理学的手法による全身麻酔薬の作用機序研究	長谷 由理	歯科麻酔科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
好中球の異質性が関与する外傷後二次性感染症の病態解明と治療法開発に向けた基盤研究	斉藤 智誉	救急科	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
尿中エクソソーム内のmRNAに基づく新たな膀胱がん診断法の開発	大澤 崇宏	泌尿器科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血中環状RNAを用いた子宮頸癌の早期診断マーカーと治療標的の網羅的探索	金野 陽輔	婦人科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Notchシグナル伝達機構を軸とした後天性中耳真珠腫の病態生理の解明	福田 篤	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Suraminを用いた新しい舌がん治療とバイオマーカーの開発	格口 渉	口腔外科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
抗菌加工根面を実現！～バイオイメーキング法を応用した新規歯周病治療法の開発～	田中 佐織	口腔総合治療部	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ビスフォスフォネート(ビスフォスフォネート)による骨芽細胞分化と骨再生の可能性	黒田 真司	高次口腔医療センター(インプラント)	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
日中覚醒時ブラキシズムと発話時咀嚼筋活動の識別アルゴリズム構築への挑戦	後藤田 章人	高次口腔医療センター(顎関節)	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者におけるレミマゾラムの麻酔導入時血圧変動への影響-ランダム化比較試験-	北條 敬之	歯科麻酔科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
XR技術を応用した患者－医療者双方に対するストレスフリーな歯科治療の確立	下地 伸司	歯周病科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
『一般外科医のための外傷診療DCRトレーニングコース』開発における有用性の証明	村上 壮一	先端医療技術教育研究開発センター	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
鎖肛術後排便障害に対するスマートフォンを用いたバイオフィードバック装置の開発	荒 桃子	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
可視化・定量化・ウイルス解析によるサージカルスモークの多角的解析研究	渡邊 祐介	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
北海道の小児がん患者における遺伝性素因の研究	寺下 友佳代	小児科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肺癌細胞および癌関連線維芽細胞を標的とした内視鏡的二重光線免疫療法の開発	桑谷 将城	消化器内科	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症の呼吸困難に関する検討	佐藤 隆博	呼吸器内科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
NUP98::NSD1白血病の治療抵抗性の解明と新規治療法の開発	松川 敏大	HIV診療支援センター	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ハイドロゲルを用いた白血球幹細胞誘導法の開発と代謝特性の解明	齋藤 祐介	がん遺伝子診断部	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
オートファジーとオルガネラ間相互作用に着目したACPA産生機序の解明	加藤 将	リウマチ・腎臓内科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
全身性エリテマトーデスにおける慢性炎症・疼痛と脳機能の相互連関	藤枝 雄一郎	リウマチ・腎臓内科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
細胞内代謝変化から探る糖尿病膵β細胞の病態解明と膵神経内分泌腫瘍への治療応用	野本 博司	糖尿病・内分泌内科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
小児骨端線損傷後におけるケモカイン受容体CCR7を介した新規薬物治療法の探索	松岡 正剛	整形外科	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
抗炎症型マクロファージ移植による骨折治癒促進効果に関する研究	高橋 大介	整形外科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
超高純度間葉系幹細胞とソフトバイオマテリアルによる椎間板性疼痛の制御	山田 勝久	整形外科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
特発性大腿骨頭壊死症における多発骨壊死発生とマイクロバイオーム異常の関連性	清水 智弘	整形外科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
難治性中耳炎における好中球および好酸球細胞外トラップの形成-分解経路の解明と応用	森田 真也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性網膜症における抗網膜抗体の解析と病態の解明	安藤 亮	眼科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
マイクロ・ナノパターンを用いて歯髄幹細胞より誘導する歯牙および歯周組織再生の試み	飯田 俊二	口腔総合治療部	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
rTMSとBMIの併用による強化型ニューロモジュレーションプログラムの効果検証	向野 雅彦	リハビリテーション科	2,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
深層学習による画像領域検出技術を用いた眼底画像の網膜血管変化の解析	齋藤 理幸	眼科	2,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
拡散尖度画像による、躁うつ病と大うつ病患者の大脳白質構造差異について	成田 尚	精神科神経科	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
脳内のエネルギー利用パターンの変化に着目した摂食障害の新規治療法の探索	石川 修平	精神科神経科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
心不全患者における非侵襲的陽圧換気を併用した運動療法の有効性の検討	神谷 究	循環器内科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肝臓GVHDにおける腸内細菌叢と肝臓免疫担当細胞とのクロストークの解明	荒 隆英	血液内科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
胸部悪性疾患に対するCD44-IR700結合体を用いた近赤外光線免疫療法の確立	氏家 秀樹	臨床研修センター	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
敗血症関連脳障害に対する早期運動療法の可能性－海馬シナプス応答解析を中心に	干野 晃嗣	麻酔科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
軟骨細胞と骨細胞の相互作用に着目した変形性関節症における軟骨下骨骨硬化の病態解明	濱崎 雅成	救急部	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
神経薬理学的手法を用いた低活動膀胱の病態解明	千葉 博基	泌尿器科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
網膜色素変性における抗網膜抗体の解析と病態修飾の解明	田中 孝幸	眼科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
新規核酸増幅法を用いた口腔がん特異的な唾液由来miRNAの検出	坂田 健一郎	口腔内科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
カンジダ性義歯性口内炎予防のための義歯への介入研究	尾崎 公哉	高齢者歯科	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
Bassoon proteinopathyの病理学的解析	野村 太一	脳神経内科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肺癌の再放射線治療後のリンパ球減少症予測モデル構築	金平 孝博	医学物理部	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
適切な核医学治療の確立を目指した分化型甲状腺癌における分子生物学的特徴の解明	渡邊 史郎	核医学診療科	2,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Radiomicsでの骨構造解析による特発性大腿骨頭壊死の早期検出への探索的研究	坂本 圭太	放射線診断科	400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
カテーテル選択支援AIを用いたVascular IVRの開発	森田 亮	放射線部	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
腸管滅菌/プロバイオティクスによる難治性腹水に対する新規治療方法の探索	中井 正人	消化器内科	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肝筋連関を介したサルコペニア及び肝線維化改善に係る因子の同定	大原 正嗣	消化器内科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
プラチナ製剤耐性肺癌に対する免疫プロテアソーム阻害剤治療の検討	庄司 哲明	呼吸器内科	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
遺伝子異常・発現から捉えた若年乳癌の発症や進展機序の解明と臨床的意義の検討	萩尾 加奈子	がん遺伝子診断部	500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肝細胞癌におけるEB1とOATP1B3の分子病理学的関連性の解明	相山 健	消化器外科 I	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
新規敗血症モデルと免疫学的先端技術を用いた敗血症免疫反応の解明	土田 拓見	救急科	1,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
もやもや病の末梢血細胞DNAメチル化解析による発病機序の解明	内野 晴登	加平中・循環器病 ICT医療連携研究部門	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
頭部外傷後免疫応答が関与する慢性外傷性脳症の病態解明と予防法開発に向けた基盤研究	早水 真理子	救急科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
骨髄濃縮液を用いた椎間板再生治療法における液性因子に基づいた再生メカニズムの解明	笠場 大介	整形外科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
子宮頸癌患者由来オルガノイドの樹立方法の検討と薬剤スクリーニング	朝野 拓史	産科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
睡眠時無呼吸症候群用口腔内装置装着が睡眠時咀嚼筋活動に及ぼす影響の実態解明	水野 麻梨子	クラウン・ブリッジ歯科	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
持続的抗菌性を付与した高機能化ナノカーボンの精製ならびに骨形成への影響の検討	前田 由佳利	義歯科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
口唇・顔面皮膚の運動解析による睡眠時ブラキシズム時の顎運動パターン評価への挑戦	前田 正名	クラウン・ブリッジ歯科	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
新たな歯科矯正用解体性接着材の開発(温度応答性)	松本 愛子	矯正歯科	1,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
2型糖尿病患者における膵β細胞機能の経年変化にともなう血糖変動不安定化の解明	宮 愛香	糖尿病・内分泌内科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
鍼灸治療をはじめとする代替医療の作用機序解明:セルフリーDNAを用いた検査手法開発	馬詰 武	周産母子センター	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
達成確率を用いた最適化手法による新しいロバスト治療計画方式の開発	横川 航平	医学物理部	2,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
内視鏡治療後創部に対するMSC由来エクソソームを含むハイドロゲルの効果	大野 正芳	消化器内科	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
神経ペプチドY(NPY)に着目した虚血性心不全による心室性不整脈機序の新展開	天満 太郎	循環器内科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ヒト皮膚創傷治癒を制御するエピジェネティクス因子の探索	渡邊 美佳	皮膚科	1,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
表皮細胞のパターン形成に着目した新しい表皮培養の確立	眞井 洋輔	皮膚科	1,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
単一遺伝子異常による自己炎症性疾患を対象とした細胞死と炎症の関連性の解明	植木 将弘	小児科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
大腸癌切除による免疫状態の変化と予後に関する検討	市川 伸樹	消化器外科 I	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
腸管虚血・炎症疾患における新規治療標的の探索	柴田 賢吾	消化器外科 I	1,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
新規体幹部ブロックM-TAPAのメカニズム検証と、術後回復強化プログラムへの展開	相川 勝洋	麻酔科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
老化マクロファージによる変形性膝関節症進行機序の解明研究	江畑 拓	整形外科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
GFRα1の軸索再生促進効果および分子機序の解明	鈴木 智亮	整形外科	1,800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
SLFN11に着目した頭頸部がんの抗がん剤効果予測因子の解明と新規治療法開発	浜田 誠二郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
鼻粘膜概日リズムの恒常性は上皮バリア機能を介して2型炎症反応を制御するか	本間 あや	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
腫瘍内低酸素環境が頭頸部癌に対する光免疫療法にもたらす影響の検討	鈴木 崇祥	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
肥満2型糖尿病モデル動物を用いた糖尿病網膜症早期における新規分子標的の探索	菊地 香澄	眼科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
NPWTがもたらす新たな術後合併症ゼロの世界へ皮膚・深部組織への効果を探る	三浦 隆洋	形成外科	1,700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
UV222nm照射と過酸化水素を併用した殺菌性の高い歯周病光治療	金本 佑生実	歯周病科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
タンパクのO-GlcNAc化に着目した新規HFpEF治療確立に向けた基盤的研究	門坂 崇秀	循環器内科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
NUP98-NSD1白血病の発症・病態機序の解明	松川 敏大	HIV診療支援センター	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
マージナルドナー肝の体外灌流コンディショニングに必須の基礎技術の開発	柴田 賢吾	消化器外科 I	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
閉塞性大腸癌への金属ステント留置による癌微小環境と全身の免疫応答の変化の解明	今泉 健	消化器外科 I	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
移植心冠動脈病変の発症に寄与する免疫学的因子の解明	佐藤 琢真	循環器内科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
エピトープスプレディング現象に着目した水疱性類天疱瘡の病態解明	眞井 翔子	皮膚科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
大規模災害(千島海溝、日本海溝モデル)における小児・妊産婦の減災を目指した検討	齊藤 良玄	産科	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
異種移植モデルを用いた乳房外バジレット病に対する新規治療法の開発	柳 輝希	皮膚科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
造影後拡散テンソル画像による真の心筋配列の画像化と肥大型心筋症の新規診断法の確立	常田 慧徳	放射線診断科	2,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
睡眠時無呼吸症候群用口腔内装置装着時の顎運動経路ー各種上下分離型の網羅的検証ー	山田 恭子	クラウン・ブリッジ歯科	800,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
腫瘍循環器リハビリテーションにおける在宅運動療法の有効性と安全性の検証	表 和徳	循環器内科	1,400,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
多様な現場での国際生活機能分類(ICF)の円滑な実用化及び統計への応用に向けた研究	向野 雅彦	リハビリテーション科	2,600,000	補委 厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	渥美 達也	リウマチ・腎臓内科	40,000,000	補委 厚生労働省
骨髄バンクドナーWeb登録システム導入に向けたcapture NGS法によるHLAスワップ検査精度の検証と諸外国での運用状況の調査の研究	後藤 秀樹	検査・輸血部	4,095,000	補委 厚生労働省
臨床研究法の適用範囲とすべき「傷害・負担が大きい検査等」の基準策定に向けた調査研究	佐藤 典宏	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	5,065,000	補委 厚生労働省
分子病態に基づく脊髄小脳失調症 I 型遺伝子治療の医師主導治験	矢部 一郎	脳神経内科	65,680,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
超希少難治性疾患である免疫介在性小脳性運動失調症の疾患レジストリ構築および治療法確立を目的としたエビデンス創出研究	矢口 裕章	脳神経内科	7,500,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脳出血慢性期患者に対する自家骨髄間葉系幹細胞とスキャフォールドからなる再生医療製品を用いた研究開発(RAINBOW-HX)	藤村 幹	脳神経外科	35,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
腰部脊柱管狭窄症に対するREC/dMD-001の安全性と有効性に係る探索的医師主導治験	須藤 英毅	整形外科	42,383,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
腹腔鏡手術における手術鉗子動態の教育利用・鉗子位置情報を用いた手術支援に関する基礎研究	安部 崇重	泌尿器科	5,700,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
B型肝炎培養細胞、抗ウイルス応答細胞モデルを用いた創薬シーズ化合物の大規模探索	坂本 直哉	消化器内科	47,615,385	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肝発癌におけるHBV既感染の臨床的意義と新規治療法開発を目指した発癌分子機構の解明	武富 紹信	消化器外科 I	12,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
リンパ節転移リスクを有する子宮体癌に対する標準的リンパ節郭清確立のための多施設共同臨床試験	渡利 英道	婦人科	5,375,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ハイドロゲルを用いたがんの不均一性制御の医療応用基盤開発	田中 伸哉	病理診断科	36,960,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	6,800,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肝線維化の非侵襲的評価のための血清・肝組織糖鎖バイオマーカーの探索と実用化に関する研究	坂本 直哉	消化器内科	9,500,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
T細胞性リンパ腫増殖・生存必須遺伝子に対する新規阻害剤の探索	中川 雅夫	血液内科	14,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
軸索再生促進剤の検証	角家 健	整形外科	2,046,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高齢心不全患者におけるフレイル自動診断を支援する新医療機器プログラムに関する研究開発	永井 利幸	循環器内科	36,112,690	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
脳出血慢性期患者に対する自家骨髄間葉系幹細胞とスキャフォールドからなる再生医療製品を用いた研究開発(RAINBOW-HX)	藤村 幹	脳神経外科	10,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医療機器開発におけるカダバースタディーに関するガイダンス策定	七戸 俊明	消化器外科 II	9,200,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高機能ゲルによるがん幹細胞リプログラミングと治療薬開発基盤の創出	田中 伸哉	病理診断科	5,200,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
陽子線CT搭載型ヘリウム・陽子線混合治療装置と免疫賦活照射法の研究開発	白土 博樹	放射線治療科	2,100,000	補委 日本学術振興会
左室駆出率が保持された心不全に対する個別化医療を目指した多分野融合研究	安斉 俊久	循環器内科	500,000	補委 日本学術振興会
Glycer-AGEによる網膜神経病態の機序解明と糖尿病網膜症に対する創薬	石田 晋	眼科	3,100,000	補委 日本学術振興会
モーシオンキャブチャを用いた熟練の腹腔鏡手術手技の言語化・見える化と手術教育支援	安部 崇重	泌尿器科	3,600,000	補委 日本学術振興会
T細胞性腫瘍におけるIRF4転写因子発現の統合的解析とCAR-T細胞療法への応用	中川 雅夫	血液内科	2,500,000	補委 日本学術振興会
CCL11による大脳の老化促進仮説に着目した統合失調症の認知機能障害の病態解明	久住 一郎	精神科神経科	3,800,000	補委 日本学術振興会
MRIと同位体顕微鏡を用いたマルチスケールの水分子イメージング	工藤 與亮	放射線診断科	4,200,000	補委 日本学術振興会
加齢に着目した皮膚の免疫自己寛容破綻機序の解明	氏家 英之	皮膚科	4,500,000	補委 日本学術振興会
造血幹細胞移植後の免疫寛容と組織寛容の機序の解明とその制御法の開発研究	豊嶋 崇徳	血液内科	3,300,000	補委 日本学術振興会
破骨細胞に発現する免疫チェックポイント分子シグレック-15の機能と治療応用	高畑 雅彦	整形外科	3,100,000	補委 日本学術振興会
自家骨髄濃縮液による低侵襲椎間板組織再生誘導法の開発と組織再生メカニズムの解明	須藤 英毅	整形外科	2,000,000	補委 日本学術振興会
肺癌に対する陽子線治療の選択基準確立に向けた心肺相互作用勘案NTCPモデル構築	青山 英史	放射線治療科	3,300,000	補委 日本学術振興会
肝線維化機構に関連する宿主因子の網羅的探索と新規治療法の開発	坂本 直哉	消化器内科	3,900,000	補委 日本学術振興会
消化器がんに対するDGK α/ζ を標的とした核酸医薬による新規免疫療法の開発研究	武富 紹信	消化器外科 I	4,500,000	補委 日本学術振興会
Bassoon proteinopathy病態に関する継続的研究	矢部 一郎	脳神経内科	6,000,000	補委 日本学術振興会
慢性気道疾患のprecision medicine実現に向けたdeep phenotyping	今野 哲	呼吸器内科	5,800,000	補委 日本学術振興会
表皮水疱症の創傷治癒遅延因子の同定とその克服	夏賀 健	皮膚科	5,400,000	補委 日本学術振興会
腫瘍惹起性炎症を標的とした新規大腸がん治療法の開発	谷口 浩二	病理診断科	3,800,000	補委 日本学術振興会
間葉系幹細胞シートを用いたもやもや病の間接血行再建術における包括的研究	藤村 幹	脳神経外科	3,700,000	補委 日本学術振興会
手術トレーニングおよびナビゲーションへ向けた術中意思決定情報分析	倉島 庸	消化器外科 II	800,000	補委 日本学術振興会
アドリアマイシン心筋症における免疫老化の果たす役割の解明と早期検出法の開発	石森 直樹	循環器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
肝臓オルガノイドを用いたGVHDにおけるマクロファージによる組織幹細胞障害の検討	橋本 大吾	血液内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
膵島移植における免疫寛容誘導を目的とした細胞治療法の開発	渡辺 正明	消化器外科 I	300,000	補委 日本学術振興会
CA19-9を標的とした共有結合DNAアプタマーによる膵癌新規治療法の開発	中村 透	消化器外科 II	900,000	補委 日本学術振興会
統合的ストレス応答が敗血症関連脳障害に果たす役割の解明	森本 裕二	麻酔科	600,000	補委 日本学術振興会
フェロトーシス阻害による脳虚血再灌流障害への新たな治療アプローチの検証	栗栖 宏多	脳神経外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
ハイドロゲルを用いたがん幹細胞形質の誘導と新規治療標的の探索	渡利 英道	婦人科	900,000	補委 日本学術振興会
糖尿病網膜症病態におけるアクロレインの炎症誘導機構	村田 美幸	眼科	1,200,000	補委 日本学術振興会
医療機器開発における献体使用の基盤構築	七戸 俊明	消化器外科 II	1,200,000	補委 日本学術振興会
AIを活用した小児がん陽子線照射のトリプルハイブリッド遠隔治療計画システムの開発	橋本 孝之	放射線治療科	1,000,000	補委 日本学術振興会
ドラベ症候群における α 2サブユニット選択的GABA(A)受容体賦活薬の有効性検証	江川 潔	小児科	1,200,000	補委 日本学術振興会
肝線維化治療標的の同定とそれに基づく新規抗肝線維化治療法開発	須田 剛生	消化器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
共有結合DNAアプタマーと増殖型レトロウイルスを応用した膵癌免疫療法の開発	平野 聡	消化器外科 II	1,100,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌におけるCOPZ1の非癌遺伝子依存性と分子標的薬治療への応用	折茂 達也	消化器外科 I	1,100,000	補委 日本学術振興会
オートファジー活性化と左心負荷軽減による心機能回復ーラット異所性心移植モデル	新宮 康栄	心臓血管外科	300,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膠芽腫における低酸素内糖代謝亢進メカニズムの検証	山口 秀	脳神経外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
迷走神経刺激によるぶどう膜炎抑制治療	南場 研一	眼科	1,200,000	補委 日本学術振興会
抗Sez6l2抗体関連脳炎の病態解明	矢口 裕章	脳神経内科	1,500,000	補委 日本学術振興会
画像とレポートの利用によるロジカルシンキング型のAI画像診断法の構築	平田 健司	核医学診療科	2,000,000	補委 日本学術振興会
MRエラストグラフィを用いた肝うつ血評価による心不全の非侵襲リスク層別法の開発	永井 利幸	循環器内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
小児の心筋症におけるミトコンドリア障害と心筋エネルギー代謝に関する研究	武田 充人	小児科	1,100,000	補委 日本学術振興会
肺癌免疫療法におけるメモリー型T細胞・樹状細胞クロストークの解明	野口 卓郎	腫瘍内科	1,900,000	補委 日本学術振興会
Beta cell rest を目指した新たな2型糖尿病治療法の確立	中村 昭伸	糖尿病・内分泌内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
移植臓器における温度変化に伴う至適pHの探索～作用点の普遍性と特異性	深井 原	消化器外科 I	1,100,000	補委 日本学術振興会
直腸がん再発転移予防における放射線化学療法の免疫学的作用メカニズム解明	本間 重紀	消化器外科 I	1,400,000	補委 日本学術振興会
脳梗塞急性期に対する間葉系幹細胞由来細胞外小胞の経鼻的投与	川堀 真人	脳神経外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
脊椎靭帯組織における異所性骨化に関連する遺伝的要因の網羅的探索	遠藤 努	整形外科	3,500,000	補委 日本学術振興会
好酸球性副鼻腔炎新規治療開発のためのSIRT1活性化剤の基礎的研究	中丸 裕爾	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
リキッドバイオプリンによる脈管奇形の遺伝子診断と個別化医療への応用	石川 耕資	形成外科	600,000	補委 日本学術振興会
慢性移植片対宿主病と肝類洞閉塞症候群に対する線維化特異的バイオマーカーの開発	大東 寛幸	血液内科	600,000	補委 日本学術振興会
レビー病理による末梢神経障害の機序の解明	種井 善一	病理診断科	1,100,000	補委 日本学術振興会
脳内鉄沈着解析によるアルツハイマー病の病態解明	原田 太以佑	放射線診断科	600,000	補委 日本学術振興会
画像上同定困難な表在性腫瘍を人工知能で自動描出する技術の開発	西岡 健太郎	放射線治療科	700,000	補委 日本学術振興会
膝周囲骨切り術の最適化を目指した大規模バイオメカニクスデータベースの構築	岩崎 浩司	整形外科	900,000	補委 日本学術振興会
脳MRI画像を用いた女性アスリート障害早期診断に向けたバイオマーカー探索	清水 幸衣	放射線診断科	1,500,000	補委 日本学術振興会
MRI-R2' による革新的な脳酸素代謝の可視化	池辺 洋平	放射線診断科	600,000	補委 日本学術振興会
肝臓の線維化を標的としたCAR-T細胞療法の開発	FU QINGJIE	消化器内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
臨床応用に向けた効果的な光除細動方法の開発	中尾 元基	循環器内科	1,700,000	補委 日本学術振興会
椎間板障害に対するexosomeを用いた低侵襲治療法の開発	大西 貴士	整形外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
Type2炎症による鼻粘膜支持組織への影響	鈴木 正宣	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800,000	補委 日本学術振興会
膀胱癌幹細胞様細胞を標的とする免疫療法と化学・放射線療法との相乗効果の解明	宮田 遥	泌尿器科	1,600,000	補委 日本学術振興会
膵がん・肝がんにおける治療成績向上と有害事象低減を目指した適応陽子線治療の確立	打浪 雄介	放射線治療科	1,300,000	補委 日本学術振興会
大動脈弁狭窄症患者における人工知能を用いた左室充満圧予測システムの開発	水口 賢史	循環器内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
エクソスキッピング誘導による劣性栄養障害型表皮水疱症の病態理解と治療応用	高島 翔太	皮膚科	1,800,000	補委 日本学術振興会
抗リン脂質抗体症候群における新規治療標的の同定	久田 諒	リウマチ・腎臓内科	1,800,000	補委 日本学術振興会
細胞内代謝を標的とした抗リン脂質抗体症候群の新規治療開発	久田 諒	リウマチ・腎臓内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
人工知能を用いた大動脈弁狭窄症の自動診断システムの開発	水口 賢史	循環器内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
胆道癌患者における腫瘍内、胆汁中の細菌叢と化学療法への抵抗性／予後との関連	杉浦 諒	消化器内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
血栓性微小血管症の病因診断の試みー腎生検組織の空間的トランスクリプトーム解析ー	岩崎 沙理	病理診断科	1,100,000	補委 日本学術振興会
ぶどう膜炎におけるリン脂質酸化物の動態と網膜障害軽症化の試み	長谷 敬太郎	眼科	1,100,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
造血幹細胞移植後のGVHDにおける腸・皮膚幹細胞の炎症記憶	豊嶋 崇徳	血液内科	2,000,000	補委 日本学術振興会
Gut microbiome-Osteal macrophages axis as a new thera	高畑 雅彦	整形外科	2,000,000	補委 日本学術振興会
眼科用デバイスの実用化検証に関する研究	石田 晋	眼科	1,000,000	補委 株式会社シーード
先進イメージングアプリケーションの研究	工藤 與亮	放射線診断科	7,615,385	補委 富士フィルムヘルスケア株式会社
DGKの機能解明	武富 紹信	消化器外科 I	12,000,000	補委 小野薬品工業(株)
最先端技術を駆使した心房細動合併心不全における新規個別化医療の開発・多施設共同前向き観察研究-	安斉 俊久	循環器内科	1,635,432	補委 プリストル・マイケーズ スクイブ株式会社
腰椎椎間板ヘルニア手術の臨床成績及びMRIによる椎間板変性評価に関する研究、及び腰椎椎間板ヘルニア患者におけるdMD-001の安全性及び性能についての探索的臨床試験後の長期フォローアップ研究	須藤 英毅	整形外科	2,513,614	補委 持田製薬株式会社
腰部脊柱管狭窄症に対するREC/dMD-001の安全性と有効性に係る探索的医師主導治験にかかわる研究開発	須藤 英毅	整形外科	700,000	補委 持田製薬株式会社
認知症診断支援技術の開発	工藤 與亮	放射線診断科	76,920	補委 株式会社Splink
大腸癌患者のQOLが就労活動や日常諸活動に及ぼす影響に関する前向き観察研究	武富 紹信	消化器外科 I	5,500,000	補委 株式会社ツムラ
脊髄損傷モデルに対する羊膜幹細胞の有効性、作用機序評価	藤村 幹	脳神経外科	6,769,231	補委 株式会社カネカ
もやもや病モデル動物に対する羊膜間葉系幹細胞の有効性評価	藤村 幹	脳神経外科	1,692,308	補委 株式会社カネカ
Cellm-001による初発膠芽腫治療効果無作為比較対照試験に関する医師主導治験	山口 秀	脳神経外科	2,307,690	補委 神戸大学医学部附属病院
治療後寛解期、終末期の小児がん患者における機能性食品AHCCRの免疫賦活作用及びQOL改善効果を検討する非盲検探索的臨床試験	真部 淳	小児科	50,000	補委 株式会社アミノアップ
くも膜下出血急性期病態に対するエンドセリン受容体A拮抗薬の効果に関する研究	藤村 幹	脳神経外科	3,000,000	補委 イドルシアファーマシューティカルズ ジャパン株式会社
AHCCRによる肝細胞癌患者に対するレンパチニブ療法の副作用軽減効果の検討	武富 紹信	消化器外科 I	450,000	補委 株式会社アミノアップ
類天疱瘡マウスモデルに対するTAS5315の薬理作用に関する研究	氏家 英之	皮膚科	2,800,000	補委 大鵬薬品工業株式会社
画像診断学にAIがもたらすトータルソリューションの評価	工藤 與亮	放射線診断科	4,615,000	補委 United Imaging Healthcare Japan 株式会社
中枢神経損傷に対する細胞シートの開発・応用研究	藤村 幹	脳神経外科	4,500,000	補委 株式会社セルシート
肺動脈性肺高血圧症の特徴を有するサブセットに注目した間質性肺疾患合併肺高血圧症の多施設前向きコホート研究	辻野 一三	呼吸器内科	14,935,128	補委 ヤンセンファーマ株式会社
中枢神経疾患における顔動画・音声・脳画像のAI解析	工藤 與亮	放射線診断科	2,000,000	補委 株式会社Medi Face
2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬トログリフロジンの膵β細胞機能への影響に関する検討—多施設共同非盲検ランダム化並行群間比較試験—	中村 昭伸	糖尿病・内分泌内科	6,346,154	補委 興和株式会社 医薬事業部
間葉系幹細胞エクソソームを用いた中枢神経疾患治療法の開発	藤村 幹	脳神経外科	769,230	補委 株式会社ダイセル
がん幹細胞培養に用いるゲル基板の研究	田中 伸哉	病理診断科	2,392,100	補委 日油株式会社
機能性食品AHCC®の尿路上皮癌における化学療法での副作用軽減効果を検討する非盲検探索的臨床研究	篠原 信雄	泌尿器科	513,800	補委 株式会社アミノアップ
モデルベース放射線治療の確立に向けた研究	青山 英史	放射線治療科	4,230,769	補委 株式会社日立製作所研究開発グループ
ぶどう膜炎に対する植物由来成分の作用検討	南場 研一	眼科	1,700,000	補委 丸善製薬株式会社
マルチオミックス解析を利用した、肺動脈性肺高血圧症患者におけるセレキシバグ高反応群検出法の確立	武田 充人	小児科	6,377,800	補委 日本新薬株式会社
細胞膜透過性中和抗体による細胞機能制御	谷口 浩二	病理診断科	350,000	補委 マイクロプロケム合同会社
椎間板性慢性腰痛における治療法の開発	須藤 英毅	整形外科	5,720,000	補委 持田製薬株式会社
運動器先端医学分野	角家 健	整形外科	17,399,623	補委 株式会社日立ハイテク

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膝関節機能再建分野	岩崎 浩司	整形外科	12,743,246	補 委 ○ オリンパスステルモバイオマテリアル株式会社
バイオマテリアル機能再生分野	岩崎 倫政	整形外科	6,832,913	補 委 ○ 持田製薬株式会社
FDG-PET/CTの読影レポートの自動生成AIの開発を目指した基礎的検討	平田 健司	核医学診療科	7,690,000	補 委 ○ GE Healthcare Japan Corporation
脳出血急性期における治療法の開発	藤村 幹	脳神経外科	5,000,000	補 委 ○ 持田製薬株式会社
三次元前眼部撮影装置の臨床有用性の評価	藤村 幹	脳神経外科	1,140,000	補 委 ○ 株式会社トロン
献体を用いた人工股関節置換術に用いるアセタブラーカップシステムの機能評価	岩崎 倫政	整形外科	1,550,000	補 委 ○ 帝人ナカシマメディカル株式会社
歩行能力診断装置(H-Gait)の臨床応用に関する研究	遠山 晴一	リハビリテーション科	1,810,000	補 委 ○ 原田電子工業株式会社
Neutrophil Extracellular Traps (NETs)を標的とした血管炎に対する新規創薬開発	石津 明洋	病理診断科	675,000	補 委 ○ キッズウェル・バイオ株式会社
スポーツ障害および運動器疾患に対する筋骨格モデリング技術を用いた評価手法に関する研究	遠山 晴一	リハビリテーション科	384,500	補 委 ○ 株式会社 ORGO
抗好中球細胞質抗体の機能特性と血管炎の臨床指標の関連を明らかにする研究	石津 明洋	病理診断科	1,200,000	補 委 ○ 小野薬品工業(株)
ANCA関連血管炎モデルラットを用いた抗IL-21アプタマーの薬効評価	石津 明洋	病理診断科	6,250,000	補 委 ○ 株式会社リボミック
抗ホスファチジルセリン・プロトロンビン抗体と疾患との関連性を追究する	石津 明洋	病理診断科	1,000,000	補 委 ○ 株式会社 医学生物学研究所
好中球細胞外トラップ測定試薬の性能評価	石津 明洋	病理診断科	300,000	補 委 ○ 株式会社 医学生物学研究所
放射線科学関連分野に関する学術研究動向ーイメージング・画像解析の新たな展開	工藤 與亮	放射線診断科	1,200,000	補 委 ○ 独立行政法人日本学術振興会
慢性C型肝炎・肝硬変患者に対するsofosbuvir/velpatasvir併用療法の安全性、治療効果の検討	須田 剛生	消化器内科	7,194,952	補 委 ○ Gilead Sciences, Inc.
ポスト5Gに向けたマルチモーダル情報の効率的活用と触診・遠隔医療技術への応用	岩崎 倫政	整形外科	4,345,845	補 委 ○ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討	永井 利幸	循環器内科	215,384	補 委 ○ 一般財団法人生産開発科学研究所
再発又は難治性の中脳神経系原発リンパ腫におけるチラブルチニブの有効性・安全性及び治療実態を調査する多機関共同後ろ向き観察研究	山口 秀	脳神経外科	169,230	補 委 ○ メビックス株式会社
ソフトウェア機能評価	工藤 與亮	放射線診断科	500,000	補 委 ○ 富士フイルムメディカル株式会社
統合失調症患者を対象としたルランドンと認知機能リハビリテーション(NEAR)の併用による認知機能への影響を検討する研究	橋本 直樹	精神科神経科	550,000	補 委 ○ 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
新型コロナウイルス陽性患者における全身麻酔下手術の分野・地域・流行時期による転機解析調査研究	武富 紹信	消化器外科 I	4,923,076	補 委 ○ 一般社団法人日本医学会連合
鼻および副鼻腔疾患のAIによるCT画像診断支援システム開発	鈴木 正宣	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	100,000	補 委 ○ 東海国立大学機構
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	500,000	補 委 ○ 国立研究開発法人国立がん研究センター
BRIDGE_大規模言語モデルを用いた電子カルテの医療知識グラフ化と生成系AIによる統合	平田 健司	核医学診療科	4,347,827	補 委 ○ 国立大学法人東北大学
表皮水疱症における自然治癒皮膚の遺伝学的基盤及び応用研究	夏賀 健	皮膚科	3,846,154	補 委 ○ 株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング
災害医療対応・外傷処置・外傷手術XR 遠隔支援システムの開発	安部 崇重	泌尿器科	2,300,000	補 委 ○ 防衛装備庁
切除不能Intermediate stage up-to-seven 基準外肝細胞癌におけるアテリズマブ+ベシズマブ療法の有効性、安全性を検討する多施設共同第II 相臨床研究	須田 剛生	消化器内科	220,001	補 委 ○ 一般財団法人九州消化器癌化学療法研究会
CRISPR knockout library screening for identification	中川 雅夫	血液内科	2,692,307	補 委 ○ アツヴィ合同会社
SGLT2阻害薬トグリフロジンをを用いた心保護効果のメカニズムに関する研究	安斉 俊久	循環器内科	101,538	補 委 ○ WDBコ株式会社
心不全増悪入院患者におけるアンジオテンシン・ネプリライシン阻害薬の研究	安斉 俊久	循環器内科	153,846	補 委 ○ 国立大学法人佐賀大学
炎症記憶による腸の組織再生とがん化機構の解明	谷口 浩二	病理診断科	7,000,000	補 委 ○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
B型肝炎ウイルス再活性化予防としてのテノホビル アラフェナミドフマル酸塩投与の治療効果・安全性の検討	須田 剛生	消化器内科	2,380,092	補 委 ○ Gilead Sciences, Inc.

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
非代償性肝硬変と日本のHCV感染患者のケアと治療への結合	須田 剛生	消化器内科	146,153	補委 Gilead Sciences, Inc.
日常診療においてイブルチニブ治療を受けた日本人慢性リ	橋本 大吾	血液内科	84,615	補委 メビックス株式会社
MDI療法を受けている日本人2型糖尿病患者のiGlarLixiへの治療切替がQOLに与える影響の検討	中村 昭伸	糖尿病・内分泌内科	16,923	補委 IQVIAサービンスズジャパン合同会社
「Global×Local」な医療課題解決を目指した最先端AI研究開発」人材育成教育拠点	工藤 與亮	放射線診断科	12,498,500	補委 文部科学省
免疫沈降-質量分析法を用いた網羅的抗原同定による免疫性神経疾患の診断方法の開発	矢口 裕章	脳神経内科	2,272,728	補委 日本医療研究開発機構
宿主免疫抑制性分子を標的とした新規肺癌免疫療法の開発	野口 卓郎	腫瘍内科	4,545,455	補委 日本医療研究開発機構
がん専用高カロリー輸液剤の開発	田中 伸哉	病理診断科	2,727,273	補委 日本医療研究開発機構
地域に貢献する北海道がんプロ養成プラン	青山 英史	放射線治療科	20,042,000	補委 文部科学省
脳卒中慢性期患者を対象にした新規再生医療等製品の研究開発	川堀 真人	脳神経外科	2,916,664	補委 北海道経済産業局
産科医・小児科医養成支援特別対策事業(小児科)	真部 淳	小児科	961,000	補委 北海道
産科医・小児科医養成支援特別対策事業(産婦人科)	渡利 英道	婦人科	961,000	補委 北海道
医学生等地域医療体験実習支援事業	高橋 誠	整形外科	4,000,000	補委 北海道
北海道大学 医学部等教育・働き方改革支援事業	八若 保孝	小児・障がい者歯科	4,950,000	補委 文部科学省
改良型酸化グラフェン材料に関する研究	宮治 裕史	口腔総合治療部	769,231	補委 株式会社日本触媒
中高齢期における口腔機能、食肉摂取に関する研究	渡邊 裕	高齢者歯科	1,538,462	補委 日本ハム株式会社
通いの場における状態別の口腔機能向上・栄養改善プログラムに関する地域介入研究	山崎 裕	高齢者歯科	2,600,000	補委 (独)日本学術振興会
オーラルフレイルに関する高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する研究	渡邊 裕	高齢者歯科	2,500,000	補委 (独)日本学術振興会
歯周組織発生過程の模倣を基盤とするハイブリッド構造体の創成と歯周組織再生への応用	友清 淳	むし歯科	3,500,000	補委 (独)日本学術振興会
CMキトサンCPC複合ナノゲル剤を用いた口腔ケア製品の開発実証	宮治 裕史	口腔総合治療部	3,000,000	補委 (公財)北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)
骨血管連関に着目した骨粗鬆症治療薬の新規作用解明	丸岡 春日	矯正歯科	400,000	補委 (公財)北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)
高周波電流によるファイル未到達根管における歯髄の蒸散と根管の殺菌	菅谷 勉	歯周病科	1,000,000	補委 (独)日本学術振興会
ジルコニアクラウンへのAM導入による歯科CAD/CAM革命-条件最適化への挑戦-	上田 康夫	クラウン・ブリッジ歯科	500,000	補委 (独)日本学術振興会
近赤外光線免疫療法における3次元データ応用による治療補助システムの開発	足利 雄一	口腔外科	900,000	補委 (独)日本学術振興会
ボドプラニン依存性メカトランスダクションによる歯槽骨の常態制御機構の研究	金井 壮律	矯正歯科	700,000	補委 (独)日本学術振興会
自閉スペクトラム症関連分子と体性感覚系神経回路発達に関する組織学的解析	高崎 千尋	小児・障がい者歯科	900,000	補委 (独)日本学術振興会
神経堤細胞賦活化低分子化合物を核とする次世代型歯周組織再生薬の創出	友清 淳	むし歯科	1,400,000	補委 (独)日本学術振興会
Suraminを用いた新しい舌がん治療とバイオマーカーの開発	格口 渉	口腔外科	1,200,000	補委 (独)日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
2段階薬剤放出性第4世代スキャフォールドの歯周組織再生への応用	鷲巢 絵利香	口腔総合治療部	1,000,000	補助委 (独)日本学術振興会
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する最適な高気圧酸素療法の確立	浅香 卓哉	口腔内科	900,000	補助委 (独)日本学術振興会
唾液中の口腔細菌叢と炎症性サイトカインにもとづいた口腔癌発癌・進展予防法の開発	大賀 則孝	口腔内科	1,100,000	補助委 (独)日本学術振興会
エナメル質を保全できる矯正歯科治療—マイクロ波化学および低環境負荷物質の導入—	山方 秀一	矯正歯科	900,000	補助委 (独)日本学術振興会
生活歯髄切断材料に対する抗酸化アミノ酸の応用`強アルカリによる歯髄刺激からの脱却	中村 光一	小児・障がい者歯科	1,100,000	補助委 (独)日本学術振興会
多歯時代の歯周病:機械学習による将来予測とスクリーニングスコアの開発	岩崎 正則	予防歯科	1,000,000	補助委 (独)日本学術振興会
歯周病細菌の脳への移行トレース	箕輪 和行	歯科放射線科	400,000	補助委 (独)日本学術振興会
水と溶質の同位体イメージングによる脳間質の恒常性維持機構の解明	亀田 浩之	歯科放射線科	900,000	補助委 (独)日本学術振興会
顎骨特有の圧力検出機構の解明	久本 芽璃	義歯科	500,000	補助委 (独)日本学術振興会
睡眠時無呼吸症候群用口腔内装置装着時の顎運動経路—各種上下分離型の網羅的検証—	片山 恭子	クラウン・ブリッジ歯科	800,000	補助委 (独)日本学術振興会
骨粗鬆症治療薬による骨特異的血管および血管周囲細胞の作用メカニズム	丸岡 春日	矯正歯科	1,100,000	補助委 (独)日本学術振興会
in vivoカルシウムイメージングを用いた客観的疼痛評価方法の確立	工藤 葉子	歯科麻酔科	700,000	補助委 (独)日本学術振興会
手掌線維腫症におけるIL-6アンブに着目した線維化抑制効果の検討	松井 雄一郎	整形外科	1,400,000	補助委 (独)日本学術振興会
成長因子担持カーボンナノホーンコーティングチタンインプラントの開発	山本 悟	義歯科	1,400,000	補助委 (独)日本学術振興会
ナノカーボンと近赤外光を用いたインプラント周囲炎に対する新たな光線力学療法の開発	高野 恵理	義歯科	900,000	補助委 (独)日本学術振興会
顎口腔と全身の機能の因果:生体データ、シミュレーション、機械学習の応用による検証	坂口 究	義歯科	2,700,000	補助委 (独)日本学術振興会
新しいラットモデルを用いた術後痛遷延化の分子遺伝メカニズムの解明と治療戦略の開発	城戸 幹太	歯科麻酔科	1,300,000	補助委 (独)日本学術振興会
口腔がんの悪性形質獲得に関わる口腔常在菌の解析	大廣 洋一	口腔外科	1,600,000	補助委 (独)日本学術振興会
慢性口腔顔面痛における「中枢と末梢」および「老化」の関与を解明する	佐藤 淳	口腔内科	1,500,000	補助委 (独)日本学術振興会
身体抑制経験ラットのストレス反応性亢進はオキシトシン脳内投与により緩和されるか?	吉原 俊博	小児・障がい者歯科	1,500,000	補助委 (独)日本学術振興会
光再生治療~レーザーによる歯周病根面への人工セメント質構築	加藤 昭人	歯周病科	1,000,000	補助委 (独)日本学術振興会
造影後拡散テンソル画像による真の心筋配列の画像化と肥大型心筋症の新規診断法の確立	常田 慧徳	歯科放射線科	2,100,000	補助委 (独)日本学術振興会
骨芽細胞系細胞に対する副甲状腺ホルモンの骨部位特異性へのアプローチ	横山 亜矢子	高齢者歯科	2,000,000	補助委 (独)日本学術振興会
ビッグデータを用いたダウン症等に対するスペシャルニーズ歯科医療提供体制の実態把握	佐藤 美寿々	予防歯科	1,100,000	補助委 (独)日本学術振興会

計352件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yuichiro Matsui MD, PhD , Akio Minami MD, PhD, Makoto Kondo MD, Jyunichi Ishikawa MD, PhD, Makoto Motomiya MD, PhD, Daisuke Kawamura MD, PhD , Norimasa Iwasaki MD, PhD	整形外科	Clinical Outcomes of total wrist arthroplasty in patients with rheumatoid arthritis: minimum 10-year follow-up study	The Journal of Hand Surgery, Available online 9 April 2024	Original Article
2	Yukimi Kanemoto a, Hirofumi Miyaji a, Erika Nishida a, Asako Hamamoto a, Tsutomu Sugaya a, Syun Gohda b, Hironobu Ono b	歯周病科	Water-resistant antibacterial properties of a graphene oxide/cetylpyridinium chloride complex formed on medical gauze fibers	Journal of Oral Biosciences Volume 65, Issue 2, June 2023, Pages 202-205	Original Article

3	<p>Masato Takahashi, Javier Cortés , Rebecca Dent, Lajos Pusztai, Heather McArthur, Sherko Kü mmel, Carsten Denkert, Yeon Hee Park, Seock-Ah Im, Jin-Hee Ahn, Hirofumi Mukai, Chiun-Sheng Huang, Shin-Cheh Chen, Min Hwan Kim, Liyi Jia, Xin Tong Li, Konstantinos Tryfonidis , Vassiliki Karantza, Hiroji Iwata , Peter Schmid</p>	<p>乳腺外科</p>	<p>Pembrolizumab Plus Chemotherapy Followed by Pembrolizumab in Patients With Early Triple-Negative Breast Cancer: A Secondary Analysis of a Randomized Clinical Trial</p>	<p>JAMA Netw Open . 6(11):e2342107, 2023</p>	<p>Original Article</p>
4	<p>Yumi Moriya , Tomohiro Oshino, Mitsuchika Hosoda , Karin Shikishima, Shun Miura , Jun Muto, Tatsuya Kato, Masato Takahashi</p>	<p>乳腺外科</p>	<p>A Case of Pneumothorax Required Surgical Treatment as a Complication of Paclitaxel with Bevacizumab Treatment</p>	<p>Case Rep Oncol 16 (1): 791-796, 2023</p>	<p>Case report</p>
5	<p>Yuya Sakurai;Makiko Shibuya;Ryuichi Okiji;Yuri Hase;Takayuki Hojo;Yukifumi Kimura;Toshiaki Fujisawa</p>	<p>歯科麻酔科</p>	<p>Suspected Accidental Infiltration of Rocuronium During General Anesthesia Induction: A Case Report</p>	<p>Anesthesia Progress, Sep 1, 2023</p>	<p>Case Reports</p>

6	Emi Ishikawa, Makiko Shibuya, Ayako Yokoyama, Takayuki Hojo, Yukifumi Kimura, Toshiaki Fujisawa	齒科麻酔科	General anesthesia with a transcutaneous pacemaker for a Noonan syndrome patient with advanced atrioventricular block discovered in the remote period after open-heart surgery: a case report	Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine, April 2023	Case Reports
7	Konishi T, Hamabe A	心臓血管外科	Serial electrocardiographic and echocardiographic assessments of cardiac amyloidosis presenting with myocardial ischemia	Cardiol J 2023	Others
8	Konishi T, Funayama N, Hotta D, Tanaka S	心臓血管外科	Multimodality imaging approach to an adult case with cor triatriatum sinister	Cardiol J 2023	Article

9	Konishi T, Yoshida M, Matsukuma S, Uehata A.	心臟血管外科	Middle aortic syndrome presenting with megacolon	Eur Heart J Case Rep 2023	Article
10	Konishi T, Funayama N, Yamamoto T, Hotta D, Tanaka S	心臟血管外科	Lethal complication: Ventricular septal perforation and right ventricular infarction after acute myocardial infarction	Clin Case Rep 2023	Case Reports
11	Konishi T, Uehata A	心臟血管外科	Haemorrhoidal bleeding as a co-manifestation of idiopathic pulmonary artery hypertension	Eur Heart J Case Rep 2024	Case Reports

12	Konishi T, Kimura T, Minauchi K, Tanaka S	心臓血管外科	Fibrinous pericarditis secondary to recurrent acute myeloid leukaemia	Eur Heart J Case Rep 2023	Article
13	Konishi T, Funayama N, Hotta D, Tanaka S. Deep vein thrombosis due to left iliac vein compression syndrome complicated by acute pulmonary thromboembolism and cerebral infarction	心臓血管外科	Deep vein thrombosis due to left iliac vein compression syndrome complicated by acute pulmonary thromboembolism and cerebral infarction	Acta Cardiol 2023	Article
14	Konishi T, Kamiyama K, Osato T, Yoshimoto T, Aoki T, Anzai T, Tanaka S.	心臓血管外科	Increased Piezo1 expression in myofibroblasts in patients with symptomatic carotid atherosclerotic plaques undergoing carotid endarterectomy: A pilot study	Vascular 2023	Others

15	Ishizaka S, Iwano H, Tsujinaga S, Murayama M, Tsuneta S, Aoyagi H, Tamaki Y, Motoi K, Chiba Y, Tanemura A, Nakabachi M, Yokoyama S, Nishino H, Okada K, Meyers BA, Vlachos PP, Sato T, Kamiya K, Watanabe M, Kaga S, Nagai T, Oyama-Manabe N, Anzai T	心臟血管外科	Determinants of exercise capacity in patients with heart failure without left ventricular hypertrophy	J Cardiol. 2023 Jan;81(1):33-41. doi: 10.1016/j.jcc.2022.09.004. Epub 2022 Sep 17	Original Article
16	Motoi K, Iwano H, Ishizaka S, Nakamura K, Tamaki Y, Aoyagi H, Nakabachi M, Yokoyama S, Nishino H, Murayama M, Kaga S, Anzai T	心臟血管外科	Paradoxical increase in global longitudinal strain by handgrip exercise despite left ventricular diastolic dysfunction	Echocardiography. 2023 Aug;40(8):810-821. doi: 10.1111/echo.15648. Epub 2023 Jul 14	Original Article
17	Chiba Y, Iwano H, Aoyagi H, Tamaki Y, Motoi K, Ishizaka S, Murayama M, Yokoyama S, Nakabachi M, Nishino H, Kaga S, Kamiya K, Nagai T, Anzai T	心臟血管外科	Associations of right ventricular pulsatile load and cardiac power output to clinical outcomes in heart failure: Difference from systemic circulation	J Cardiol. 2023 Apr;81(4):404-412. doi: 10.1016/j.jcc.2022.12.003. Epub 2022 Dec 9	Original Article

18	Motoi K, Iwano H, Tsuneta S, Ishizaka S, Tamaki Y, Aoyagi H, Nakamura K, Murayama M, Nakabachi M, Yokoyama S, Nishino H, Kaga S, Takeda A, Anzai T	心臓血管外科	Impact of right ventricular stiffness on discordance between hemodynamic parameter and regurgitant volume in patients with pulmonary regurgitation	Int J Cardiovasc Imaging. 2023 Jun;39(6):1133-1142. doi: 10.1007/s10554-023-02825-x. Epub 2023 Mar 17	Original Article
19	Tamaki Y, Iwano H, Murayama M, Ishizaka S, Motoi K, Aoyagi H, Nakamura K, Goto M, Suzuki Y, Yokoyama S, Nishino H, Nakabachi M, Kaga S, Kamiya K, Nagai T, Anzai T	心臓血管外科	Application of an echocardiographic scoring system of left ventricular filling pressure to diagnose acute heart failure in patients complaining dyspnea.	J Cardiol. 2023 Jul;82(1):62-68. doi: 10.1016/j.jjcc.2023.04.016. Epub 2023 Apr 28	Original Article
20	Hagiwara H, Takahashi A, Komoriyama H, Kato Y, Anzai T.	心臓血管外科	Vieussens' arterial ring forming a fistula that drains into the pulmonary artery through an aneurysm.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2023	Others

21	Tanemura A, Murayama M, Iwano H, Chiba Y, Nishida M, Teshima T, Anzai T.	心臓血管外科	Relevance of early-diastolic mitral regurgitation in dilated heart.	J Echocardiogr 2023	Original Article
22	Tada A, Nagai T, Kato Y, Oyama- Manabe N, Tsuneta S, Nakai M, Yasui Y, Kazui S, Takahashi Y, Saiin K, Naito S, Takenaka S, Mizuguchi Y, Kobayashi Y, Ishizaka S, Omote K, Sato T, Konishi T, Kamiya K, Kudo K, Anzai T.	心臓血管外科	Prognostic value of liver fibrotic markers in patients with heart failure.	Am J Cardiol 2023	Others
23	Yasui Y, Nakamura K, Omote K, Ishizaka S, Takenaka S, Mizuguchi Y, Shimono Y, Kazui S, Takahashi Y, Saiin K, Naito S, Tada A, Kobayashi Y, Sato T, Kamiya K, Nagai T, Anzai T.	心臓血管外科	Prognostic Significance of Peak Workload-to-Weight Ratio by Cardiopulmonary Exercise Testing in Chronic Heart Failure	Am J Cardiol. 2023	Others

24	Nakao M, Watanabe M, Lucile Miquerol, Natsui H, Koizumi T, Kadosaka T, Koya T, Hagiwara H, Kamada R, Temma T, Antoine A.F. de Vries, Anzai T.	心臓血管外科	Optogenetic termination of atrial tachyarrhythmias by brief pulsed light stimulation.	Journal of Molecular and Cellular Cardiology 2023	Original Article
25	Aoyagi H, Tsujinaga S, Takahashi Y, Naito S, Sato T, Otsuka T, Tamaki Y, Motoi K, Ishizaka S, Chiba Y, Kamiya K, Iwano H, Nagai T, Wakasa S, Anzai T.	心臓血管外科	Multimodality Imaging of Constrictive Pericarditis Induced by Long-term Pergolide Treatment for Parkinson's Disease.	Intern Med 2023	Case Reports
26	Mizuguchi Y, Nakao M, Nagai T (Corresponding author), Takahashi Y, Abe T, Kakinoki S, Imagawa S, Matsutani K, Saito T, Takahashi M, Kato Y, Komoriyama H, Hagiwara H, Hirata K, Ogawa T, Shimizu T, Otsu M, Chiyo K, Anzai T.	心臓血管外科	Machine Learning-based Gait Analysis to Predict Clinical Frailty Scale in Elderly Patients with Heart Failure.	Eur Heart J Digit Health 2023	Others

27	Tada A, Nagai T, Kato Y, Omote K, Oyama-Manabe N, Tsuneta S, Kudo Y, Nishida M, Nakai M, Takahashi Y, Saiin K, Naito S, Kobayashi Y, Takenaka S, Mizuguchi Y, Kamiya K, Konishi T, Sato T, Kudo K, Anzai T.	心臓血管外科	Liver stiffness assessed by magnetic resonance elastography predicts clinical outcomes in patients with heart failure and without chronic liver disease.	Eur Radiol 2023	Original Article
28	Nagai T, Inomata T, Kohno T, Sato T, Tada A, Kubo T, Nakamura K, Oyama-Manabe N, Ikeda Y, Fujino T, Asaumi Y, Okumura T, Yano T, Tajiri K, Matsuura H, Baba Y, Sunami H, Tsujinaga S, Ota Y, Ohta-Ogo K, Ishikawa Y, Matama H, Nagano N, Sato K, Yasuda K, Sakata Y, Kuwahara K, Minamino T, Ono M, Anzai T.	心臓血管外科	Japanese Circulation Society Joint Working Group. JCS 2023 Guideline on the Diagnosis and Treatment of Myocarditis.	Circ J 2023	Others
29	Takenaka S, Sato T, Nagai T, Omote K, Kobayashi Y, Kamiya K, Konishi T, Tada A, Mizuguchi Y, Takahashi Y, Naito S, Saiin K, Ishizaka S, Wakasa S, and Anzai T.	心臓血管外科	Impact of right ventricular reserve on exercise capacity and quality of life in patients with left ventricular assist device.	Am J Physiol Heart Circ Physiol 2023	Others

30	<p>Saiin K, Takenaka S, Nagai T (Corresponding author), Takahashi A, Mizuguchi Y, Konishi T, Anzai T, Hotta D, Kamigaki M, Yamazaki S, Fujita T, Yamashita T, Kawahatsu K, Suzuki T, Nozaki Y, Sakurada T, Takenaka T, Igarashi Y, Makino T.</p>	<p>心臓血管外科</p>	<p>Impact of COVID-19 pandemic on emergency medical system and management strategies in patients with acute coronary syndrome.</p>	<p>Sci Rep 2023</p>	<p>Original Article</p>
31	<p>Shimono Y, Ishizaka S, Omote K, Nakamura K, Yasui Y, Mizuguchi Y, Takenaka S, Aoyagi H, Tamaki Y, Sato T, Kamiya K, Nagai T, Anzai T.</p>	<p>心臓血管外科</p>	<p>Impact of Cardiac Power Output on Exercise Capacity and Clinical Outcome in Patients with Chronic Heart Failure.</p>	<p>The American Journal of Cardiology 2023</p>	<p>Others</p>
32	<p>Hagiwara H, Watanabe M, Kadosaka T, Koizumi T, Kobayashi Y, Koya T, Nakao M, Tsuneta S, Kato Y, Komoriyama H, Kamada R, Nagai T, Kudo K, Anzai T.</p>	<p>心臓血管外科</p>	<p>Fragmented QRS on 12-lead electrocardiogram predicts long-term prognosis in patients with cardiac sarcoidosis.</p>	<p>Heart Vessels 2023</p>	<p>Original Article</p>

33	Hayashizaki M, Omote K, Tsuneta S, Nagai T, Anzai T.	心臓血管外科	Focal myocarditis Associated with Immune Checkpoint Inhibitor Therapy.	European Heart Journal – Cardiovascular Imaging 2023	Others
34	Koizumi T, Watanabe N, Yokota T, Tsuda M, Handa H, Koya J, Nishino K, Tatsuta D, Natsui H, Kadosaka T, Koya T, Nakao M, Hagiwara H, Kamada R, Temma T, Tanaka S, Anzai T.	心臓血管外科	Empagliflozin suppresses mitochondrial reactive oxygen species generation and mitigates the inducibility of atrial fibrillation in diabetic rats.	Front Cardiovasc Med 2023	Original Article
35	Kadosaka T, Watanabe M, Natsui H, Koizumi T, Nakao M, Koya T, Hagiwara H, Kamada R, Temma T, Karube F, Fujiyama F and Anzai T.	心臓血管外科	Empagliflozin attenuates arrhythmogenesis in diabetic cardiomyopathy by normalizing intracellular Ca(2+) handling in ventricular cardiomyocytes.	Am J Physiol Heart Circ Physiol 2023	Original Article

36	<p>Takahashi Y, Kamiya K, Nagai T (Corresponding author), Tsuneta S, Oyama-Manabe N, Hamaya T, Kazui S, Yasui Y, Saiin K, Naito S, Mizuguchi Y, Takenaka S, Tada A, Ishizaka S, Kobayashi Y, Omote K, Sato T, Shingu Y, Kudo K, Wakasa S, and Anzai T.</p>	<p>心臓血管外科</p>	<p>Differences in blood flow dynamics between balloon- and self-expandable valves in patients with aortic stenosis undergoing transcatheter aortic valve replacement.</p>	<p>J Cardiovasc Magn Reson 2023</p>	<p>Original Article</p>
37	<p>Kawakami K, Omote K, Tsuneta S, Nagai T, Anzai T.</p>	<p>心臓血管外科</p>	<p>Biopsy-proven cardiac sarcoidosis mimicking apical hypertrophic cardiomyopathy</p>	<p>European Heart Journal – Cardiovascular Imaging 2023</p>	<p>Others</p>
38	<p>Kazui S, Takenaka S, Nagai T (Corresponding author), Kato Y, Komoriyama H, Kobayashi Y, Takahashi A, Kamiya K, Sato T, Tada A, Yasui Y, Nakai M, Sato T, Tsujino I, Konno S, Anzai T.</p>	<p>心臓血管外科</p>	<p>Association of longitudinal cardiac troponin trajectory with adverse events in patients with cardiac sarcoidosis.</p>	<p>International Journal of Cardiology 2023</p>	<p>Original Article</p>

39	Saiin K, Konishi T, Tamaki Y, Kazui S, Yasui Y, Takahashi Y, Naito S, Takenaka S, Mizuguchi Y, Tada A, Kobayashi Y, Kato Y, Omote K, Sato T, Kamiya K, Nagai T, Tanaka S, Anzai T.	心臓血管外科	Association of coronary plaque morphology with inflammatory biomarkers and target lesion revascularization in patients with chronic coronary syndrome: an optical coherence tomography study.	American Journal of Cardiovascular Disease 2023	Original Article
40	Kamiya K, Takei M, Nagai T (Corresponding author), Miyoshi T, Ito H, Fukumoto Y, Obara H, Kakuma T, Sakuma I, Daida H, Iimuro S, Shimokawa H, Kimura T, Nagai R, Anzai T.	心臓血管外科	Association between Non-Lipid Residual Risk Factors and Cardiovascular Events in Patients with Stable Coronary Artery Disease Treated with Pitavastatin: An Observation from the REAL-CAD Study	J Atheroscler Thromb 2023	Others
41	Kanbayashi M, Omote K (Corresponding author), Sato T, Anzai T.	心臓血管外科	Arterial and venous thrombosis after long-term and excessive feminizing gender-affirming hormone therapy in a transgender woman	European Heart Journal – Cardiovascular Imaging 2023	Others

42	Tada A, Nagai T, Koya T, Nakao M, Ishizaka S, Mizuguchi Y, Aoyagi H, Imagawa S, Tokuda Y, Takahashi M, Kato Y, Machida M, Matsutani K, Saito T, Anzai T.	心臓血管外科	Applicability of new proposed criteria for iron deficiency in Japanese patients with heart failure.	ESC Heart Fail 2023	Original Article
43	Ito S, Takahama H, Asakura M, Abe Y, Ajioka M, Anzai T, Arikawa T, Hayashi T, Higashino Y, Hiramitsu S, Iwahashi N, Izumi C, Kimura K, Kinugawa K, Kioka H, Lim YJ, Matsuoka K, Matsuoka S, Motoki H, Nakamura S, Nakayama T, Nomura A, Sasaoka T, Takiuchi S, Toyoda S, Ueda T, Watanabe T, Yamada A, Yamamoto M, Sozu T, Kitakaze M.	心臓血管外科	Efficacy of azilsartan on left ventricular diastolic dysfunction compared with candesartan: J-TASTE randomized controlled trial.	Sci Rep 2023	Original Article
44	Imafuku K, Iwata H*, Natsuga K, Okumura M, Kobayashi Y, Kitahata H, Kubo A, Nagayama M, Ujiie H:	皮膚科	Zonula occludens-1 distribution and barrier functions are affected by epithelial proliferation and turnover rates.	Cell Prolif. 56: e13441, 2023.	Original article

45	Ujiie H*:	皮膚科	What's new in the pathogenesis and triggering factors of bullous pemphigoid.	J Dermatol. 50: 140-149, 2023.	Review
46	Kawamura T, Muramatsu K*, Orita A, Mai Y, Sugai T, Haga N, Fujimura Y, Miyauchi T, Izumi K, Koga H, Ishii N, Ujiie H*:	皮膚科	Two cases of Hallopeau-type pemphigus vegetans with anti-desmoglein 1 and anti-desmocollin 3 antibodies without mucosal involvement.	J Eur Acad Dermatol Venerol. 37: e508-e510, 2023.	Case Reports
47	Kosumi H*, Natsuga K*, Yanagi T, Ujiie H:	皮膚科	Systemic Retinoids for Generalized Verrucosis Due to Congenital Immunodeficiency: Case Reports and Review of the Literature.	Genes. 14: 769, 2023.	Review

48	Itamoto S, Yanagi T*, Yabe I, Matsuno Y, Ujiie H:	皮膚科	Skin biopsies for diagnosing neuronal intranuclear inclusion disease: A retrospective study of 12 cases.	J Dermatol. 50: 931-934, 2023.	Others
49	Fujita Y*, Sugai T, Maya Y, Inamura E, Hirano Y, Shimizu S:	皮膚科	Secukinumab-induced oral lichen planus in a psoriatic arthritis patient ameliorated after a switch to risankizumab.	J Dermatol. 50: 824-827, 2023.	Case Reports
50	Maya Y, Sato H*:	皮膚科	Rhythm gamer's pad.	BMJ 381: e073436, 2023.	Article

51	Seo T, Kitamura S, Yanagi T*, Maeda T, Ujiiie H:	皮膚科	Prognostic Analysis of Patients With Extramammary Paget Disease Treated With Conservative Excision.	Dermatol Surg. 49: 743-746, 2023	Original article
52	Shimizu S*, Inamura E, Sugai T, Kawashima K, Tsuji T, Ohshima K, Eguchi H, Fujita Y:	皮膚科	Primary cutaneous Langerhans cell sarcoma without evident Birbeck granules: the importance of CD207/langerin positivity.	Eur J Dermatol. 33: 311-312, 2023.	Others
53	Hoshina D*, Nagata Y:	皮膚科	Mycosis fungoides-like eruptions associated with abatacept.	Australas J Dermatol 65: e77-e78, 2024	Case Report

54	Imafuku K*, Yanagi T, Yoshimoto N, Miyazawa H, Iwata H, Ujiie H.	皮膚科	Multiple courses of steroid pulse therapy are required in treating acquired idiopathic generalized anhidrosis patients with a large anhidrotic area: A retrospective study of 28 cases.	Australas J Dermatol 65: 55-58, 2024.	Others
55	Tokuchi K, Yanagi T*, Inamura E, Kawamura T, Seo T, Fujita Y, Nakagawa M, Kasahara I, Matsuno Y, Ujiie H.	皮膚科	Morphea-like subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma	JAAD Case Rep. 46: 27-29, 2024.	Case Report
56	Maeda T, Yanagi T*, Ujiie H:	皮膚科	Lessons from clinical trials on triple combination of immune checkpoint inhibitors and BRAF/MEK inhibitors in BRAF-mutant melanoma	Ann Transl Med. 11: 326, 2023.	Others

57	Ujiie H*, Arakawa M, Aoyama Y:	皮膚科	Intravenous immunoglobulin in patients with bullous pemphigoid insufficient response to corticosteroids: Nationwide post-marketing surveillance in Japan.	J Dermatol Sci. 109: 22-29, 2023.	Original article
58	Itamoto S, Imafuku K*, Miyazawa H, Anan T, Matsumiya H, Endo D, Mitamura T, Ujiie H:	皮膚科	Hand-foot syndrome histopathologically presenting eccrine squamous syringometaplasia due to pembrolizumab after lenvatinib treatment	J Cutan Pathol. 50: 932-935, 2023.	Others
59	Ogawa H, Kitamura S, Seo T, Yoshimoto N, Yanagi T*, Ujiie H:	皮膚科	Giant basal cell carcinoma of the scrotum: A case report and review of the literature.	JEADV Clin Pract. 4: 424-426, 2023.	Case Reports

60	Yamaga M, Katayama S, Ota M*:	皮膚科	Fever, Pancytopenia, and Tender Erythematous Plaques in a Patient with Multiple Myeloma.	JAMA Dermatol. 159: 785-786, 2023.	Case Report
61	Maeda T, Yanagi T, Tokuchi K, Funakoshi T, Horie N, Isoe T, Ito M Y, Sato N, Ujiie H.	皮膚科	Eribulin for patients with metastatic extramammary Paget disease: Study protocol for a single-arm phase II trial	Exp Dermatol 33: e14993, 2024	Others
62	Youh J, Yamaguchi Y*, Kawamura T, Hoshina D:	皮膚科	Dose-dependent, non-pigmenting fixed drug eruption with eczematous lesions induced by Bosutinib.	Pan Afr Med J. 46: 95, 2023.	Case Reports

63	Nakamura K, Takashima S (Co-first), Nohara T, Watanabe M, Natsuga K*, Ujiie H:	皮膚科	Development of a nutritionally balanced, melt-in-the-mouth chocolate for patients with epidermolysis bullosa.	J Dermatol. 50: 1640-3, 2023.	Others
64	Mai Y, Izumi K*, Mai S, Nishie W, Ujiie H:	皮膚科	Detection of a natural autoantibody targeting shed ectodomain of BP180 in mice.	J Dermatol Sci. 112: 15-22, 2023.	Original Article
65	Inoue S, Maeda T, Nagata Y, Yanagi T, Ujiie H.	皮膚科	Dermoscopic Features of Heterotopic Salivary Gland Tissue in the Neck: Report of a Case.	Case Rep Dermatol. 16:17-20, 2024	Case report

66	Naruse S, Takashima S*, Natsuga K, Ujiie H:	皮膚科	Dermal discoloration due to osmium tetroxide.	Clin Toxicol. 61: 1004-1005, 2023.	Case Reports
67	Tokuchi K, Yanagi T*, Kurosawa S, Kitamura S, Maeda T, Hsu CY, Miyamoto K, Nishihara H, Ujiie H:	皮膚科	Clinical-histopathological features and cancer gene analysis of cutaneous epithelioid angiosarcoma: A report of 4 cases.	JAAD Case Rep. 46: 45-48, 2024.	Case Report
68	Youh J, Yamaguchi Y, Hiraguchi E.	皮膚科	Centrifugally Spreading Annular Erythema as a Dermatological Indicator of Metastatic Breast Carcinoma	Cureus 16: e51641. 2024	Case Report

69	Tanaka A*, Miyazawa H, Yanagi T, Maeda T, Kitamura S, Ujiie H.	皮膚科	Association between weight loss and death in patients with malignant melanoma: A retrospective study of 28 cases.	J Dermatol. 51:463-466, 2024	Others
70	Takashima S*, Sun W*, Otten ABC, Cai P, Bui J, Mai M, Amarbayer O, Cheng B, Odango RJ, Tong E, Li Z, Qu K, Sun BK: *equal contribution	皮膚科	Alternative mRNA splicing events and regulators in epidermal differentiation.	Cell Rep. 43:113814, 2024.	Others
71	Youh J, Yamaguchi Y*, Shimano M, Hotta M:	皮膚科	A case of generalized granuloma annulare induced by intravesical bacillus Calmette-Guerin immunotherapy.	Indian J Dermatol. 68: 590, 2023.	Others

72	Tanaka A, Fujimura Y*, Fuke S, Izumi K, Ujiiie H:	皮膚科	A case of bullous pemphigoid developing under treatment with benralizumab for bronchial asthma.	J Dermatol. 50: 1199-1202. 2023.	Others
73	Kengo Shibata	消化器外科 I	Warm Ischemia Induces Spatiotemporal Changes in Lysophosphatidylinositol That Affect Post-Reperfusion Injury in Normal and Steatotic Rat Livers.	Journal of clinical medicine, 2023 Apr 27	Original Article
74	Moto Fukai , Hiroyuki Sugimori , Sodai Sakamoto , Kengo Shibata , Hiroyuki Kameda , Takahisa Ishikawa , Norio Kawamura , Masato Fujiyoshi , Sunao Fujiyoshi , Kohsuke Kudo , Tsuyoshi Shimamura , Akinobu Taketomi	消化器外科 I	Rapid and Reliable Steatosis Rat Model Shrsp5-Dmcr for Cold Storage Experiment.	Transplantation Proceedings. Volume 55, Issue 4, May 2023, Pages 1032-1035	Original Article

75	Tadashi Yoshida	消化器外科 I	Preoperative mechanical bowel preparation using conventional versus hyperosmolar polyethylene glycol-electrolyte lavage solution before laparoscopic resection for colorectal cancer (TLUMP test): a phase III, multicenter randomized controlled non-inferiority trial.	Journal of Gastroenterology, 2023 Sep	Original Article
76	Fukai M, Sakamoto S, Shibata K, Ishikawa T, Kawamura N, Fujiyoshi M, Fujiyoshi S, Nakamura K, Bochimoto H, Shimada S, Shimamura T, Taketomi A	消化器外科 I	Important Constituents of Heavy Water-containing Solution for Cold Storage and Subsequent Reperfusion on an Isolated Perfused Rat Liver.	Transplantation Proceedings, Jan-Feb 2024	Original Article
77	Moto Fukai, Sodai Sakamoto, Hiroki Bochimoto, Nur Khatijah Mohd Zin, Kengo Shibata, Takahisa Ishikawa, Shingo Shimada, Norio Kawamura, Masato Fujiyoshi, Sunao Fujiyoshi, Kosei Nakamura, Tsuyoshi Shimamura, Akinobu Taketomi	消化器外科 I	Hypothermic Machine Perfusion with Hydrogen Gas Reduces Focal Injury in Rat Livers but Fails to Restore Organ Function.	Transplantation Proceedings, May 2024	Original Article

78	Tadashi Yoshida	消化器外科 I	Feasibility of Laparoscopic and Robotic Total Proctocolectomy for Ulcerative Colitis-related Colorectal Cancer.	Anticancer Research, 2023 Nov	Original Article
79	Kazuki Wakizaka	消化器外科 I	Expression of Wnt5a and ROR2, Components of the Noncanonical Wnt-Signaling Pathway, is Associated with Tumor Differentiation in Hepatocellular Carcinoma.	Annals of Surgical Oncology, 2024 Jan	Original Article
80	Sodai Sakamomto	消化器外科 I	Exploration of Optimal pH in Hypothermic Machine Perfusion for Rat Liver Grafts Retrieved after Circulatory Death.	Journal of clinical medicine, 2023 June 4	Original Article

81	Yumeto Mikuni	消化器外科 I	Early-stage sigmoid colon cancer resection followed by liver metastasis recurrence 1 year later and mesenteric recurrence more than 5 years later: a case report.	Surgical case reports, Aug 31	Case report
82	Fukai M, Sakamoto S, Shibata S, Fujiyoshi M, Fujiyoshi S, Bochimoto H, Ishikawa T, Shimada S, Nakamura K, Kawamura N, Shimamura T, Taketomi A	消化器外科 I	Combination of Cold Storage in a Heavy Water-Containing Solution and Post-Reperfusion Hydrogen Gas Treatment Reduces Ischemia-Reperfusion Injury in Rat Livers.	Transplantation Proceedings, May 2024	Original Article
83	Hirose K, Murakami S, et al.	消化器外科 II	Delphi Method Consensus-Based Identification of Primary Trauma Care Skills Required for General Surgeons in Japan	J Acute Care Surg 2023; 13	Others

84	Nishimura Y, Ono M, Okubo N, Sone T, Higashino M, Matsumoto S, Kubo M, Yamamoto K, Ono S, Ohnishi S, Sakamoto N.	消化器内科	Application of polyglycolic acid sheets and basic fibroblast growth factor to prevent esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection in pigs.	J Gastroenterol. 2023 Nov;58(11):1094-1104.	Original Article
85	Higashino M, Ono S*, Matsumoto S, Yasuura N, Hayasaka S, Tanaka I, Shimoda Y, Nishimura Y, Ono M, Yamamoto K, Sakamoto N.	消化器内科	Improvement of detection sensitivity of upper gastrointestinal epithelial neoplasia in linked color imaging based on data of eye tracking.	J Gastroenterol Hepatol 38(5), 710-715, 2023	Original Article

86	<p>Sato T, Saito T, Takenaka M, Iwashita T, Shiomi H, Fujisawa T, Hayashi N, Iwata K, Maruta A, Mukai T, Masuda A, Matsubara S, Hamada T, Inoue T, Ohyama H, Kuwatani M, Kamada H, Hashimoto S, Shiratori T, Yamada R, Kogure H, Ogura T, Nakahara K, Doi S, Chinen K, Isayama H, Yasuda I, Nakai Y; WONDERFUL study group in Japan, collaborators.</p>	消化器内科	<p>WONDER-01: immediate necrosectomy vs. drainage-oriented step-up approach after endoscopic ultrasound-guided drainage of walled-off necrosis—study protocol for a multicentre randomised controlled trial.</p>	<p>Trials. 2023 May 24;24(1):352.</p>	Others
87	<p>Sugiura R, Kishi K, Kuwatani M.</p>	消化器内科	<p>Temporary rescue hemostasis for arterial hemorrhage using pentapod forceps during direct endoscopic necrosectomy.</p>	<p>Dig Endosc. 2023 May;35(4):540.</p>	Case report

88	Kimura Y, Nakamura T, Imamura M, Nagayama M, Murakami T, Hayashi T, Kato T, Tanaka K, Yoshida M, Kukita K, Imai K, Yoshida M, Masaki Y, Motoya M, Kuwatani M, Koyama M, Ohnishi H, Takemasa I.	消化器内科	Reconsidering resectable oncological conditions in pancreatic tail cancer: A multicenter retrospective study on prognostic factors in pancreatic tail cancer after resection (HOPS Pt-01).	Pancreatology. 2024 Feb;24(1):109-118.	Original Article
89	Kuwatani M, Sakamoto N.	消化器内科	Promising Highly Targeted Therapies for Cholangiocarcinoma: A Review and Future Perspectives.	Cancers (Basel). 2023 Jul 20;15(14):3686.	Review
90	Kishi K, Kuwatani M, Sakamoto N.	消化器内科	Novel usage of one nasobiliary drainage tube for cholecystitis with cholangitis from external to internal drainage.	Dig Endosc. 2023 May;35(4):e59-e60.	Case report

91	Kishi K, Kuwatani M, Ohnishi Y, Kumaki Y, Kumeta H, Hirata H, Takishin Y, Furukawa R, Nagai K, Yonemura H, Nozawa S, Sugiura R, Kawakubo K, Aizawa T, Sakamoto N.	消化器内科	Metabolomics of Duodenal Juice for Biliary Tract Cancer Diagnosis.	Cancers (Basel). 2023 Sep 1;15(17):4370.	Original Article
92	Sato T, Nakai Y, Kogure H, Mitsuyama T, Shimatani M, Uemura S, Iwashita T, Tanisaka Y, Ryozaawa S, Tsuchiya T, Itoi T, Kin T, Katanuma A, Kashima K, Irisawa A, Kayashima A, Iwasaki E, Yoshida A, Takenaka M, Himei H, Kato H, Masuda A, Shiomi H, Kawakubo K, Kuwatani M, Otsuka T, Matsubara S, Nishioka N, Ogura T, Tamura T, Kitano M, Hayashi N, Yasuda I, Fujishiro M.	消化器内科	ERCP using balloon-assisted endoscopes versus EUS-guided treatment for common bile duct stones in Roux-en-Y gastrectomy.	Gastrointest Endosc. 2024 Feb;99(2):193-203.	Original Article

93	Takishin Y, Kuwatani M, Nishida M, Mitsuhashi T, Kishi K, Nagai K, Furukawa R, Hirata H, Hirata K, Kato S, Kawakubo K, Sakamoto N.	消化器内科	Clinical significance of dispersion imaging by shear wave elastography in the treatment and diagnosis of pancreatic cancer.	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Apr;38(4):656-663.	Original Article
94	Sugiura R, Kagaya H, Nakamura H, Horita S, Meguro T, Sasaki K, Yoshida T, Aoki H, Kuwatani M, Fukushima M, Morita T, Fujita M, Okamura K, Tamoto E, Ueno T, Tsutaho A, Inoue A, Takahashi T.	消化器内科	A rare case of pancreatic acinar cell carcinoma presenting a submucosal tumor.	Endosc Ultrasound. 2023 Mar-Apr;12(2):300-302.	Case report
95	Nagai K, Kuwatani M, Takishin Y, Furukawa R, Hirata H, Kawakubo K, Sakamoto N.	消化器内科	Two-step pancreatic duct stenting with endoscopic ultrasonography and balloon-assisted enteroscopy for pancreaticojejunal anastomotic stricture.	Endoscopy. 2023 Dec;55(S 01):E183-E184.	Case report

96	Sugiura R, Kuwatani M, Nishida M, Satoh M, Kawakubo K, Kato S, Hirata K, Nakajima M, Hirata H, Takishin Y, Sakamoto N	消化器内科	Significance of Shear Wave Dispersion Slope Values Before Versus After Biliary Drainage in Patients With Obstructive Jaundice: A Single-Center Prospective Observational Cohort Study	Ultrasound Q. 2023 Sep 1;39(3):152-157. doi: 10.1097/RUQ.0000000000000644.	Original Article
97	Shiratori S, Okada K, Sugita J, Nishida M, Iwai T, Ota S, Hashimoto D, Teshima T	消化器内科	HokUS-10 scoring system predicts the treatment outcome for sinusoidal obstruction syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Sci Rep. 2023 Oct 13;13(1):17374. doi: 10.1038/s41598-023-43806-3	Original Article
98	Shiia A, Noguchi T, Tomaru U, Ariga S, Takashima Y, Ohhara Y, Taguchi J, Takeuchi S, Shimizu Y, Kinoshita I, Koizumi T, Matsuno Y, Shinagawa N, Sakakibara-Konishi J, Dosaka-Akita H.	腫瘍内科	EGFR inhibition in EGFR-mutant lung cancer cells perturbs innate immune signaling pathways in the tumor microenvironment.	Cancer Sci. 2023 Apr;114(4):1270-1283.	Original Article

99	Takeuchi S, Hirata K, Magota K, Watanabe S, Moku R, Shiiya A, Taguchi J, Ariga S, Goda T, Ohhara Y, Noguchi T, Shimizu Y, Kinoshita I, Honma R, Tsuji Y, Homma A, Dosaka-Akita H.	腫瘍内科	Early prediction of treatment outcome for lenvatinib using 18F-FDG PET/CT in patients with unresectable or advanced thyroid carcinoma refractory to radioiodine treatment: a prospective, multicentre, non-randomised study.	EJNMMI Res. 2023 Jul 17;13(1):69.	Original Article
100	Yuki Saito, Ryusuke Suzuki, Naoki Miyamoto, Kenneth Lee Sutherland, Takahiro Kanehira, Masaya Tamura, Takashi Mori, Kentaro Nishioka, Takayuki Hashimoto, Hidefumi Aoyama	医学物理部	A new predictive parameter for dose-volume metrics in intensity-modulated radiation therapy planning for prostate cancer: Initial phantom study	Journal of Applied Clinical Medical Physics 2023 Dec 25	Original Article
101	Kakuguchi W, Ashikaga Y, Yanagawa-Matsuda A, Kuribayashi K, Shinohara S, Ogawa N, Maishi N, Hida K, Fang CY, Ohiro Y	口腔外科	Significant association of Yamamoto-Kohama classification and pathological depth of invasion with cervical lymph node metastasis in early-stage tongue squamous cell carcinoma (Stage I/II).	J Dent Sci, 18(4):1663-1668, 2023 Oct	Original Article

102	Ashikaga Y, Shinohara S, Nakano S, Ogawa N, Matsuyama D, Murakami H, Kuribayashi K, Ohiro Y	口腔外科	Pre-operative virtual planning followed by fabrication of patient-specific guiding instruments for mandibular deformity after fibula free flap reconstruction.	Hokkaido J. Dent. Sci., 44: 69-72, 2023 Sep	Original Article
103	Seikai T, Tanaka S, Ogawa N, Murakami H, Ohiro Y	口腔外科	Oronasal fistula: A rare complication of mesiodens.	Advances in Oral and Maxillofacial Surg. Vol 12, 2023 Dec	Case Report
104	Trang N Thi, Ashikaga Y., Matsushita K., Ohiro Y.	口腔外科	Investigating the relationship between the remodeling of TMJ bony structures and condylar rest position following orthognathic surgery in class II and class III skeletal malocclusions.	JOMSMP, 35(4): 306-316, 2023 July.	Original Research

105	Kakuguchi W, Kitamura T, Takahashi T, Yanagawa-Matsuda A, Fang Chih-Yuan; Ohiro Y, Higashino F.	口腔外科	Human antigen R knockdown attenuates the invasive activity of oral cancer cells through inactivation of matrix metalloproteinase-1 gene expression.	J Dent Sci. : 19(1):154-161, 2024 Jan	Original Article
106	Yuki Ueda, Ayako Furugen, Masaki Kobayashi, Yasuyuki Sato, Yasuhiro Ueda, Asako Hayashi, Takeru Goto , Shuhei Kimura , Masashi Narugami , Sachiko Nakakubo, Midori Nakajima, Kiyoshi Egawa , Takayuki Okamoto, Atsushi Manabe. Hideaki Shiraishi	小児科	Use of lacosamide for focal epilepsy in a child with kidney failure undergoing peritoneal dialysis.	Brain & Development 2024 Feb;46(2):114-117	Case report
107	Atsushi Yamaguchi, Yuki Tazawa, Masashiro Ueki, Masafumi Yamada, Atsushi Manabe, Mitsuru Sugawara, Yoh Takekuma	薬剤部	Therapeutic drug monitoring of oral voriconazole in an infant less than six months of age and pharmacokinetics changes induced by development of CYP2C19 in the growth process: a novel case report.	YAKUGAKU ZASSHI, 2023;143(6):545-549. doi: 10.1248/yakushi.23-00001.	Case report

108	Ryota Kanno, Yoshitaka Saito, Yoh Takekuma, Hajime Asahina, Mitsuru Sugawara	薬剂部	Temporary Severe Neutropenia during Administration of Atezolizumab: A Novel Case Report	Case Reports in Oncology, 2023 May 24;16(1):372-377. doi: 10.1159/000530338.	Case report
109	Yamaguchi A, Saito Y, Takekuma Y, Sugawara M.	薬剂部	Palonosetron for prevention of delayed chemotherapy-induced nausea and vomiting in pediatric patients: a meta- analysis	Support Care Cancer., 2023 Dec 26;32(1):58. doi: 10.1007/s00520- 023-08283-4.	Original Article
110	Yamaguchi A, Mukai Y, Sakuma T, Suganuma Y, Furugen A, Narumi K, Kobayashi M.	薬剂部	Molecular characteristic analysis of single-nucleotide polymorphisms in SLC16A9/hMCT9.	Life sciences, 2023 Dec 1:334:122205. doi: 10.1016/j.lfs.2023.122205 . Epub 2023 Oct 24.	Original Article

111	Saito Y, Takekuma Y, Takeshita T, Oshino T, Sugawara M.	薬剂部	Impact of systemic dexamethasone dosage on docetaxel-induced oral mucositis in patients with breast cancer.	Scientific Reports, 2023 Jun 22;13(1):10169. doi: 10.1038/s41598-023-37285-9.	Original Article
112	Saito Y, Kanno R, Takekuma Y, Takeshita T, Oshino T, Sugawara M.	薬剂部	High dose of dexamethasone attenuates docetaxel-induced fluid retention in breast cancer treatment.	Scientific Reports, 2023 Jun 7;13(1):9247. doi: 10.1038/s41598-023-36264-4.	Original Article
113	Tatsuhiko Sakamotoa, Yoshitaka Saitoa, Yoh Takekumaa, Eiki Kikuchib, Mitsuru Sugawara	薬剂部	Gefitinib-induced Myositis: A Novel Case Report	YAKUGAKU ZASSHI, 2023 Jul;143(7):617-620. doi: 10.1248/yakushi.23-00007.	Case report

114	Yoshitaka Saito, Kazuki Uchiyama, Yoh Takekuma, Yoshito Komatsu, Mitsuru Sugawara	薬剂部	Evaluation of the additional prophylactic effect of topical steroid ointment to systemic minocycline against anti-epidermal growth factor antibody-induced skin toxicities in metastatic colorectal cancer treatment	Support Care Cancer. , 2023 Dec 6;32(1):8. doi: 10.1007/s00520-023-08195-3.	Original Article
115	Osamu Taniguchi, Yoshitaka Saito, Yoh Takekuma, Hirotochi Akita, Ichiro Kinoshita, Yasushi Shimizu, Naofumi Shinagawa, Mitsuru Sugawara	薬剂部	Efficacy of antacids for cisplatin-induced gastrointestinal symptoms in the treatment of lung cancer	Int J Clin Pharmacol Ther, 2023 Jun;61(6):246-254. doi: 10.5414/CP204349.	Original Article
116	Yusuke Niinuma, Keisuke Kagami, Mitsuru Sugawara, Yoh Takekuma	薬剂部	Effectiveness of third-generation cephalosporins against Enterobacter cloacae infection	BPB Reports, 2023 Aug 12; 6 (4):150-154. doi: 10.1248/bpbreports.6.4_150.	Original Article

117	Saito Y, Takekuma Y, Takeshita T, Oshino T, Sugawara M.	薬剂部	Dexamethasone dose-dependently prevents taxane-associated acute pain syndrome in breast cancer treatment.	Support Care Cancer. , 2023 Jun 3;31(6):372. doi: 10.1007/s00520-023-07852-x.	Original Article
118	Akira Yamagami, Katsuya Narumi, Yoshitaka Saito, Ayako Furugen, Shungo Imai, Yoshimasa Kitagawa, Yoichi Ohiro, Ryo Takagi, Yoh Takekuma, Mitsuru Sugawara, Masaki Kobayashi	薬剂部	Development of a risk prediction model for surgical site infection after lower third molar surgery	Oral Diseases, 2024 Jul;30(5):3202-3211. doi: 10.1111/odi.14747. Epub 2023 Sep 27.	Original Article
119	Shunsuke Nashimoto, Masashi Miyamae, Issei Higuchi, Michihito Kono, Maria Tada, Tatsuya Atsumi, Mitsuru Sugawara, Yoh Takekuma	薬剂部	Decrease in mycophenolic acid plasma level by sacubitril/valsartan in lupus nephritis patient	Case Rep Nephrol Dial, 2024 Feb 28;14(1):30-35. doi: 10.1159/000536468. eCollection 2024 Jan-Dec.	Original Article

120	Keisuke Kagami, Nobuhisa Ishiguro, Sumio Iwasaki, Keisuke Taki, Tatsuya Fukumoto, Kasumi Hayasaka, Reiko Oyamada, Tsubasa Watanabe, Sho Nakakubo, Yusuke Niinuma, Mitsuru Sugawara, Yoh Takekuma	薬剂部	Correlation between antibiotic use and resistance of gram-negative bacteria at a university hospital in Japan from 2013 to 2021: a study using the Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology (J-SIPHE) system	Eur J Hosp Pharm, 2023 Jul 12;ejhpharm-2023-003797. doi: 10.1136/ejhpharm-2023-003797. Online ahead of print.	Original Article
121	Takezo Tsutsumi, Shungo Imai, Kenji Momo, Hitoshi Kashiwagi, Yuki Sato, Mitsuru Sugawara, Yoh Takekuma	薬剂部	Comparison of the incidence of nausea and vomiting between linezolid and vancomycin using claims database: a retrospective cohort study	Int J Clin Pharm., 2024 Apr;46(2):421-428. doi: 10.1007/s11096-023-01668-9. Epub 2023 Dec 29.	Original Article
122	Atsushi Yamaguchi, Yuto Mukai, Tomoya Sakuma, Ayako Furugen, Katsuya Narumi, Masaki Kobayashi	薬剂部	Atorvastatin Exerts More Selective Inhibitory Effects on hMCT2 than on hMCT1 and hMCT4.	Anticancer Res., 2023 Jul;43(7):3015-3022. doi: 10.21873/anticancer.	Original Article

123	Keisuke Kagami, Masaaki Kitajima, Hisashi Takahashi, Takanori Teshima, Nobuhisa Ishiguro	薬剂部	Association of wastewater SARS-CoV-2 load with confirmed COVID-19 cases at a university 2 hospital in Sapporo, Japan during the period from February 2021 to February 2023	Sci Total Environ, 2023 Nov 15;899:165457. doi: 10.1016/j.scitotenv.2023.165457. Epub 2023 Jul 25.	Original Article
124	Atsushi Yamaguchi, Yoshitaka Saito, Katsuya Narumi, Ayako Furugen, Yoh Takekuma, Naofumi Shinagawa, Yasushi Shimizu, Hirotochi Dosaka-Akita, Mitsuru Sugawara, Masaki Kobayashi	薬剂部	Association between skin immune-related adverse events (irAEs) and multisystem irAEs during PD-1/PD-L1 inhibitor monotherapy	Journal of Cancer Research and Clinical Oncology, 2023 Apr;149(4):1659-1666. doi: 10.1007/s00432-022-04425-z.	Original Article
125	Keisuke Okamoto, Yoshitaka Saito, Atsushi Yamaguchi, Yoh Takekuma, Mitsuru Sugawara	薬剂部	Acid suppressants reduce the therapeutic effect of immune checkpoint inhibitors and increase the risk of acute kidney injury: a meta-analysis	Int J Clin Oncol, 2023 Oct;28(10):1343-1353. doi: 10.1007/s10147-023-02385-z. Epub 2023 Jul 8.	Original Article

126	Satoru Aono, Satonori Tsuneta, Noriko Nishioka, Takuya Aoike, Hiroyuki Hirayama, Kinya Ishizaka, Jihun Kwon, Masami Yoneyama, Noriyuki Fujima, Kohsuke Kudo	放射線部	Comparison of Echo-Planar Imaging and Compressed Sensing in the Estimation of Flow Metrics from Aortic 4D Flow MR Imaging: A Healthy Volunteer Study	Magn Reson Med Sci. 2024: doi:10.2463/mrms.mp.202 3-0011	Original Article
127	Yohei Ono, Nobuaki Suzuki, Ryosuke Sakano, Yasuka Kikuchi, Tasuku Kimura, Kenneth Sutherland and Tamotsu Kamishima	放射線部	A Deep Learning-Based Model for Classifying Osteoporotic Lumbar Vertebral Fractures on Radiographs: A Retrospective Model Development and Validation Study	Journal of Imaging. 2023:9:187	Original Article
128	Ninagawa K, Kato M, Kikuchi Y, Sugimori H, Kono M, Fujieda Y, Tsujino I, Atsumi T.	リウマチ・腎臓内科	Predicting the response to pulmonary vasodilator therapy in systemic sclerosis with pulmonary hypertension by using quantitative chest CT.	Modern Rheumatology.2023 Jul 4;33(4):758-767.	Original Article

129	Aso K, Fujieda Y, Atsumi T. H	リウマチ・腎臓内科	Homonymous hemianopsia and headache with mass-like lesion.	Ann Rheum Dis. 2023 Aug;82(8):1114-1115.	Case report
130	Sakiyama K, Kono M, Shimizu A, Atsumi T.	リウマチ・腎臓内科	Extranodal marginal zonelymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue with spontaneous shrinkage in a patient with Sjögren's syndrome.	J Rheumatol. 2023 Oct 1;jrheum.2023-0422.	Case report
131	Sakiyama K, Abe N, Fujieda Y, Tha KK, Narita H, Karino K, Kanda M, Kono M, Kato M, Atsumi T.	リウマチ・腎臓内科	Dynamics of corticocortical brain functional connectivity relevant to therapeutic response to biologics in inflammatory arthritis.	Cerebral Cortex.2023 Jun 20;33(13):8342-8351.	Original Article

132	Shindo T, Ito M, Sugiyama T, Okuyama T, Kono M, Atsumi T, Fujimura M.	リウマチ・腎臓内科	Diagnostic Value of Vessel Wall Imaging to Determine the Timing of Extracranial-Intracranial Bypass for Moyamoya Syndrome Associated with Active Sjogren's Syndrome: A Case Report.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg, 2024 Mar;85(2):227-232.	Case report
133	Kono M, Kono M, Atsumi T.	リウマチ・腎臓内科	Angioedema: hereditary or C1-inhibitor deficiency associated with systemic lupus erythematosus?	Scand J Rheumatol. 2023 Nov;52(6):708-709.	Case report
134	Atsumi T, Chighizola CB, Fujieda Y, Mackie I, Radin M, Roubey R, Bertolaccini ML.	リウマチ・腎臓内科	16th International congress on antiphospholipid antibodies task force report on antiphospholipid syndrome laboratory diagnostics and trends.	Lupus. 2023 Dec;32(14):1625-1636.	Original Article

135	Kikuchi M, Iwai T, Nishida M, Kudo Y, Omotehara S, Sato M, Sugita J, Goto H, Yokota I, Teshima T	超音波センター	Assessment of hepatic veno-occlusive disease/sinusoidal obstruction syndrome using different scanning approaches for the ultrasonographic evaluation of portal vein blood flow and hepatic artery resistive index in hematopoietic stem cell transplant recipients	J Med Ultrason (2001). 2023 Oct;50(4):465-471. doi: 10.1007/s10396-023-01335-6. Epub 2023 Jul 4	Original Article
136	Mizushima, K., Shibata, Y., Shirai, S., Matsushima, M., Miyatake, S., Iwata, I., Yaguchi, H., Matsumoto, N., & Yabe, I.	臨床遺伝子診療部	Prevalence of repeat expansions causing autosomal dominant spinocerebellar ataxias in Hokkaido, the northernmost island of Japan	J Hum Genet. 2023 Oct 17. doi: 10.1038/s10038-023-01200-x.	Original Article
137	Hiramoto K, Yamada T*, Tsuchiya M, Kawame H, Nanba E, Goto Y, Kosugi S.	臨床遺伝子診療部	Difficulties in disclosing secondary findings by facilities performing comprehensive germline genetic testing for rare diseases in Japan.	Congenit Anom (Kyoto). 2024 Mar 26. doi: 10.1111/cga.12562.	Original Article

138	Nitta Y, Iwasaki M, Kido K.	歯科麻酔科	Risk Factors for Pulmonary Complications After Major Oral and Maxillofacial Surgery With Free Flap Reconstruction	Cureus, December 2023	Original Article
139	Omotehara S, Nishida M, Kikuchi M, Kudo Y, Matsui A, Sato S, Murata SI, Gotoda H, Teshima T	検査・輸血部	Ultrasonographic diagnosis of cystitis glandularis with severe intestinal metaplasia	J Clin Ultrasound. 2023 Oct;51(8):1397-1400. doi: 10.1002/jcu.23513. Epub 2023 Jul 11	Case Report
140	Abe T, Okada K, Murayama M, Kaga S, Nakabachi M, Yokoyama S, Nishino H, Aoyagi H, Tamaki Y, Motoi K, Chiba Y, Ishizaka S, Tsujinaga S, Iwano H, Kamiya K, Nagai T, Anzai T	Graduate School of Health Sciences, Hokkaido University, Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, Diagnostic Center for Sonography, Hokkaido University Hospital, Faculty of Health Sciences, Hokkaido University, Department of Cardiovascular Medicine, Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Division of Cardiology, Hakodate Municipal Hospital	Usefulness of the pulmonary venous flow waveform for assessing left atrial stiffness	Int J Cardiovasc Imaging. 2023 Jan;39(1):23-34. doi: 10.1007/s10554-022-02689-7. Epub 2022 Jul 16	Original Article

141	Chiba M, Shimono J, Suto K, Ishio T, Endo T, Goto H, Hasegawa H, Maeda M, Teshima T, Yang Y, Nakagawa M	血液内科	Whole genome CRISPR screening identifies molecular mechanisms of PD-L1 expression in Adult T-cell leukemia/lymphoma	Blood. 2024 Apr4;143(14):1379-1390.	Original Article
142	Uno S, Gatanaga H, Hayashida T, Imahashi M, Minami R, Koga M, Samukawa S, Watanabe D, Fujii T, Tateyama M, Nakamura H, Matsushita S, Yoshino Y, Endo T, Horiba M, Taniguchi T, Moro H, Igari H, Yoshida S, Teshima T, Nakajima H, Nishizawa M, Yokomaku Y, Iwatani Y, Hachiya A, Kato S, Hasegawa N, Yoshimura K, Sugiura W, Kikuchi T	血液内科	Virological outcomes of various first-line ART regimens in patients harbouring HIV-1 E157Q integrase polymorphism: a multicentre retrospective study	J Antimicrob Chemother. 2023 Dec 1;78(12):2859-2868. doi: 10.1093/jac/dkad319.	Original Article

143	Saburi M, Oshima K, Takano K, Inoue Y, Harada K, Uchida N, Fukuda T, Doki N, Ikegame K, Matsuo Y, Katayama Y, Ozawa Y, Matsuoka KI, Kawakita T, Mori Y, Ara T, Nakamae H, Kimura T, Kanda Y, Atsuta Y, Ogata M	血液内科	Transplant Complications Working Group of the Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy. Risk factors and outcome of <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> infection after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: JSTCT, Transplant Complications Working Group	Ann Hematol. 2023 Sep;102(9):2507-2516. doi: 10.1007/s00277-023-05320-4. Epub 2023 Jun 20.	Original Article
144	Komatsumoto M, Nakazawa D, Endo T, Nishio S, Kawamura T, Miyoshi-Harashima A, Takenaka S, Shiratori-Aso S, Kurotori M, Matsuoka N, Atsumi T	血液内科	Successful initiation of hemodialysis for a hemophilia A patient with factor VIII inhibitor: a case report and literature review.	CEN Case Rep. 2023 Jul 25. doi: 10.1007/s13730-023-00811-9. Online ahead of print.	Case Reports
145	Tada M, Kachi S, Onozawa M, Fujieda Y, Yoshida S, Oki Y, Kamada K, Nagai J, Okada S, Kikuchi R, Hisada R, Hasegawa Y, Ohigashi H, Goto H, Hashimoto D, Nakazato S, Matsuno Y, Teshima T, Atsumi T	血液内科	Subcutaneous Panniculitis-like T-cell Lymphoma Lacking Subcutaneous Tumor Mimicking Adult-onset Still's Disease	Intern Med. 2023 Nov 1;62(21):3231-3235. doi: 10.2169/internalmedicine.1419-22. Epub 2023 Mar 15.	Case report

146	Yokoyama S, Onozawa M, Yoshida S, Miyashita N, Kimura H, Takahashi S, Matsukawa T, Goto H, Fujisawa S, Miki K, Hidaka D, Hashiguchi J, Wakasa K, Ibata M, Takeda Y, Shigematsu A, Fujimoto K, Tsutsumi Y, Mori A, Ishihara T, Kakinoki Y, Kondo T, Hashimoto D, Teshima T	血液内科	Subclinical minute FLT3-ITD clone can be detected in clinically FLT3-ITD-negative acute myeloid leukaemia at diagnosis	Br J Haematol. 2023 Jun;201(6):1144-1152. doi: 10.1111/bjh.18800. Epub 2023 Apr 17.	Original Article
147	Teshima T, Hashimoto D	血液内科	Separation of GVL from GVHD -location, location, location.	Front Immunol. 2023 Dec 5;14:1296663. doi: 10.3389/fimmu.2023.1296663. eCollection 2023	Review
148	Hayase E, Ara T, Saito Y, Takahashi S, Yoshioka K, Ohigashi H, Ogasawara R, Yokoyama E, Yamakawa T, Ebata K, Hasegawa Y, Tomizuka K, Teshima T	血液内科	R-Spondin1 protects gastric stem cells and mitigates gastric GVHD in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Blood Adv. 2024 Feb 13;8(3):725-731. doi: 10.1182/bloodadvances.2023011034.	Original Article

149	Yanagisawa R, Tamaki M, Tanoshima R, Misaki Y, Uchida N, Koi S, Tanaka T, Ozawa Y, Matsuo Y, Tanaka M, Ikegame K, Katayama Y, Matsuoka KI, Ara T, Kanda Y, Matsumoto K, Fukuda T, Atsuta Y, Kato M, Nakasone H	血液内科	Risk factors for fatal cardiac complications after allogeneic hematopoietic cell transplantation: Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy transplant complications working group	Hematol Oncol. 2023 Aug;41(3):535-545. doi: 10.1002/hon.3101. Epub 2022 Nov 25.	Original Article
150	Kimura H, Onozawa M, Matsukawa T, Goto H, Kondo T, Teshima T	血液内科	Relative impact of THPO mutation causing hereditary thrombocythemia	Exp Hematol. 2024 Jun;134:104208. doi: 10.1016/j.exphem.2024.104208. Epub 2024 Mar 26	Original Article
151	Kurosawa S, Imafuku K, Nakakubo S, Iwasaki S, Teshima T, Goto H, Ujiie H	血液内科	Pseudotumor of the skin due to Mycobacterium genavense	Int J Infect Dis. 2023 Sep;134:88-90. doi: 10.1016/j.ijid.2023.05.004. Epub 2023 May 16.	Case report

152	Ichikawa T, Tamura T, Takahata M, Ishio T, Iyata M, Kasahara I, Minauchi K, Yamamoto S, Teshima T, Fukuhara T	血液内科	Prolonged shedding of viable SARS-CoV-2 in immunocompromised patients with haematological malignancies: A prospective study	Br J Haematol. 2024 Mar;204(3):815-820. doi: 10.1111/bjh.19143. Epub 2023 Oct 5.	Original Article
153	Konuma T, Itonaga H, Ishiyama K, Hamamura A, Uchida N, Ozawa Y, Katayama Y, Sakurai M, Ueda Y, Matsuoka KI, Kawakita T, Eto T, Ara T, Kanda J, Onizuka M, Fukuda T, Atsuta Y	血液内科	Progress in survival following three decades of allogeneic hematopoietic cell transplantation for myelodysplastic syndrome	A real-world registry study in Japan. Am J Hematol. 2023 Apr;98(4):E68-E71. doi: 10.1002/ajh.26839. Epub 2023 Jan 24.	Original Article
154	Mori H, Koyama D, Sato Y, Kataoka Y, Taito S, Ishio T, Teshima T, Yokota I.	血液内科	Prognostic Value of Hematopoietic Disorders After Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Systematic Review and Meta-Analysis	Cureus. 2023 Oct 17;15(10):e47184. doi: 10.7759/cureus.47184. eCollection 2023 Oct	Original Article

155	<p>Yuqin Song, Hervé Tilly, Shinya Rai, Huilai Zhang, Jie Jin, Hideki Goto, Yasuhito Terui, Ho-Jin Shin, Won Seog Kim, Junning Cao, Jifeng Feng, Hyeon Seok Eom, Tae Min Kim, Xavier Cheng-Hong Tsai, Jyh-Pyng Gau, Hideo Koh, Liling Zhang, Yongping Song, Yu Yang, Wei Li, He Huang, Kiyoshi Ando, Jeff P Sharman, Laurie H Sehn, Lilian Bu, Xin Wang, Yanwen Jiang, Jamie Hirata, Calvin Lee, Jun Zhu, Koji Izutsu</p>	血液内科	<p>Polatuzumab vedotin in previously untreated DLBC: Lan Asia subpopulation analysis from the phase 3 POLARIX trial</p>	<p>Blood. 2023 Apr 20;141(16):1971-1981.</p>	Original Article
156	<p>Hagiwara T, Yotsuyanagi H, Fujii T, Endo T, Nagao A, Mita E, Yotsumoto M, Amano K, Ito T, Tokomatsu Y, Ukita M, Suzuki T, Watanabe T, Kinai E, Fukutake K</p>	血液内科	<p>Pan-Genotypic DAA Therapy for HCV Genotypes Not Covered by Health Insurance for Hemophilia Patients with or without HIV in Japan: Report of a Joint Multi Institutional Study of the Clinical Study Group for AIDS Drugs</p>	<p>The Journal of AIDS Research. 2024 Feb;26:7-13</p>	Original Article

157	<p>Onozawa M, Kusumoto S, Najima Y, Hashimoto H, Okada K, Tamaki M, Tanaka M, Sato T, Takahashi T, Hatano K, Onodera K, Moriuchi Y, Yakushijin K, Kanda J, Nagafuji K, Ogata M, Nakano N, Tamori A, Mizokami M.</p>	血液内科	<p>Outcomes of Cessation of Nucleos(t)ide Analog Administration on Hepatitis B Virus Reactivation after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Nationwide Retrospective Study</p>	<p>Transplant Cell Ther. 2024 Mar;30(3):330.e1-330.e8. doi: 10.1016/j.jct.2024.01.059. Epub 2024 Jan 17.</p>	Original Article
158	<p>Perl AE, Larson RA, Podoltsev NA, Strickland S, Wang ES, Atallah E, Schiller GJ, Martinelli G, Neubauer A, Sierra J, Montesinos P, Recher C, Yoon SS, Maeda Y, Hosono N, Onozawa M, Kato T, Kim HJ, Hasabou N, Nuthethi R, Tiu R, Levis MJ</p>	血液内科	<p>Outcomes in Patients with FLT3-Mutated Relapsed/Refractory Acute Myelogenous Leukemia Who Underwent Transplantation in the Phase 3 ADMIRAL Trial of Gilteritinib versus Salvage Chemotherapy</p>	<p>Transplant Cell Ther. 2023 Apr;29(4):265.e1-265.e10. doi: 10.1016/j.jct.2022.12.006. Epub 2022 Dec 13.</p>	Original Article
159	<p>Miyashita N, Onozawa M, Matsukawa T, Mori A, Hidaka D, Minauchi K, Shigematsu A, Hashiguchi J, Igarashi T, Kakinoki Y, Tsutsumi Y, Ibata M, Wakasa K, Fujimoto K, Ishihara T, Sakai H, Iyama S, Oyake T, Kondo T, Teshima T</p>	血液内科	<p>Novel stratification for newly diagnosed acute myeloid leukaemia treated with venetoclax-based therapy in the real world: Hokkaido Leukemia Net Study.</p>	<p>Br J Haematol.2024 Apr;204(4):1549-1553. doi: 10.1111/bjh.19292. Epub 2024 Jan 18</p>	Original Article

160	Teshima T, Boelens JJ, Matsuoka KI	血液内科	Novel insights into GVHD and immune reconstitution after allogeneic hematopoietic cell transplantation	Blood Cell Ther. 2023 Apr 21;6(2):42-48. doi: 10.31547/bct-2022-023. eCollection 2023 May 25.	Review
161	Miyajima T, Ohigashi H, Yaguchi H, Teshima T.	血液内科	Neurolymphomatosis in Intravascular Large B-cell Lymphoma	Intern Med. 2023 May 1;62(9):1381-1382. doi: 10.2169/internalmedicine.0021-22. Epub 2022 Oct 5.	Case report
162	Watanabe M, Kanda J, Fukuda T, Uchida N, Ikegame K, Kataoka K, Kobayashi H, Ara T, Ishikawa J, Matsuoka KI, Sugio Y, Nakazawa H, Ikeda T, Atsuta Y, Kondo E, Suzuki R	血液内科	Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy, Adult Lymphoma Working Group. Impact of GVHD on lymphoma progression: Nationwide study from Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy.	Br J Haematol. 2023 Nov;203(3):446-459. doi: 10.1111/bjh.19041. Epub 2023 Aug 23	Original Article

163	<p>Jo T, Arai Y, Oshima S, Kondo T, Harada K, Uchida N, Doki N, Fukuda T, Tanaka M, Ozawa Y, Kuriyama T, Ikegame K, Katayama Y, Ota S, Ara T, Kawakita T, Onizuka M, Ichinohe T, Atsuta Y, Yanada M</p>	血液内科	<p>Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy (JSTCT).Prognostic impact of complex and/or monosomal karyotypes in post-transplant poor cytogenetic acute myeloid leukaemia: A quantitative approach</p>	<p>Br J Haematol. 2023 Jul;202(2):356-368. doi: 10.1111/bjh.18855. Epub 2023 May 21.</p>	Original Article
164	<p>Otani M, Shiino T, Hachiya A, Gatanaga H, Watanabe D, Minami R, Nishizawa M, Teshima T, Yoshida S, Ito T, Hayashida T, Koga M, Nagashima M, Sadamasu K, Kondo M, Kato S, Uno S, Taniguchi T, Igari H, Samukawa S, Nakajima H, Yoshino Y, Horiba M, Moro H, Watanabe T, Imahashi M, Yokomaku Y, Mori H, Fujii T, Takada K, Nakamura A, Nakamura H, Tateyama M, Matsushita S, Yoshimura K, Sugiura W, Matano T, Kikuchi T</p>	血液内科	<p>Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network: Association of demographics, HCV co-infection, HIV-1 subtypes and genetic clustering with late HIV diagnosis: a retrospective analysis from the Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network</p>	<p>J Int AIDS Soc. 2023 May;26(5):e26086. doi: 10.1002/jia2.26086.</p>	Original Article

165	Chang YS, Gills JJ, Kawabata S, Onozawa M, Della Gatta G, Ferrando AA, Aplana PD, Dennis PA	血液内科	Inhibition of the NOTCH and mTOR pathways by nelfinavir as a novel treatment for T cell acute lymphoblastic leukemia	Int J Oncol. 2023 Nov;63(5):128. doi: 10.3892/ijo.2023.5576. Epub 2023 Oct 6.	Original Article
166	Vaswani PPM, Onozawa M, Hasegawa Y, Ohigashi H, Ara T, Matsukawa T, Yasumoto A, Shiratori S, Goto H, Nakagawa M, Kahata K, Endo T, Hashimoto D, Teshima T	血液内科	Incidence and course of Epstein-Barr virus viremia after allogeneic hematopoietic stem cell transplant for adult-onset systemic chronic active Epstein-Barr virus disease	Bone Marrow Transplant. 2023 Dec;58(12):1397-1399. doi: 10.1038/s41409-023-02103-3. Epub 2023 Sep 5	Original Article
167	Ohbiki M, Ito Y, Inamoto Y, Miyamura K, Uchida N, Fukuda T, Fujiwara H, Nishida T, Hayashi M, Tanaka M, Kawakita T, Ikegame K, Katayama Y, Ara T, Ichinohe T, Kiyoi H, Matsuo K, Atsuta Y	血液内科	Improved Long-Term Net Survival after Allogeneic Hematopoietic Cell Transplantation in Patients with Hematologic Malignancies over Two Decades.	Transplant Cell Ther. 2023 Dec;29(12):768.e1-768.e10. doi: 10.1016/j.jtct.2023.09.010. Epub 2023 Sep 21.	Original Article

168	Goudarzi H, Onozawa M, Takahashi M.	血液内科	Impact of the Covid-19 pandemic and ensuing online teaching on pre-clinical medical education.	BMC Med Educ. 2024 Jan 17;24(1):66. doi: 10.1186/s12909-023-04967-x.	Original Article
169	Fuji S, Hakoda A, Kanda J, Fukuda T, Doki N, Katayama Y, Uchida N, Ozawa Y, Kanda Y, Tanaka M, Kataoka K, Ara T, Sawa M, Onizuka M, Onishi Y, Kimura T, Ichinohe T, Atsuta Y, Shintani A, Morishima S	血液内科	Impact of HLA disparity on overall mortality risk in patients with extensive chronic GVHD: The HLA Working Group of Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy	Bone Marrow Transplant. 2023 Nov;58(11):1257-1259. doi: 10.1038/s41409-023-02076-3. Epub 2023 Aug 7.	Original Article
170	Okinaka K, Akeda Y, Inamoto Y, Fuji S, Ito A, Tanaka T, Kurosawa S, Kim SW, Tanosaki R, Yamashita T, Ohwada C, Kurata K, Mori T, Onozawa M, Takano K, Yokoyama H, Koh K, Nagafuji K, Nakayama K, Sakura T, Takahashi T, Oishi K, Fukuda T	血液内科	Immunogenicity of three versus four doses of 13-valent pneumococcal conjugate vaccine followed by 23-valent pneumococcal polysaccharide vaccine in allogeneic haematopoietic stem cell transplantation recipients: a multicentre, randomized controlled trial	Clin Microbiol Infect. 2023 Apr;29(4):482-489. doi: 10.1016/j.cmi.2022.12.007. Epub 2022 Dec 8.	Original Article

171	Toru Miyajima, Reiki Ogasawara, Shihori Tsukamoto, Takashi Ishio, Emi Yokoyama, Koh Izumiyama, Akio Mori, Makoto Saito, Masanobu Morioka, Takeshi Kondo	血液内科	hiotepa-based high-dose chemotherapy with autologous stem cell transplantation for neurolymphomatosis	Int J Hematol. 2023 Jul;118(1):141-145. doi: 10.1007/s12185-023-03544-8. Epub 2023 Jan 23.	Case report
172	Kimura H, Onozawa M, Hashiguchi J, Hidaka D, Kanaya M, Matsukawa T, Okada H, Kondo T, Matsuno Y, Teshima T	血液内科	Hereditary thrombocythemia due to splicing donor site mutation of THPO in a Japanese family	Ann Hematol. 2023 Nov 14. doi: 10.1007/s00277-023-05523-9. Online ahead of print.	Original Article
173	Tsutsumi Y, Ito S, Shiratori S, Teshima T	血液内科	Hepatitis C Virus (HCV)-Ribonucleic Acid (RNA) As a Biomarker for Lymphoid Malignancy with HCV Infection	Cancers (Basel). 2023 May 21;15(10):2852. doi: 10.3390/cancers15102852.	Original Article

174	Kimura H, Onozawa M, Teshima T.	血液内科	Genetic background of thrombocytosis in mice mimicking hereditary thrombocytosis in humans.	Platelets. 2023 Dec;34(1):2276697. doi: 10.1080/09537104.2023.2276697. Epub 2023 Nov 9.	Original Article
175	Nakano K, Sugawa S, Seimiya M, Murakami S, Yasuda K, Watanabe C, Goto H, Teshima T	血液内科	Frequencies of Anti-Troponin I vs Anti-Troponin T Autoantibodies and Degrees of Interference on Troponin Assays	Lab Med. 2023 May 2;54(3):317-323. doi: 10.1093/labmed/lmac120.	Original Article
176	Ramirez P, Atsuta Y, Alseraihy A, Okamoto S, Teshima T, Aljurf M, Majhail NS, Rondelli D, Chao N	血液内科	Flowers ME: American Society for Transplantation and Cellular Therapy International Affairs Committee: Report of the 4th Workshop on Quality as a Development Tool for Hematopoietic Cell Transplantation Programs at the 2023 Tandem BMT Meetings	Transplant Cell Ther. 2024 May;30(5):468-474. doi: 10.1016/j.jtct.2024.02.011. Epub 2024 Feb 10	Original Article

177	Munekata Y, Yamamoto S, Kato S, Kitagawa Y, Enda K, Okazaki N, Tanikawa S, Tanei ZI, Ikebe Y, Osawa T, Takamiya S, Ujiie H, Onozawa M, Hirano S, Fujimura M, Tanaka S	血液内科	Fatal case of subdural empyema caused by <i>Campylobacter</i> <i>rectus</i> and <i>Slackia exigua</i>	Autops Case Rep. 2023 May 24;13:e2023433. doi: 10.4322/acr.2023.433. eCollection 2023.	Case report
178	Yanada M, Shimomura Y, Mizuno S, Matsuda K, Kondo T, Doki N, Tanaka M, Fukuda T, Ara T, Uchida N, Onizuka M, Sawa M, Ozawa Y, Hiramoto N, Ota S, Kanda J, Kanda Y, Ichinohe T, Okamoto S, Atsuta Y, Konuma T	血液内科	External validation and extended application of the transplant conditioning intensity score in acute myeloid leukemia	Bone Marrow Transplant. 2023 Oct;58(10):1096- 1103. doi: 10.1038/s41409-023- 02037-w. Epub 2023 Jul 13	Original Article
179	Goto H, Sugita J, Hasegawa Y, Hayasaka K, Sunagoya K, Hatase R, Nishida M, Ichihashi Y, Odera M, Senjo H, Yokoyama S, Ara T, Shiratori S, Endo T, Hino M, Maeda Y, Sawa M, Sato N, Teshima T	血液内科	Efficacy and Safety of Single- dose Pegfilgrastim for CD34+ Cell Mobilization in Healthy Volunteers: A Phase 2 Study.	Transplantation. 2024 Apr 1;108(4):996-1003. doi: 10.1097/TP.000000000000 04880. Epub 2024 Mar 23.	Original Article

180	Shimomura Y, Kitamura T, Nishikubo M, Sobue T, Uchida N, Doki N, Tanaka M, Ito A, Ishikawa J, Ara T, Ota S, Onizuka M, Sawa M, Ozawa Y, Maruyama Y, Ikegane K, Kanda Y, Ichinohe T, Fukuda T, Okamoto S, Teshima T, Atsuta Y	血液内科	Effect of the COVID-19 pandemic on allogeneic stem cell transplantation in Japan	Int J Hematol.2023 Apr;117(4):590-597. doi: 10.1007/s12185-022-03508-4. Epub 2022 Dec 14.	Original Article
181	Konuma T, Matsuda K, Shimomura Y, Tanoue S, Sugita J, Inamoto Y, Hirayama M, Ara T, Nakamae H, Ota S, Maruyama Y, Eto T, Uchida N, Tanaka M, Ishiwata K, Koi S, Takahashi S, Ozawa Y, Onizuka M, Kanda Y, Kimura T, Ichinohe T, Atsuta Y, Kanda J, Yanada M	血液内科	Effect of Graft-versus-Host Disease on Post-Transplantation Outcomes following Single Cord Blood Transplantation Compared with Haploidentical Transplantation with Post-Transplantation Cyclophosphamide for Adult Acute Myeloid Leukemia	Transplant Cell Ther. 2023 Jun;29(6):365.e1-365.e11. doi: 10.1016/j.jtct.2023.03.001. Epub 2023 Mar 6.	Original Article
182	Kimura H, Onozawa M, Yoshida S, Miyashita N, Yokoyama S, Matsukawa T, Hirabayashi S, Goto H, Endo T, Oguri S, Fujisawa S, Mori A, Kondo T, Hidaka D, Okada K, Ota S, Kakinoki Y, Tsutsumi Y, Yamamoto S, Miyagishima T, Hashiguchi J, Nagashima T, Ibata M, Wakasa K, Haseyama Y, Fujimoto K, Ishihara T, Sakai H, Teshima T	血液内科	Dominant-negative type of IKZF1 deletion showed a favorable prognosis in adult B-cell acute lymphoblastic leukemia.	Ann Hematol. 2023 Nov;102(11):3103-3113. doi: 10.1007/s00277-023-05405-0. Epub 2023 Aug 19.	Original Article

183	Grupp SA, Corbacioglu S, Kang HJ, Teshima T, Khaw SL, Locatelli F, Maertens J, Stelljes M, Stepensky P, Lopez P, Amber V, Pagliuca A, Richardson PG, Mohty M	血液内科	Defibrotide plus best standard of care compared with best standard of care alone for the prevention of sinusoidal obstruction syndrome (HARMONY): a randomised, multicentre, phase 3 trial	Lancet Haematol. 2023 May;10(5):e333-e345. doi: 10.1016/S2352-3026(23)00011-X. Epub 2023 Mar 28.	Original Article
184	Tsutsumi Y, Ito S, Horikita F, Moriki A, Teshima T	血液内科	COVID-19 antibody production by vaccination in chemotherapy with CD20 antibody for B-cell lymphoma	Mol Clin Oncol. 2023 Oct 18;19(6):96. doi: 10.3892/mco.2023.2692. eCollection 2023 Dec.	Original Article
185	Miyajima T, Onozawa M, Yoshida S, Miyashita N, Kimura H, Takahashi S, Yokoyama S, Matsukawa T, Goto H, Sugita J, Fujisawa S, Hidaka D, Ogasawara R, Mori A, Matsuoka S, Shigematsu A, Wakasa K, Kasahara I, Saga T, Hashiguchi J, Takeda Y, Ibata M, Yutaka T, Fujimoto K, Kondo T, Teshima T	血液内科	Clinical implications of NUP98::NSD1 fusion at diagnosis in adult FLT3-ITD positive AML	Eur J Haematol. 2023 Oct;111(4):620-627. doi: 10.1111/ejh.14055. Epub 2023 Jul 19.	Original Article

186	Yoshida S, Onozawa M, Miyashita N, Kimura H, Takahashi S, Yokoyama S, Matsukawa T, Hirabayashi S, Mori A, Hidaka D, Minauchi K, Shigematsu A, Hashiguchi J, Igarashi T, Kakinoki Y, Tsutsumi Y, Ibata M, Kobayashi H, Haseyama Y, Fujimoto K, Ishihara T, Sakai H, Ota S, Kondo T, Teshima T	血液内科	Clinical features of complex karyotype in newly diagnosed acute myeloid leukemia.	Int J Hematol.2023 Apr;117(4):544-552. doi: 10.1007/s12185-022-03522-6. Epub 2022 Dec 26	Original Article
187	Buxbaum NP, Socié G, Hill GR, MacDonald KP, Tkachev V, Teshima T, Lee SJ, Ritz J, Sarantopoulos S, Luznik L, Zeng D, Paczesny S, Martin PJ, Pavletic SZ, Schultz KR, Blazar BR	血液内科	Chronic GvHD NIH Consensus Project Biology Task Force: Evolving path to personalized treatment of chronic GvHD	Blood Adv. 2023 Sep 12;7(17):4886-4902. doi: 10.1182/bloodadvances.2022007611.	Original Article
188	Senjo H, Harada S, Kubota SI, Tanaka Y, Tateno T, Zhang Z, Okada S, Chen X, Kikuchi R, Miyashita N, Onozawa M, Goto H, Endo T, Hasegawa Y, Ohigashi H, Ara T, Hasegawa Y, Murakami M, Teshima T(equally contributing senior author), Hashimoto D	血液内科	Calcineurin inhibitor inhibits tolerance induction by suppressing terminal exhaustion of donor T cells after allo-HCT	Blood. 2023 Aug 3;142(5):477-492. doi: 10.1182/blood.2023019875.	Original Article

189	Mori A, Onozawa M, Kobayashi M, Tsukamoto S, Senjo H, Ishio T, Yokoyama E, Kanaya M, Izumiyama K, Saito M, Muraki H, Morioka M, Teshima T, Kondo T	血液内科	Booster effect of a third mRNA-based COVID-19 vaccine dose in patients with myeloid malignancies	Cancer Med. 2023 Aug;12(16):16881-16888. doi: 10.1002/cam4.6314. Epub 2023 Jul 6.	Original Article
190	Akahoshi Y, Nakasone H, Takenaka K, Yamasaki S, Nakamura M, Doki N, Tanaka M, Ozawa Y, Uchida N, Ara T, Nakamae H, Ota S, Onizuka M, Yano S, Tanaka J, Fukuda T, Kanda Y, Atsuta Y, Kako S, Yanada M	血液内科	Arai Y. CMV reactivation after allogeneic HCT is associated with a reduced risk of relapse in acute lymphoblastic leukemia	Blood Adv. 2023 Jun 27;7(12):2699-2708. doi: 10.1182/bloodadvances.2022009376	Original Article
191	Itonaga H, Miyazaki Y, Aoki K, Shingai N, Ozawa Y, Fukuda T, Kataoka K, Kawakita T, Ueda Y, Ara T, Tanaka M, Katayama Y, Sawa M, Eto T, Kanda J, Atsuta Y, Ishiyama K	血液内科	Allogeneic transplantation of bone marrow versus peripheral blood stem cells from HLA-identical relatives in patients with myelodysplastic syndromes and oligoblastic acute myeloid leukemia: a propensity score analysis of a nationwide database	Ann Hematol. 2023 May;102(5):1215-1227. doi: 10.1007/s00277-023-05167-9. Epub 2023 Mar 15.	Original Article

192	Ishida H, Shimada H, Tanizawa A, Shimazu Y, Tachibana T, Doki N, Ara T, Matsuo Y, Nara M, Toubai T, Ino K, Nakamae H, Kato K, Kato K, Sato A, Hino M, Matsumoto K, Atsuta Y, Yasui M, Nagamura-Inoue T	血液内科	Allogeneic stem cell transplantation for children and adolescents/young adults with de novo blastic phase chronic myeloid leukemia in the tyrosine kinase inhibitor era	Am J Hematol. 2023 Aug;98(8):E200–E203. doi: 10.1002/ajh.26959. Epub 2023 May 12.	Original Article
193	Jo T, Arai Y, Kanda J, Kondo T, Ikegame K, Uchida N, Doki N, Fukuda T, Ozawa Y, Tanaka M, Ara T, Kuriyama T, Katayama Y, Kawakita T, Kanda Y, Onizuka M, Ichinohe T, Atsuta Y, Terakura S	血液内科	A convolutional neural network-based model that predicts acute graft-versus-host disease after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Commun Med (Lond). 2023 May 16;3(1):67. doi: 10.1038/s43856-023-00299-5.	Original Article
194	Iwai T, Nishida M, Kudo Y, Omotehara S, Kato K, Takakuwa E, Shimizu A, Kato F, Hosoda M, Takahashi M, Teshima T	血液内科	A case of breast angiosarcoma clearly delineated by contrast-enhanced ultrasonography	J Clin Ultrasound. 2023 Jul-Aug;51(6):1048–1050. doi: 10.1002/jcu.23460. Epub 2023 Apr 6	Case report

195	Kikuchi R, Onozawa M, Nagai J, Okada S, Hasegawa Y, Ohigashi H, Mitamura S, Maeda T, Takakuwa E, Fujieda Y, Goto H, Hashimoto D, Matsuno Y, Teshima T	血液内科	Type 1 Cryoglobulinemic Vasculitis Due to Monoclonal Gammopathy of Undetermined Significance Successfully Treated by Bortezomib Plus Dexamethasone	Intern Med. 2024 Feb 15;63(4):541-545. doi: 10.2169/internalmedicine.2053-23. Epub 2023 Jun 14	Case Reports
196	Miyashita N, Onozawa M, Yoshida S, Kimura H, Takahashi S, Yokoyama S, Matsukawa T, Hirabayashi S, Fujisawa S, Mori A, Ota S, Kakinoki Y, Tsutsumi Y, Yamamoto S, Miyagishima T, Nagashima T, Ibata M, Wakasa K, Haseyama Y, Fujimoto K, Ishihara T, Sakai H, Kondo T, Teshima T	血液内科	Prognostic impact of FLT3-ITD, NPM1 mutation and CEBPA bZIP domain mutation in cytogenetically normal acute myeloid leukemia: a Hokkaido Leukemia Net study.	Int J Hematol. 2023 Jul;118(1):36-46. doi: 10.1007/s12185-023-03567-1. Epub 2023 Feb 28.	Original Article
197	Minakata D, Uchida T, Nakano A, Takase K, Tsukada N, Kosugi H, Kawata E, Nakane T, Takahashi H, Endo T, Nishiwaki S, Fujiwara H, Saito MA, Saito IT, Akashi K, Matsumura I, Mitani K	血液内科	Characteristics and prognosis of patients with COVID-19 and hematological diseases in Japan: a cross-sectional study	Int J Hematol. 2024 Feb;119(2):183-195.	Original Article

198	Yamaguchi S, Fujita T, Kato S, Yoshimitsu Y, Ito YM, Yano R.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Utility of salivary cortisol profile as a predictive biomarker in nurses' turnover risk: a preliminary study.	J Physiol Anthropol. 2024 Jan 2;43(1):1. doi: 10.1186/s40101-023-00349-w.	Original Article
199	Sato O, Tsuchikawa T, Kato T, Amaishi Y, Okamoto S, Mineno J, Takeuchi Y, Sasaki K, Nakamura T, Umemoto K, Suzuki T, Wang L, Wang Y, Hatanaka KC, Mitsuhashi T, Hatanaka Y, Shiku H, Hirano S.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Tumor Growth Suppression of Pancreatic Cancer Orthotopic Xenograft Model by CEA-Targeting CAR-T Cells.	Cancers. 2023 Jan 18;15(3):601. doi: 10.3390/cancers15030601.	Original Article
200	China Atsumi, Katsuhiro Aikawa, Keita Takahashi, Kazufumi Okada, Yuji Morimoto	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	The comparison of postoperative analgesic requirements between modified thoracoabdominal nerve block through perichondrial approach versus wound infiltration analgesia in patients undergoing gynecological laparoscopic surgery: a retrospective, exploratory study	JA Clinical Reports. 2023 Jun 24;9(1):39. doi: 10.1186/s40981-023-00632-w.	Original Article

201	Yuma Ebihara, Satoshi Hirano, Yo Kurashima, Hironobu Takano, Kunishige Okamura, Soichi Murakami, Toshiaki Shichinohe, Hajime Morohashi, Eiji Oki, Kenichi Hakamada	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Tele-robotic distal gastrectomy with lymph node dissection on a cadaver.	Asian Journal of Endoscopic Surgery. 2024 Jan;17(1):e13246. doi: 10.1111/ases.13246. Epub 2023 Sep 19.	Original Article
202	Tsushima N, Kano S, Hatanaka KC, Suzuki T, Hamada S, Idogawa H, Nakamaru Y, Suzuki M, Hatanaka Y, Homma A.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Targeted next-generation sequencing of Japanese patients with sinonasal mucosal melanomas identifies frequent NRAS and CTNNB1 mutations.	Auris Nasus Larynx. 2024 Apr;51(2):313-319. doi: 10.1016/j.anl.2023.10.002. Epub 2023 Nov 10.	Original Article
203	Sasaki Y, Ishikawa K, Hatanaka KC, Oyamada Y, Sakuhara Y, Shimizu T, Saito T, Murao N, Onodera T, Miura T, Maeda T, Funayama E, Hatanaka Y, Yamamoto Y, Sasaki S	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Targeted next-generation sequencing for detection of PIK3CA mutations in archival tissues from patients with Klippel-Trenaunay syndrome in an Asian population	Orphanet J Rare Dis. 2023 Sep 4;18(1):270. doi: 10.1186/s13023-023-02893-1.	Original article

204	Inao T, Okada K, Yang Y, Yokota I.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Simulation studies on the estimation of sensitivity and specificity in the absence of a gold standard and with rare positive frequencies.	Commun Stat Simul Comput./Received 20 Dec 2021, Accepted 21 Feb 2023, Published online: 04 Apr 2023	Research Article
205	Nakakubo S*, Unoki Y*, Kitajima K, Terada M, Gatanaga H, Ohmagari N, Yokota I, Konno S. (*co-first author)	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Serum lactate dehydrogenase level one week after admission Is the strongest predictor of prognosis of COVID-19: a large observational study using the COVID-19 registry Japan.	Viruses. 2023 Mar 2;15(3):671. doi: 10.3390/v15030671.	Original Article
206	Goto H, Kitawaki T, Fujii N, Kato K, Onishi Y, Fukuhara N, Yamauchi T, Toratani K, Kobayashi H, Yoshida S, Shimo M, Onodera K, Senjo H, Onozawa M, Hirata K, Yokota I, Teshima T.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Safety and efficacy of tisagenlecleucel in patients with relapsed or refractory B-cell lymphoma: the first real-world evidence in Japan.	Int J Clin Oncol. 2023 Jun;28(6):816-826. doi: 10.1007/s10147-023-02334-w. Epub 2023 Apr 18.	Original Article

207	<p>Satoshi Yuki, Kentaro Yamazaki, Yu Sunakawa, Hiroya Taniguchi, Hideaki Bando, Manabu Shiozawa, Tomohiro Nishina, Hisateru Yasui, Yoshinori Kagawa, Naoki Takahashi, Tadamichi Denda, Taito Esaki, Hisato Kawakami, Hironaga Satake, Atsuo Takashima, Nobuhisa Matsuhashi, Takeshi Kato, Chiharu Asano, Yukiko Abe, Shogo Nomura, Takayuki Yoshino</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Role of plasma angiogenesis factors in the efficacy of first-line chemotherapy combined with biologics in RAS wild-type metastatic colorectal cancer: Results from the GI-SCREEN CRC-Ukit study</p>	<p>Cancer Medicine. 2023 Sep;12(18):18702-18716. doi: 10.1002/cam4.6486. Epub 2023 Aug 28.</p>	<p>Others</p>
208	<p>Miyakoshi T, Ishikawa S, Okubo R, Hashimoto N, Sato N, Kusumi I, Ito YM.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Risk factors for abnormal glucose metabolism during antipsychotic treatment: A prospective cohort study.</p>	<p>J Psychiatr Res. 2023 Dec;168:149-156. doi: 10.1016/j.jpsychires.2023.10.055. Epub 2023 Oct 27.</p>	<p>Others</p>
209	<p>Kubo M, Ono S, Yokota I, Matsumoto S, Nishimura Y, Ono M, Yamamoto K, Sakamoto N.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Quantitative diagnostic algorithm using endocytoscopy for superficial nonampullary duodenal epithelial tumors.</p>	<p>J Gastroenterol Hepatol. 2023 Sep;38(9):1496-1502. doi: 10.1111/jgh.16207. Epub 2023 May 2.</p>	<p>Original Article</p>

210	<p>Takashi Mori, Masashi Mizumoto, Katsuya Maebayashi, Kentaro Nishioka, Yoshiki Arakawa, Kazuhiko Kurozumi, Koichi Yasuda, Taisuke Sumiya, Hiroyasu Tamamura, Yoshitaka Sato, Takahiro Waki, Masaru Takagi, Yu Takada, Tomoaki Okimoto, Masao Murakami, Yasuhiro Kikuchi, Kazufumi Okada, Yoichi M Ito, Tetsuo Akimoto, Hidefumi Aoyama</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Proton beam therapy for gliomas: a multicenter prospective registry study from all proton beam facilities in Japan</p>	<p>Journal of Radiation Research.2023 Jun; 64(Suppl 1): i59-i68.</p>	<p>Original Article</p>
211	<p>Tomioka N, Hatanaka KC, Okuyama D, Watanabe KI, Yamamoto M, Maeda H, Tachikawa H, Kuwahara S, Shimizu A, Suzuki H, Hatanaka Y, Takahashi M.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Programmed death ligand 1-positive immune cells in primary tumor or metastatic axillary lymph nodes can predict prognosis of triple-negative breast cancer even when present at <1% in the tumor region.</p>	<p>Breast Cancer. 2023 May;30(3):497-505. doi: 10.1007/s12282-023-01442-9. Epub 2023 Mar 9.</p>	<p>Others</p>

212	Tadashi Yoshida, Shigenori Homma, Nobuki Ichikawa, Yosuke Ohno, Yoichi Miyaoka, Hiroki Matsui, Ken Imaizumi, Hiroyuki Ishizu, Tohru Funakoshi, Masahiko Koike, Hirofumi Kon, Yo Kamiizumi, Yasuhiro Tani, Yoichi Minagawa Ito, Kazufumi Okada, Akinobu Taketomi	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Preoperative mechanical bowel preparation using conventional versus hyperosmolar polyethylene glycol-electrolyte lavage solution before laparoscopic resection for colorectal cancer (TLUMP test): a phase III, multicenter randomized controlled non- inferiority trial	Journal of Gastroenterology. 2023 Sep;58(9):883-893. doi: 10.1007/s00535-023- 02019-1. Epub 2023 Jul 18.	Original Article
213	Goudarzi H, Ikeda- Araki A, Bamai YA, Ito S, Inao T, Yokota I, Miyashita C, Kishi R, Konno S.	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Potential determinants of T helper 2 markers and their distribution in school-aged children.	Allergol Int. 2023 Jan;72(1):100-106. doi: 10.1016/j.alit.2022.07.00 9. Epub 2022 Aug 30.	Original Article
214	Goto R, Fukasaku Y, Ganchiku Y, Kawamura N, Watanabe M, Ota T, Hatanaka KC, Suzuki T, Shimamura T, Taketomi A	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Post-transplant donor-specific anti-HLA antibodies with a higher mean fluorescence intensity are associated with graft fibrosis in pediatric living donor liver transplantation	Front Pediatr. 2023 Apr 25;11:1172516. doi: 10.3389/fped.2023.11725 16. eCollection 2023.	Original Article

215	Sugita J, Kuroha T, Ishikawa J, Eto T, Fukushima K, Yokota I, Akashi K, Taniguchi S, Harada M, Teshima T.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Posttransplant cyclophosphamide in unrelated and related peripheral blood stem cell transplantation from HLA-matched and 1 allele mismatched donor.	Bone Marrow Transplant.2024 Mar;59(3):344-349. doi: 10.1038/s41409-023-02162-6. Epub 2023 Dec 19.	Original Article
216	Yoshida Y, Nakanishi Y, Mitsuhashi T, Yamamoto H, Hayashi MO, Oba M, Nitta T, Ueno T, Yamada T, Ono M, Kuwabara S, Hatanaka Y, Hirano S.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Postoperative Prognosis According to Pathologic Categorization of Desmoplastic Reaction in Patients with Extrahepatic Cholangiocarcinoma.	Ann Surg Oncol. 2023 Nov;30(12):7348-7357. doi: 10.1245/s10434-023-13867-9. Epub 2023 Aug 1.	Original Article
217	Ohhara Y, Tomaru U, Kinoshita I, Hatanaka KC, Noguchi T, Hatanaka Y, Amono T, Matsuno Y, Dosaka-Akita H	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Polymorphisms of the PD-L1 gene 3'-untranslated region are associated with the expression of PD-L1 in non-small cell lung cancer.	Genes Chromosomes Cancer. 2024 Jan;63(1):e23216. doi: 10.1002/gcc.23216.	Review

218	<p>Satoshi Yuki, Kentaro Yamazaki, Yu Sunakawa, Hiroya Taniguchi, Hideaki Bando, Manabu Shiozawa, Tomohiro Nishina, Hisateru Yasui, Akiyoshi Kanazawa, Koji Ando, Yosuke Horita, Masahiro Goto, Naohiro Okano, Toshikazu Moriwaki, Taroh Satoh, Akihito Tsuji, Kaname Yamashita, Chiharu Asano, Yukiko Abe, Shogo Nomura, Takayuki Yoshino</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Plasma Angiogenic Factors as Predictors of the Efficacy of Second-line Chemotherapy Combined with Angiogenesis Inhibitors in Metastatic Colorectal Cancer: Results From the GI-SCREEN CRC-Ukit Study</p>	<p>Clinical Colorectal Cancer. 2024 Jun;23(2):147-159.e7. doi: 10.1016/j.clcc.2024.01.003. Epub 2024 Jan 18.</p>	<p>Others</p>
219	<p>Okita K, Omokawa M, Takada S, Kadoguchi T, Morita N, Yokota T</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Muscular stress is equal when resistance exercise with blood flow restriction is matched in total work volume: A cross-sectional, cross-over study</p>	<p>Acta Physiologica. 2024 Mar;240(3):e14097. doi: 10.1111/apha.14097. Epub 2024 Jan 17.</p>	<p>Original Article</p>

220	<p>Ryo Morita, MD, PhD, Takayuki Nonoyama, PhD, Daisuke Abo, MD, PhD, Takeshi Soyama, MD, PhD, Noriyuki Fujima, MD, PhD, Tetsuaki Imai, MD, PhD, Hiroyuki Hamaguchi, RT, Takuto Kameda, RT, Osamu Sugita, PhD, Bunya Takahashi, MD, Naoya Kinota, MD, and Kohsuke Kudo, MD, PhD</p>	<p>医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構</p>	<p>Mechanical Properties of a 3 Dimensional-Printed Transparent Flexible Resin Used for Vascular Model Simulation Compared with Those of Porcine Arteries</p>	<p>J Vasc Interv Radiol. 2023 May;34(5):871-878.e3. doi: 10.1016/j.jvir.2023.01.00 8. Epub 2023 Jan 14.</p>	<p>Others</p>
221	<p>Ryoichi Goto, Norio Kawamura, Masaaki Watanabe, Yoshikazu Ganchiku, Akihisa Nagatsu, Kazufumi Okada, Yoichi M Ito, Toshiya Kamiyama, Tsuyoshi Shimamura, Akinobu Taketomi</p>	<p>医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構</p>	<p>Long-term risk of a fatty liver in liver donors</p>	<p>Annals of Gastroenterological Surgery. 2023 Feb 2;7(4):645-653. doi: 10.1002/ags3.12658. eCollection 2023 Jul.</p>	<p>Original Article</p>
222	<p>Miya A, Nakamura A, Suzuki Y, Nomoto H, Kameda H, Cho KY, Ito YM, Nagai S, Miyoshi H, Atsumi T.</p>	<p>医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構</p>	<p>Inverse association between glucose variability and body fat in type 2 diabetes with impaired endogenous insulin secretion assessed using continuous glucose monitoring: A prospective observational study.</p>	<p>Diabetes Obes Metab. 2023 Jul;25(7):1883- 1889. doi: 10.1111/dom.15049. Epub 2023 Mar 31.</p>	<p>Others</p>

223	<p>Kawabori M, Kuroda S, Shichinohe H, Kahata K, Shiratori S, Ikeda S, Harada T, Hirata K, Tha KK, Aragaki M, Terasaka S, Ito YM, Nishimoto N, Ohnishi S, Yabe I, Kudo K, Houkin K, Fujimura M.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Intracerebral transplantation of MRI-trackable autologous bone marrow stromal cells for patients with subacute ischemic stroke.</p>	<p>Med.2024 May 10;5(5):432-444.e4. doi: 10.1016/j.medj.2024.02.009. Epub 2024 Mar 27.</p>	<p>Original Article</p>
224	<p>Nakamura T, Okada KI, Ohtsuka M, Higuchi R, Takahashi H, Nagai K, Unno M, Murakami Y, Oba A, Tomikawa M, Kato A, Horiguchi A, Nakamura M, Yagi S, Sato S, Endo I, Amano R, Matsumoto I, Ito YM, Nagakawa T, Hirano S.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Insights from managing clinical issues in distal pancreatectomy with en bloc coeliac axis resection: experiences from 626 patients.</p>	<p>Br J Surg. 2023 Sep 6;110(10):1387-1394. doi: 10.1093/bjs/znad212.</p>	<p>Others</p>

225	Natsui H, Watanabe M, Yokota T, Tsuneta S, Fumoto Y, Handa H, Shouji M, Koya J, Nishino K, Tatsuta D, Koizumi T, Kadosaka T, Nakao M, Koya T, Temma T, Ito YM, Kanako HC, Hatanaka Y, Yasushige S, Wakasa S, Miura S, Masuda T, Nishioka N, Naraoka S, Ochi K, Kudo T, Ishikawa T, Anzai T	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Influence of epicardial adipose tissue inflammation and adipocyte size on postoperative atrial fibrillation in patients after cardiovascular surgery	Physiological Reports. 2024 Mar;12(6):e15957. doi: 10.14814/phy2.15957.	Original Article
226	Saki Yokoshiki and Teruyo Arato	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Implementation status of pharmacological studies in the development of orphan drugs	Orphanet Journal of Rare Diseases. 2024 Jan 2;19(1):5. doi: 10.1186/s13023-023-03000-0.	Original Article
227	Hatanaka KC, Nakamura K, Katoh R, Ito K, Hirokawa M, Miyauchi A, Matsuno Y, Kano S, Okada Y, Mori J, Ito YM, Hatanaka Y.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Impact of the quality of resected thyroid cancer tissue sample on next-generation sequencing testing.	Pathol Int. 2024 Feb;74(2):77-86. doi: 10.1111/pin.13399. Epub 2024 Jan 16.	Original Article

228	<p>Yamamoto H, Nakanishi Y, Mitsuhashi T, Hatanaka Y, Hatanaka K, Nange A, Yoshida Y, Ino N, Go M, Okamura K, Tsuchikawa T, Nakamura T, Noji T, Asano T, Matsui A, Tanaka K, Murakami S, Ebihara Y, Kurashima Y, Shichinohe T, Hirano S</p>	<p>医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構</p>	<p>Impact of Neutrophil Extracellular Traps Identified by Citrullinated Histone H3 Immunohistochemistry for Postoperative Prognosis in Patients with Extrahepatic Cholangiocarcinomas</p>	<p>Ann Surg Oncol. 2024 Mar;31(3):2090-2100. doi: 10.1245/s10434- 023-14638-2. Epub 2023 Dec 5.</p>	<p>Original Article</p>
229	<p>Nakamura J, Tsujino I, Shima H, Nakaya T, Sugimoto A, Sato T, Watanabe T, Ohira H, Suzuki M, Yokota I, Konno S.</p>	<p>医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構</p>	<p>Impact of cancer on the prevalence, management, and outcome of patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.</p>	<p>J Thromb Thrombolysis. 2023 Nov;56(4):588-593. doi: 10.1007/s11239- 023-02868-w. Epub 2023 Aug 24.</p>	<p>Original Article</p>
230	<p>Takahashi M, Tsuchikawa T, Hiwasa T, Nakamura T, Hontani K, Kushibiki T, Inoko K, Takano H, Hatanaka Y, Matsushita K, Matsubara H, Hoshino T, Ohtsuka M, Shimada H, Tanaka K, Nakanishi Y, Asano T, Noji T, Okamura K, Shichinohe T, Hirano S.</p>	<p>医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構</p>	<p>Identification of antibody against wingless-type MMTV integration site family member 7B as a biliary cancer tumor marker.</p>	<p>Oncol Rep. 2023 Feb;49(2):34. doi: 10.3892/or.2022.8471. Epub 2022 Dec 23.</p>	<p>Original Article</p>

231	<p>Murakami K, Kubota SI, Tanaka K, Tanaka H, Akabane K, Suzuki R, Shinohara Y, Takei H, Hashimoto S, Tanaka Y, Hojyo S, Sakamoto O, Naono N, Takaai T, Sato K, Kojima Y, Harada T, Hattori T, Fuke S, Yokota I, Konno S, Washio T, Fukuhara T, Teshima T, Taniguchi M, Murakami M.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>High-precision rapid testing of omicron SARS-CoV-2 variants in clinical samples using AI-nanopore.</p>	<p>Lab Chip. 2023 Nov 7;23(22):4909-4918. doi: 10.1039/d3lc00572k.</p>	<p>Others</p>
232	<p>Kanta Hori, Takashige Abe, Noriyuki Abe, Junya Abe, Kazufumi Okada, Keita Takahashi, Shigeru Harada, Jun Furumido, Sachiyo Murai, Masafumi Kon, Kohei Hashimoto, Naoya Masumori, Hidehiro Kakizaki, Nobuo Shinohara</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Gap analysis between trainees' subjective competencies and the competencies expected by instructors in urology: A need assessment survey in Japan</p>	<p>International Journal of Urology. 2024 Jun;31(6):653-661. doi: 10.1111/iju.15430. Epub 2024 Feb 17.</p>	<p>Original Article</p>

233	Kagami K, Oyamada R, Watanabe T, Nakakubo S, Hayashi T, Iwasaki S, Fukumoto T, Usami T, Hayasaka K, Fujisawa S, Watanabe C, Nishida M, Teshima T, Niinuma Y, Yokota I, Takekuma Y, Sugawara M, Ishiguro N.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Factors associated with household transmission of SARS-CoV-2 omicron variant to health care workers: A retrospective cohort study.	Int J Nurs Pract. 2023 Oct;29(5):e13195. doi: 10.1111/ijn.13195. Epub 2023 Aug 24.	Original Article
234	Toki T, Fujita N, Ichikawa T, Ochi N, Yokota I, Sudo H, Morimoto Y.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Factors affecting transcranial motor-evoked potential measurements using single-train stimulation with an increased number of pulses during adolescent scoliosis surgery: a prospective observational study.	J Clin Med. 2023 Jun 30;12(13):4433. doi: 10.3390/jcm12134433.	Original Article
235	Sawada A, Ohira M, Hatanaka KC, Matsui H, Ichikawa N, Yoshida T, Fukai M, Matsuno Y, Homma S, Hatanaka Y, Taketomi A.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Expression Analysis of Early Metastatic Seeding of Colorectal Cancer	Ann Surg Oncol. 2024 Mar;31(3):2101-2113. doi: 10.1245/s10434-023-14714-7. Epub 2023 Dec 8.	Original Article

236	Takeuchi Y, Wang Y, Sasaki K, Sato O, Tsuchikawa T, Wang L, Amaishi Y, Okamoto S, Mineno J, Hirokawa Y, Hatanaka KC, Hatanaka Y, Kato T, Shiku H, Hirano S	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Exhaustion, rather than lack of infiltration and persistence, of CAR-T cells hampers the efficacy of CAR-T therapy in an orthotopic PDAC xenograft model	Biomed Pharmacother. 2024 Jan;170:116052. doi: 10.1016/j.biopha.2023.116052. Epub 2023 Dec 22.	Original Article
237	Yamashita H, Hatanaka KC, Yamagishi K, Saito Y, Hamasaki K, Taniguchi M, Okumura A, Nange A, Matsuno Y, Hatanaka Y.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Evaluation of 95-Gene Classifier of Formalin-fixed Paraffin-embedded Tissues in ER-positive, HER2-negative, and Node-negative Breast Cancer.	Anticancer Res. 2023 Feb;43(2):707-711. doi: 10.21873/anticancerres.16209.	Original Article
238	Shirakawa R, Nakajima T, Yoshimura A, Kawahara Y, Orito C, Yamane M, Handa H, Takada S, Furihata T, Fukushima A, Ishimori N, Nakagawa M, Yokota I, Sabe H, Hashino S, Kinugawa S, Yokota T.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Enhanced mitochondrial oxidative metabolism in peripheral blood mononuclear cells is associated with fatty liver in obese young adults.	Sci Rep. 2023 Mar 30;13(1):5203. doi: 10.1038/s41598-023-32549-w.	Original Article

239	<p>Onodera K, Yokota I, Matsumura Y, Hayasaka K, Shiono S, Abe J, Notsuda H, Sakurada A, Suzuki H, Okada Y.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Efficacy of platinum-based adjuvant chemotherapy for epidermal growth factor receptor-mutant lung adenocarcinoma.</p>	<p>J Thorac Dis. 2023 Dec 30;15(12):6534-6543. doi: 10.21037/jtd-23-1323. Epub 2023 Dec 4.</p>	<p>Original Article</p>
240	<p>Minami K, Osawa T, Kojima T, Hara T, Eto M, Takeuchi A, Nakai Y, Ueda K, Ozawa M, Uemura M, Ohba K, Tamura K, Shindo T, Nakagomi H, Takahashi A, Anai S, Yokomizo A, Morizane S, Kimura T, Shimazui T, Miyauchi Y, Mitsuzuka K, Hara H, Yoshimura K, Shiina H, Ito YM, Murai S, Nishiyama H, Shinohara N, Kitamura H; Japanese Urological Oncology Group.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Efficacy and safety of axitinib for metastatic renal cell carcinoma: Real-world data on patients with renal impairment.</p>	<p>Urol Oncol. 2023 Nov;41(11):458.e9-458.e19. doi: 10.1016/j.urolonc.2023.08.008. Epub 2023 Oct 3.</p>	<p>Others</p>

241	Kubo Y, Kubo T, Toki T, Yokota I, Morimoto Y.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Effects of ephedrine and phenylephrine on cerebral oxygenation: observational prospective study using near-infrared time-resolved spectroscopy.	J Clin Monit Comput. 2023 Oct;37(5):1171-1177. doi: 10.1007/s10877-023-01036-y. Epub 2023 May 27.	Others
242	Sekiya S, Fukuda J, Yamamura R, Ooshio T, Satoh Y, Kosuge S, Sato R, Hatanaka KC, Hatanaka Y, Mitsuhashi T, Nakamura T, Matsuno Y, Hirano S, Sonoshita M	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Drosophila Screening Identifies Dual Inhibition of MEK and AURKB as an Effective Therapy for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Cancer Res. 2023 Aug 15;83(16):2704-2715. doi: 10.1158/0008-5472.CAN-22-3762.	Original Article
243	Yasunori Yagi, Yasunori Kubo, Koji Hoshino, Kazufumi Okada, Kiyohiko Hotta, Nobuo Shinohara, Yuji Morimoto	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Differences of cerebral oxygen saturation in dialysis patients: a comparison of three principles of near infrared spectroscopy	Journal of Anesthesia. 2023 Dec;37(6):861-867. doi: 10.1007/s00540-023-03245-w. Epub 2023 Aug 30.	Original Article

244	Hiroyasu Tojima, Soichi Murakami, Saseem Poudel, Yo Kurashima, Toshimichi Asano, Takehiro Noji, Kazufumi Okada, Yoichi M Ito, Hiroyuki Kaneko, Yoshimitsu Izawa, Hiroshi Homma, Satoshi Hirano	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Development of a simulator and training curriculum for liver trauma surgery training for general surgeons	Global Surgical Education-Journal of the Association for Surgical Education/Published:17M arch2024/Volume3,article number36,(2024) Cite this article	Original Article
245	Yoshimura M, Kawamura M, Hasegawa S, Ito YM, Takahashi K, Sumi N.	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Development and validation of the Care Transitions Scale for Patients with Heart Failure: A tool for nurses to assess patients' readiness for hospital discharge.	Jpn J Nurs Sci 2023 Apr;20(2):e12522. doi: 10.1111/jjns.12522. Epub 2023 Feb 8.	Original Article
246	Okada K, Tanaka S, Matsubayashi J, Takahashi K, Yokota I.	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Decoupling power and type I error rate considerations when incorporating historical control data using a test-then-pool approach.	Biom J. accepted. 2024 Jan;66(1):e2200312. doi: 10.1002/bimj.202200312.	Original Article

247	<p>Fukuda J, Kosuge S, Satoh Y, Sekiya S, Yamamura R, Ooshio T, Hirata T, Sato R, Hatanaka KC, Mitsuhashi T, Nakamura T, Matsuno Y, Hatanaka Y, Hirano S, Sonoshita M.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Concurrent targeting of GSK3 and MEK as a therapeutic strategy to treat pancreatic ductal adenocarcinoma.</p>	<p>Cancer Sci. 2024 Apr;115(4):1333-1345. doi: 10.1111/cas.16100. Epub 2024 Feb 6.</p>	<p>Original Article</p>
248	<p>Tamura T, Yamasoba D, Oda Y, Ito J, Kamasaki T, Nao N, Hashimoto R, Fujioka Y, Suzuki R, Wang L, Ito H, Kashima Y, Kimura I, Kishimoto M, Tsuda M, Sawa H, Yoshimatsu K, Yamamoto Y, Nagamoto T, Kanamune J, Suzuki Y, Ohba Y; Genotype to Phenotype Japan (G2P-Japan) Consortium; Yokota I, Matsuno K, Takayama K, Tanaka S, Sato K, Fukuhara T.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Comparative pathogenicity of SARS-CoV-2 Omicron subvariants 37488344 including BA.1, BA.2, and BA.5.</p>	<p>Commun Biol. 2023 Jul 24;6(1):772. doi: 10.1038/s42003-023-05081-w.</p>	<p>Original Article</p>

249	Yasunori Kubo, Yusuke Itosu, Tomonori Kubo, Hitoshi Saito, Kazufumi Okada, Yoichi M Ito, Yuji Morimoto	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Cerebral oxygenation saturation in childhood: difference by age and comparison of two cerebral oximetry algorithms	Journal of Clinical Monitoring and Computing. 2024 Jun;38(3):639-648. doi: 10.1007/s10877-023- 01124-z. Epub 2024 Feb 4.	Original Article
250	Teruyo Arato, Kaori Nomura	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Cell and gene therapy approvals in Japan and the need for international harmonization	Nat. Biotechnol. 2024 Jan;42(1):13-17. doi: 10.1038/s41587-023- 02053-7.	Original Article
251	Oba M, Nakanishi Y, Mitsuhashi T, Sasaki K, Hatanaka KC, Sasaki M, Nange A, Okumura A, Hayashi M, Yoshida Y, Nitta T, Ueno T, Yamada T, Ono M, Kuwabara S, Okamura K, Tsuchikawa T, Nakamura T, Noji T, Asano T, Tanaka K, Takayama K, Hatanaka Y, Hirano S.	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	CCR7 Mediates Cell Invasion and Migration in Extrahepatic Cholangiocarcinoma by Inducing Epithelial- Mesenchymal Transition	Cancers (Basel). 2023 Mar 21;15(6):1878. doi: 10.3390/cancers1506187 8.	Original Article

252	Toshiaki Shichinohe , Hiroshi Date , Etsuro Hatano , Eiji Kobayashi , Masako Hiramatsu , Satoshi Hirano , Yoshimitsu Izawa , Yasuhiro Shirakawa	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Cadaver surgical training and research using donated cadavers in the field of surgery in Japan: an overview of reports from 2012 to 2021	Surgery Today. 2023 Aug;53(8):984-991. doi: 10.1007/s00595-023- 02642-8. Epub 2023 Mar 10.	Original Article
253	Matsuoka M, Onodera T, Yokota I, Iwasaki K, Suzuki Y, Masanari H, Kondo E, Iwasaki N.	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Bone metastatic cancer of unknown primary at initial presentation.	Clin Transl Oncol. 2024 Feb;26(2):461-467. doi: 10.1007/s12094-023- 03267-6. Epub 2023 Jul 3.	Original Article
254	Ninagawa K, Kato M, Tsuneta S, Ishizaka S, Ujiie H, Hisada R, Kono M, Fujieda Y, Ito YM, Atsumi T.	医療・ヘルスサイエ ンス研究開発機構	Beneficial effects of nintedanib on cardiomyopathy in patients with systemic sclerosis: a pilot study.	Rheumatology (Oxford). 2023 Jul 5;62(7):2550- 2555. doi: 10.1093/rheumatology/ke ac674.	Others

255	Nakakubo S, Kishida N, Okuda K, Kamada K, Iwama M, Suzuki M, Yokota I, Ito YM, Nasuhara Y, Boucher RC, Konno S.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Associations of COVID-19 symptoms with omicron subvariants BA.2 and BA.5, host status, and clinical outcomes in Japan: a registry-based observational study.	Lancet Infect Dis. 2023 Nov;23(11):1244-1256. doi: 10.1016/S1473-3099(23)00271-2. Epub 2023 Jun 30.	Original Article
256	Ozaki T, Mikami K, Toyomaki A, Hashimoto N, Ito YM, Kusumi I.	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構	Assessment of electroencephalography modification by antipsychotic drugs in patients with schizophrenia spectrum disorders using frontier orbital theory: A preliminary study.	Neuropsychopharmacol Rep. 2023 Jun;43(2):177-187. doi: 10.1002/npr2.12318. Epub 2023 Feb 22.	Original Article

257	<p>Hagio K, Kikuchi J, Takada K, Tanabe H, Sugiyama M, Ohhara Y, Amano T, Yuki S, Komatsu Y, Osawa T, Hatanaka KC, Hatanaka Y, Mitamura T, Yabe I, Matsuno Y, Manabe A, Sakurai A, Ishiguro A, Takahashi M, Yokouchi H, Naruse H, Mizukami Y, Dosaka-Akita H, Kinoshita I</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Assessment for the timing of comprehensive genomic profiling tests in patients with advanced solid cancers</p>	<p>Cancer Sci. 2023 Aug;114(8):3385-3395. doi: 10.1111/cas.15837. Epub 2023 May 19.</p>	<p>Others</p>
258	<p>Takashi Miyakoshi, Yoichi M Ito</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Assessing the current utilization status of wearable devices in clinical research</p>	<p>Journal of the Society for Clinical Trials. 2024 Mar 14:17407745241230287. doi: 10.1177/17407745241230287. Online ahead of print.</p>	<p>Review</p>

259	<p>Yang Y, Kimura H, Yokota I, Makita H, Takimoto-Sato M, Matsumoto-Sasaki M, Matsumoto M, Oguma A, Abe Y, Takei N, Goudarzi H, Shimizu K, Suzuki M, Nishimura M, Konno S, for the Hi-CARAT investigators.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Applicable predictive factors extracted from peak flow trajectory for the prediction of asthma exacerbation.</p>	<p>Ann Allergy Asthma Immunol. 2024 Apr;132(4):469-476. doi: 10.1016/j.anai.2023.11.015. Epub 2023 Nov 24.</p>	<p>Original Article</p>
260	<p>Iwahara N, Hotta K, Iwami D, Tanabe T, Tanaka Y, Ito YM, Otsuka T, Murai S, Takada Y, Higuchi H, Sasaki H, Hirose T, Harada H, Shinohara N.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Analysis of T-cell alloantigen response via a direct pathway in kidney transplant recipients with donor-specific antibodies.</p>	<p>Front Immunol. 2023 May 3;14:1164794. doi: 10.3389/fimmu.2023.1164794. eCollection 2023.</p>	<p>Original Article</p>
261	<p>Oguma A, Shimizu K, Kimura H, Tanabe N, Sato S, Yokota I, Takimoto-Sato M, Matsumoto-Sasaki M, Abe Y, Takei N, Goudarzi H, Suzuki M, Makita H, Hirai T, Nishimura M, Konno S; Hi-CARAT investigators.</p>	<p>医療・ヘルスサイエンス研究開発機構</p>	<p>Differential role of mucus plugs in asthma: Effects of smoking and association with airway inflammation.</p>	<p>Allergol Int. 2023 Apr;72(2):262-270. doi: 10.1016/j.alit.2022.10.007. Epub 2022 Nov 17.</p>	<p>Original Articles</p>

262	Keiichi Nakano, Masanori Seimiya. Kojiro Yamazaki, Keiko Yasuda, Naoki Yamashita, Hideki Goto, Takanori Teshima	検査・輸血部	Patent blue interferes with the measurement of lipemia index in a patient with sentinel lymph node	Lab Med. 2024 Apr 15	Case Reports
263	Sumio Iwasaki, Rikako Sato, Keisuke Kagami, Kouji Akizawa, Kasumi Hayasaka, Tatsuya Fukumoto, PhD, Keisuke Taki, Yusuke Niinuma, Takehiro Yamada, Reiko Oyamada, Tsubasa Watanabe, Sho Nakakubo, Chiaki Watanabe, Takanori Teshima, Nobuhisa Ishiguro	検査・輸血部	Breaking away from an endemic state of multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa by daily sink disinfection	Antimicrobial Stewardship & Healthcare Epidemiology 2023 Nov 15;3(1):e209	Others

264	Hamaguchi H, Kitagawa M, Sakamoto D, Katscher U, Sudo H, Yamada K, Kudo K, Tha KK.	Laboratory for Biomarker Imaging Science, Graduate School of Biomedical Science and Engineering, Hokkaido University	Quantitative Assessment of Intervertebral Disc Composition by MRI: Sensitivity to Diurnal Variation	Tomography. 2023;9:1029-1040.	Original Article
265	Yamamoto T, Kase S, Shinkai A, Murata M, Kikuchi K, Wu D, Kageyama Y, Shinohara M, Sasase T, Ishida S.	眼科	Phosphorylation of α B-Crystallin Involves Interleukin-1 β -Mediated Intracellular Retention in Retinal Müller Cells: A New Mechanism Underlying Fibrovascular Membrane Formation.	invest Ophthalmol Vis Sci. 2023 Jul 3;64(10):20.	Original Article
266	Suzuki K, Iwata D, Namba K, Hase K, Hiraoka M, Murata M, Kitaichi N, Foxton R, Ishida S.	眼科	Involvement of Angiopoietin 2 and vascular endothelial growth factor in uveitis.	PLoS One. 2023 Nov 28;18(11):e0294745.	Original Article

267	Ishida S, Chen SJ, Murata T, Ogura Y, Ruamviboonsuk P, Sakamoto T, Fujita T, Kawano M, Ohsawa S, Abreu F, Haskova Z, Ives J, Silverman D, Yoon YH; YOSEMITE and RHINE	眼科	Efficacy, Durability, and Safety of Faricimab in Patients From Asian Countries With Diabetic Macular Edema: 1-Year Subgroup Analysis of the Phase III YOSEMITE and RHINE Trials.	Asia Pac J Ophthalmol (Phila). 2023 Sep-Oct 01;12(5):451-459.	Original Article
268	Kikuchi K, Tagawa Y, Murata M, Ishida S.	眼科	Effects of Mirogabalin on Hyperalgesia and Chronic Ocular Pain in Tear-Deficient Dry-Eye Rats.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2023 May 1;64(5):27	Original Article
269	Suimon Y, Kase S, Kinoshita R, Ishida S.	眼科	Clinicopathologic features of conjunctival MALT lymphomas refractory to radiation therapy	Can J Ophthalmol. 2023 Dec 12:S0008-4182(23)00368-X.Online ahead of print.	Original Article

270	Mitamura M, Kase S, Hirooka K, Endo H, Ito Y, Ishida S.	眼科	Choroidal Circulatory and Vascular Morphological Changes in Acute Macular Neuroretinopathy After Infection With Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2: A Case Report With Literature Review.	In Vivo. 2023 Nov-Dec;37(6):2869-2876.	Original Article
271	Mitamura M, Kase S, Hirooka K, Ishida S.	眼科	Alterations of choroidal circulation and choroidal thickness before and after chemoradiotherapy in a case of metastatic choroidal tumor.	BMC Ophthalmol. 2023 Jun 13;23(1):270.	Case Reports
272	Mitamura M, Kase S, Yamashita Y, Hirooka K, Ishida S.	眼科	Alterations in choroidal circulatory dynamics and choroidal thickness before and after treatment in posterior scleritis.	BMC Ophthalmol. 2023 Sep 19;23(1):382.	Case Reports

273	Mitamura M, Kase S, Hirooka K, Ishida S.	眼科	A case of choroidal melanocytosis observed by multimodal imaging with laser speckle flowgraphy.	BMC Ophthalmol. 2023 Apr 26;23(1):180.	Case Reports
274	Mitamura M, Kase S, Suimon Y, Kanno-Okada H, Ishida S.	眼科	A case of choroidal melanocytoma treated by transscleral resection: A clinicopathological study.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2024 Mar 29;34:102043	Original Article
275	Mitamura M, Noda K, Kase S, Hirooka K, Ishida S.	眼科	RETINAL HYPOPERFUSION DETECTED BY WIDE-FIELD OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHIC ANGIOGRAPHY IN A CASE OF RETINAL RACEMOSE HEMANGIOMA.	Retin Cases Brief Rep. 2023 Nov 1;17(6):723-727.	Case Reports

276	Tanaka T, Kase S, Saito M, Hirose I, Murata M, Takakuwa E, Ishida S.	眼科	Clinicopathological findings in refractory diabetic macular edema: A case report.	Biomed Rep. 2023 Nov 29;20(1):13.	Case Reports
277	Arita T, Namba K, Iwata D, Suzuki K, Ogino Y, Mizuuchi K, Hiraoka M, Kitaichi N, Ishida S.	眼科	A case of tubulointerstitial nephritis and uveitis syndrome accompanied by subclinical choroiditis.	BMC Ophthalmol. 2023 Oct 20;23(1):424.	Case Reports
278	Ogino Y, Namba K, Iwata D, Suzuki K, Mizuuchi K, Hiraoka M, Kitaichi N, Ishida S.	眼科	A case of APMPE-like panuveitis presenting with extensive outer retinal layer impairment following COVID-19 vaccination.	BMC Ophthalmol. 2023 May 24;23(1):233.	Case Reports

279	Shuichi Yamagata, Takaaki Yamamoto, Yoshiaki Sato	矯正歯科	Stability after mandibular setbacks and a novel evaluation method for the rotation of the distal segment	J Hokkaido Orthod Soc 51(1), 13-20, 25 December 2023	Clinical Reports
280	Haruhisa Watanabe, Nako Maishi, Marie Hoshi-Numahata, Mai Nishiura, Atsuko Nakanishi-Kimura, Kyoko Hida, Tadahiro Iimura	矯正歯科	Skeletal-Vascular Interactions in Bone Development, Homeostasis, and Pathological Destruction	Int J Mol Sci. 24(13), 10912, June 2023	Review
281	Yasuhito Morimoto, Tomoka Hasegawa, Hiromi Hongo, Tomomaya Yamamoto, Haruhi Maruoka, Mai Haraguchi-Kitakamae, Ko Nakanishi, Tsuneyuki Yamamoto, Hotaka Ishizu, Tomohiro Shimizu, Kumiko Yoshihara, Yasuhiro Yoshida, Tsutomu Sugaya, Norio Amizuka	矯正歯科	Phosphorylated pullulan promotes calcification during bone regeneration in the bone defects of rat tibiae	Front Bioeng Biotechnol 11, 1243951, October 2023	Original Research Article

282	Kyoko Osawa, Takenori Kanai, Natsumi Ushijima, Koichiro Kajiwara, Yoshihiko Sawa, Yoshiaki Sato	矯正歯科	Morphological study for the osteocytes in podoplanin-conditional knockout mice	Journal of Hard Tissue Biology 32(4), 213-222, October 2023	Original Article
283	Takafumi Muneyama, Tomoka Hasegawa, Yimin, Tomomaya Yamamoto, Hiromi Hongo, Mai Haraguchi-Kitakamae, Miki Abe, Haruhi Maruoka, Hotaka Ishizu, Tomohiro Shimizu, Yasuyuki Sasano, Minqi Li, Norio Amizuka	矯正歯科	Histochemical assessment on osteoclasts in long bones of toll-like receptor 2 (TLR2) deficient mice	J Oral Biosci 65(2), 163-174, June 2023	Original Article

284	Yukina Miyamoto, Tomoka Hasegawa, Hiromi Hongo, Tomomaya Yamamoto, Mai Haraguchi- Kitakamae, Miki Abe, Haruhi Maruoka, Hotaka Ishizu, Tomohiro Shimizu, Yasuyuki Sasano, Nobuyuki Udagawa, Minqi Li, Norio Amizuka	矯正歯科	Histochemical assessment of osteoclast-like giant cells in Rankl-/- mice	J Oral Biosci 65(2), 175- 185, June 2023	Original Article
285	Marie Hoshi- Numahata, Aya Takakura, Atsuko Nakanishi-Kimura, Haruhisa Watanabe, Kentaro Takada, Mai Nishiura, Yoshiaki Sato, Ryoko Takao- Kawabata, Tadahiro Iimura	矯正歯科	Evaluation of cortical bone remodeling in canines treated with daily and weekly administrations of teriparatide by establishing AI-driven morphometric analyses and GIS-based spatial mapping	Bone Reports, 101720, Available online October 2023	Original Article
286	Tomomaya Yamamoto, Haruhi Maruoka, Hiromi Hongo, Hirona Yoshino, Mai Haraguchi-Kitakamae, Xuanyu Liu, Qi Yao, Minqi Li, Norio Amizuka, Tomoka Hasegawa	矯正歯科	Early gene expression profiles of anabolic and catabolic molecules in murine bone after a single PTH injection	J Oral Biosci 65(4), 395- 400, December 2023	Others

287	Atsuko Nakanishi-Kimura, Aya Takakura, Marie Hoshi-Numahata, Haruhisa Watanabe, Mai Nishiura, Yoshiaki Sato, Ryoko Takao-Kawabata, Tadahiro Iimura	矯正歯科	Dynamic morphometric changes in the mandibular osteocytic lacunae of ovariectomized rats in response to teriparatide, as revealed by three-dimensional fluorescence analyses: Possible involvement of osteocytic perilacunar remodeling	J Oral Biosci. 66(1), 49-60, March 2024	Original Article
288	Tomomaya Yamamoto, Miki Abe, Hiromi Hongo, Haruhi Maruoka, Hirona Yoshino, Mai Haraguchi-Kitakamae, Nobuyuki Udagawa, Minqi Li, Norio Amizuka, Tomoka Hasegawa	矯正歯科	Differential osteoblastic activity in primary metaphyseal trabecular and secondary trabeculae of c-fos deficient mice	J Oral Biosci 65(4), 265-272, December 2023	Original Article
289	Emi Kikuchi, Tadashi Inui, Shaoyi Su, Yoshiaki Sato, Makoto Funahashi	矯正歯科	Chemogenetic inhibition of the bed nucleus of the stria terminalis suppresses the intake of a preferable and learned aversive sweet taste solution in male mice	Behavioural Brain Research 439, Article 114253, February 2023	Research report

290	<p>Ayako Chida-Nagai, Naoki Masak, Kay Maeda, Konosuke Sasak, Hiroki Sato, Jun Muneuchi, Yoshie Ochiai, Hiroomi Murayama, Masahiro Tahara, Atsuko Shiono, Atsushi Shinozuka, Fumihiko Kono, Daisuke Machida, Shinichi Toyooka, Seiichiro Sugimoto, Kazufumi Nakamura, Satoshi Akagi, Maiko Kondo, Shingo Kasshara, Yasuhiro Kotani, Junichi Koizumi, Katsuhiko Oda, Masako Harada, Daisuke Nakajima, Akira Murata, Hazumu Nagata, Koichi Yatsunami, Tomio Kobayashi, Yoshikiyo Matsunaga, Takahiro Inoue, Hiroyuki Yamagishi, Naomi Nakagawa, Katsuki Ohtani, Masaki Yamamoto, Yushi Ito, Tatsunori Hokosaki, Yuta Kuwahara, Satoshi Masutani, Koji Nomura, Tsutomu Wada, Hirofumi Sawada, Masayuki Abiko, Tatsunori Takahashi, Yuichi Ishikawa, Seigo Okada, Atsushi Naitoh, Takako Toda, Tatsuya Ando, Akihiro Masuzawa, Shinsuke Hoshino, Masaaki Kawada, Yuichi Nomura, Kentaro Ueno, Naoki Ohashi, Tsuyoshi Tachibana, Yuchen Cao, Hideaki Ueda, Sadamitsu Yanagi, Masaaki Koide, Norie Mitsushita, Kouji Higashi, Yoshihiro Minosaki, Tomohiro Hayashi, Takashi Okamoto, Kenji Kuraishi, Eiji Ehara, Hidekazu Ishida, Hitoshi Horigome, Takashi Murakami, Kohta Takei, Taku Ishii, Gen Harada, Yasutaka Hirata, Jun Maeda, Shunsuke Tatebe, Chiharu Ota, Yasunobu Hayabuchi, Hisanori Sakazaki, Takashi Sasaki, Keiichi Hirono, Sayo Suzuki, Masahiro Yasuda, Atsuhito Takeda, Madoka Sawai, Kagami Miyaji, Atsushi Kitagawa, Yosuke Nakai, Nobuyuki Kakimoto, Kouta Agematsu, Atsushi Manabe, Yoshikatsu Saiki</p>	小児科	Use of the index of pulmonary vascular disease for predicting long-term outcome of pulmonary arterial hypertension associated with congenital heart disease	Front Cardiovasc Med. 2023; 10: 1212882.	Original article
291	Sachiko N. Yasuyoshi H, Takeru G, Syuhei K, Masashi N, Midori N, Yuki U, Hideaki S, Atsushi M, Dishary S, James M C, Kiyoshi E	小児科	Therapeutic effects of KRM-II-81, positive allosteric modulator for alpha 2/3 subunit containing GABAA receptors, in a mouse model of Dravet syndrome	Front Pharmacol. 2023 Oct 2;14:1273633.	Original Article

292	Jiro Abe, Masahiro Ueki, Ryota Honjou, Kenta Takeda, Yoshitaka Seto, Yuichi Nakamura, Yuta Furuse, Koh Nakata, Kazutoshi Cho	小児科	The clinical importance of pulmonary gene and protein expression levels in an infant with lethal ABCA3 variants.	Pediatr Pulmonol. 2023 Oct;58(10):2956-2959. doi: 10.1002/ppul.26611. Epub 2023 Jul 21.	Case Reports
293	Yuji Maruo, Yoshihiko Saito, Ichizo Nishino, Atsuhito Takeda	小児科	Successful treatment of frequent premature ventricular contractions and non-sustained ventricular tachycardia with verapamil and flecainide in RYR1-related myopathy: a case report.	Eur Heart J Case Rep. 2023 Oct 13;7(10):ytad509. doi: 10.1093/ehjcr/ytad509. eCollection 2023 Oct.	Case Reports
294	Kiyoshi Egawa, Miho Watanabe, Hideaki Shiraishi, Daisuke Sato, Yukitoshi Takahashi, Saori Nishio, Atsuo Fukuda	小児科	Imbalanced expression of cation-chloride cotransporters as a potential therapeutic target in an Angelman syndrome mouse model	Sci Rep, 2023 Apr 17;13(1):5685	Original Article

295	Masahiro Shiraishi, Daisuke Sasaki, Mitsue Hibino, Atsuhito Takeda, Hideyoshi Harashima, Yuma Yamada	小児科	Human cardiosphere-derived cells with activated mitochondria for better myocardial regenerative therapy.	Journal of Controlled Release	Original article
296	Shuntaro Morikawa , Katsuya Tanabe, Naoya Kaneko, Nozomi Hishimura, Akie Nakamura	小児科	Comprehensive overview of disease models for Wolfram syndrome: toward effective treatments.	Mamm Genome. 2024 Mar;35(1):1-12. doi: 10.1007/s00335-023-10028-x. Epub 2024 Feb 13.	Review
297	Itsumi Sato, Mitsue Hibino, Atsuhito Takeda, Hideyoshi Harashima, Yuma Yamada	小児科	Activation of Mitochondrial Oxygen Consumption Rate by Delivering Coenzyme Q10 to Mitochondria of Rat Skeletal Muscle Cell (L6)	Journal of Pharmaceutical Sciences (2024.7(publish),2024.2(E. pub))	Original article

298	Chida-Nagai A, Tonoki H, Makita N, Ishiyama H, Ihara M, Maruo Y, Tsujioka T, Sasaki D, Izumi G, Yamazawa H, Kato N, Ito M, Fujimura M, Sasaki O, Takeda A	小児科	A Noonan-like pediatric patient with a de novo CBL pathogenic variant and an RNF213 polymorphism p.R4810K presenting with cardiopulmonary arrest due to left main coronary artery ostial atresia.	Am J Med Genet A (IF: 2.8; Q3). 2023 Dec;191(12):2837-2842. doi: 10.1002/ajmg.a.63370. Epub 2023 Aug 9.	Case Reports
299	Gaku Izumi , Atsuhito Takeda, Takayuki Okamoto, Satoru Shida , Hiroataka Matsuo	小児科	A case of tachycardia-induced acute kidney injury by renal hypouricemia	J Cardiol Cases 2023;29:59-62	Case Reports
300	Atsuhito Takeda, Masahiro Ueki, Jiro Abe, Kazuhiro Maeta, Tomoko Horiguchi, Hirokuni Yamazawa, Gaku Izumi, Ayako Chida-Nagai, Daisuke Sasaki, Takao Tsujioka, Itsumi Sato, Masahiro Shiraishi, Masafumi Matsuo	小児科	A case of infantile Barth syndrome with severe heart failure: Importance of splicing variants in the TAZ gene.	Mol Genet Genomic Med (IF: 2.18; Q3). 2023 Jul;11(7):e2190. doi: 10.1002/mgg3.2190. Epub 2023 Apr 25.	Case Reports

301	Haruhiko Shiiya, Kichizo Kaga, Hideki Ujiiie, Aki Fujiwara- Kuroda, Jun Muto, Shunsuke Nomura, Shohei Honda, Tatsuya Kato	呼吸器外科	Tumor-to-thoracic height ratio as an easy method to predict the feasibility of reduced-port video-assisted thoracic surgery for mediastinal lesions in children: a single-center experience	J Thorac Dis•Sep 28;15(9):5020-5028	Original Article
302	Jun Muto , Ryunosuke Hase , Sho Narita , Shouhei Otsuka , Akihiro Sasaki , Tatsuya Kato	呼吸器外科	Successful management of recurrence of lung surgery- induced pyoderma gangrenosum after pacemaker implantation: a case report	General Thoracic and Cardiovascular Surgery Cases•2, Article number: 32	Case report
303	Jenny Lou, Masato Aragaki , Nicholas Bernards , Tess Chee , Alexander Gregor , Yoshihisa Hiraishi , Tsukasa Ishiwata , Chelsea Leung , Lili Ding , Shinsuke Kitazawa , Takamasa Koga , Yuki Sata , Hiroyuki Ogawa , Juan Chen , Tatsuya Kato , Kazuhiro Yasufuku , Gang Zheng *co-1st author	呼吸器外科	Repeated photodynamic therapy mediates the abscopal effect through multiple innate and adaptive immune responses with and without immune checkpoint therapy	Biomaterials. • Jan:292:121918.	Original Article

304	Masato Aragaki, Terunaga Inage, Tsukasa Ishiwata, Alexander Gregor, Nicholas Bernards, Tatsuya Kato, Kazuhiro Yasufuku	呼吸器外科	Optimization of thrombolytic dose for treatment of pulmonary emboli using endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle injection	J Thorac Cardiovasc Surg. • May;165(5):e210-e221.	Original Article
305	Kazuto Ohtaka, Setsuyuki Ohtake, Yu Ishii, Saya Kaku, Yuta Takeuchi, Tomoko Mizota, Yoshiyuki Yamamura, Masaomi Ichinokawa, Tatsuya Yoshioka, Eiji Tamoto, Katsuhiko Murakawa, Koichi Ono	呼吸器外科	Metastatic lung tumor from hepatocellular carcinoma with tumor thrombus invasion in the pulmonary vein: a case report	J Cardiothorac Surg • Apr 28;18(1):167.	Case report
306	Naoki Takeno, Shintaro Tarumi, Masahiro Abe, Yasuhiro Suzuki, Ichiro Kinoshita, Tatsuya Kato	呼吸器外科	Lung adenocarcinoma with micropapillary and solid patterns: Recurrence rate and trends	Thorac Cancer • Oct;14(30):2987-2992.	Original Article

307	Shinya Otsuka, Kei Hiraoka, Noriko Kimura, Satoshi Hirano, Tatsuya Kato, Masato Suzuoki	呼吸器外科	Invasive thymoma metastases to the pancreas: A case report	Int J Surg Case Rep• Apr:105:108004.	Case report
308	Shunsuke Nomura, Hideki Ujiie, Aki Fujiwara-Kuroda, Kichizo Kaga, Masato Aragaki, Jun Muto, Ryohei Chiba, Gaku Yamazaki, Kento Wakabayashi, Yoshihiro Matsuno & Tatsuya Kato	呼吸器外科	Identification of micro- recurrent lesions using methylene blue for mediastinal ectopic parathyroid adenoma: a case report	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases•2, 74	Case report
309	Yuki Itagaki, Akira Fukunaga, Hironobu Takano, Kazuyuki Yamamoto, Kohei Nishigami, Tatsunosuke Ichimura, Hiroto Manase, Masahiko Obata, Tatsuya Kato, Satoshi Hirano	呼吸器外科	Dedifferentiated liposarcoma primary to the chest wall with spontaneous shrinking: report of a case	Surg Case Rep•Feb 15;9(1):26.	Case report

310	Aki Fujiwara-Kuroda, Yasuhiro Hida, Hideki Ujiie, Kichizo Kaga, Tatsuya Kato	呼吸器外科	A novel edge-marking method in pleural covering with video- assisted thoracic surgery	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg•Mar 2;36(3):ivad046. .	Original Article
311	K. Nishioka,T. Hashimoto,T. Mori,Y. Uchinami,R. Kinoshita,N. Katoh,H. Taguchi,K. Yasuda,S. Takahashi,Y.M. Ito,S. Takao,M. Tamura,S. Shimizu,H. Shirato,H. Aoyama,Show less	医学研究院 医理工 学グローバルセン ター	A Single-Institution Prospective Study To Evaluate the Safety and Efficacy of Real- Time Image-Gated Spot- Scanning Proton Therapy (RGPT) for Prostate Cancer.	Adv Radiat Oncol. 2024 Feb 8;9(5):101464. doi: 10.1016/j.adro.2024.1014 64. eCollection 2024 May.	Original Article
312	Uchinami Yusuke	医学研究院 放射線 治療学教室	Treatment outcomes of radiotherapy with concurrent weekly cisplatin in older patients with locally advanced head and neck squamous cell carcinoma.	Discov Oncol. 2023 Dec 8;14(1):226. doi: 10.1007/s12672-023- 00844-7.	Original Article

313	Yusuke Uchinami, Takahiro Kanehira, Keiji Nakazato, Yoshihiro Fujita, Fuki Koizumi, Shuhei Takahashi, Manami Otsuka, Koichi Yasuda, Hiroshi Taguchi, Kentaro Nishioka, Naoki Miyamoto, Kohei Yokokawa , Ryusuke Suzuki, Keiji Kobashi , Keita Takahashi, Norio Katoh, Hidefumi Aoyama	医学研究院 放射線 治療学教室	Predicting the daily gastrointestinal doses of stereotactic body radiation therapy for pancreatic cancer based on the shortest distance between the tumor and the gastrointestinal tract using daily computed tomography images.	BJRopen. 2023 Oct 18;5(1):20230043.	Original Article
314	Uchinami Yusuke	医学研究院 放射線 治療学教室	Impact of adaptive radiotherapy on survival in locally advanced nasopharyngeal carcinoma treated with concurrent chemoradiotherapy.	Radiat Oncol J. 2024 Mar;42(1):74-82. doi: 10.3857/roj.2023.00374. Epub 2024 Mar 18.	Others
315	Yusuke Uchinami, Naoki Miyamoto . Daisuke Abo, Ryo Morita, Koji Ogawa, Tatsuhiko Kakisaka, Ryusuke Suzuki, Tomohiko Miyazaki, Hiroshi Taguchi, Norio Katoh, Hidefumi Aoyama	医学研究院 放射線 治療学教室	Real-time tumor-tracking radiotherapy with SyncTraX for primary liver tumors requiring isocenter shift.	J Radiat Res. 2024 Jan 19;65(1):92-99. doi: 10.1093/jrr/rrad088.	Others

316	<p>Takenaka J, Watanabe S, Abe T, Tsuchikawa T, Takeuchi S, Hirata K, Kimura R, Wakabayashi N, Shinohara N, Kudo K</p>	核医学診療科	<p>Predictive factors of early FDG-PET response to [131I] MIBG treatment for unresectable or metastatic pheochromocytomas and paragangliomas (PPGLs)</p>	<p>Neuroendocrinology. 2023 Sep 19</p>	Original Article
317	<p>Takenaka J, Hirata K, Watanabe S, Shiraiishi H, Kudo K</p>	核医学診療科	<p>Neuroblastoma-related severe hypoperfusion in the cerebellum of an infant: A case of opsoclonus-myoclonus syndrome</p>	<p>Asia Ocean J Nucl Med Biol. 2023;11(1):93-96</p>	Case report
318	<p>Wakabayashi N, Kimura R, Kuwatani M, Matsui A, Ino N, Mitsuhashi T, Kishi K, Tsuneta S, Nakagawa J, Nishioka N, Sakamoto K, Kato F, Shimizu A, Hirano S, Kudo K</p>	核医学診療科	<p>Gastrointestinal: Solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas with high-grade malignant transformation</p>	<p>J Gastroenterol Hepatol. 2024 Jan 15</p>	Case report

319	Hirata K, Kamagata K, Ueda D, Yanagawa M, Kawamura M, Nakaura T, Ito R, Tatsugami F, Matsui Y, Yamada A, Fushimi Y, Nozaki T, Fujita S, Fujioka T, Tsuboyama T, Fujima N, Naganawa S	核医学診療科	From FDG and beyond: the evolving potential of nuclear medicine	Ann Nucl Med. 2023 Nov;37(11):583-595	Review
320	Watanabe S, Hirata K, Magota K, Takenaka J, Wakabayashi N, Shinyama D, Yasuda K, Homma A, Kudo K	核医学診療科	Comparative study of physiological FDG uptake in small structures between silicon photomultiplier-based PET and conventional PET	Ann Nucl Med. 2023 Nov 9	Original Article
321	Takenaka J, Hirata K, Watanabe S, Takahata M, Kudo K	核医学診療科	Bone Echinococcosis Mimicking Malignancy on FDG PET	Clin Nucl Med. 2023 Nov 1;48(11): e523-e525	Case report

322	Hirata K, Watanabe S, Kitagawa Y, Kudo K	核医学診療科	A Review of Hypoxia Imaging Using 18F-Fluoromisonidazole Positron Emission Tomography	Methods Mol Biol. 2024 Feb; 2755:133-140	Review
323	Kimura.T, Sakata KI, Imamachi K, Kitagawa Y	口腔診断内科学	Osteoradionecrosis of the jaw suspicious of correlation with bone-modifying agent treatment: A case report	Medicine: Case Reports and Study Protocols 5(1):p e00302, January 2024.	Case Reports
324	Morimoto M, Maishi N, Tsumita T, Alam MT, Kikuchi H, Hida Y, Yoshioka Y, Ochiya T, Annan DA, Takeda R, Kitagawa Y, Hida K.	口腔診断内科学	miR-1246 in tumor extracellular vesicles promotes metastasis via increased tumor cell adhesion and endothelial cell barrier destruction	Front Oncol. 2023 Apr 12;13:973871	Original Article

325	Ouchi C, Hasebe A, Sakata KI, Sato J, Yamazaki Y, Ohga N, Kitagawa Y.	口腔診断内科学	Genotypes and virulence-related activities of <i>Candida albicans</i> derived from oral cavity of patients in Hokkaido	Arch Oral Biol. 2024 Jan;157:105827	Original Article
326	Itagaki T, Sakata KI, Hasebe A, Kitagawa Y	口腔診断内科学	Exploratory Study of the Relationship between an Oral Fungal Swab Test and Patient Blood Test Data	Microorganism. 2023 Nov 29;11(12):2887	Original Article
327	Hato H, Kaneko A, Maeda C, Sakata KI, Ono Y, Mizukami Y, Kono T, Kitagawa Y	口腔診断内科学	Comparison between hangeshashinto and dexamethasone for IL-1 α and β -defensin 1 production by human oral keratinocytes.	J Oral Biosci. 2024 Mar;66(1):188-195	Original Article

328	Matsushita Y, Watanabe Y, Shirahase R, Yamazaki Y	高齢者歯科	Relationship between Body Mass Index and Sarcopenia with Oral Function Decline in Older Japanese Patients Who Regularly Attend a General Dental Clinic	J Frailty Aging 2024年1月	Original Article
329	Takeda M, Watanabe Y, Taira K, Miura K, Ohara Y, Iwasaki M, Ito K, Nakajima J, Iwasa Y, Itoda M, Nishi Y, Watanabe Y, Kishima M, Hirano H, Shirobe M, Minakuchi S, Yoshida M, Yamazaki Y	高齢者歯科	Association between Death or Hospitalization and Observable Variables of Eating and Swallowing Function among Elderly Residents in Long-Term Care Facilities: A Multicenter Prospective Cohort Study	Healthcare(Basel) 2023年6月	Original Article
330	Suzuki T, Nakakubo S, Suzuki M, Konno S	呼吸器内科学教室	Visible Bronchial Obstruction after Hematopoietic Stem Cell Transplantation	Intern Med,2023.11	Original Article

331	Suzuki T, Tsujino I, Harabayashi W, Shima H, Nakamura J, Sato T, Suzuki M, Takeda Y, Konno S	呼吸器内科学教室	Pulmonary arterial hypertension in an 80-year-old man with long-term use of cyclophosphamide	Respir Med Case Rep,2023.5	Case Reports
332	Takahashi H, Sakakibara-Konishi J, Furuta M, Shoji T, Tsuji K, Morinaga D, Kikuchi E, Kikuchi J, Noguchi T, Hatanaka KC, Hatanaka Y, Shinagawa N, Konno S	呼吸器内科学教室	Notch pathway regulates osimertinib drug-tolerant persistence in EGFR-mutated non-small-cell lung cancer	Cancer Sci, 2023.4	Original Article
333	Matsumoto M, Kimura H, Shimizu K, Suzuki M, Asakura S, Hashino S, Konno S	呼吸器内科学教室	Nine-Year Trend in the Prevalence of Allergic Diseases and Their Associated Factors in Young Adults	Int Arch Allergy Immunol,2024	Original Article

334	Suzuki M, Matsumoto I, Ishida M, Horie Y, Ban H, Takeuchi W, Nakagawa S, Nakagawa T, Kitamura T, Muro S	呼吸器内科学教室	Investigation of time profile of FEV1 across the onset of potential COPD: a retrospective cohort study using medical checkup data in Japan	Sci Rep, 2023.4	Original Article
335	Tsuji K, Kikuchi E, Takashima Y, Shoji T, Takahashi H, Ito S, Morinaga D, Kashima M, Maeda M, Kitai H, Kikuchi J, Sakakibara-Konishi J, Konno S	呼吸器内科学教室	Inhibition of non-homologous end joining mitigates paclitaxel resistance resulting from mitotic slippage in non-small cell lung cancer	Cell Cycle,2023.9	Original Article
336	Wakazono N, Nagai K, Mizushima A, Maeda Y, Taniguchi N, Harada T, Satou E, Mae N, Furuya K	呼吸器内科学教室	Febrile Reactions Associated with High IgG Antibody Titers after the Second and Third BNT162b2 Vaccinations in Japan	Jpn J Infect Dis,2023.9	Original Article

337	Takashima Y, Oki M	呼吸器内科学教室	Endobronchial ultrasound with a guide sheath during bronchoscopy for peripheral pulmonary lesions	Expert Rev Respir Med,2023.7	Review
338	Suzuki M, Makita H, Konno S, Nishimura M	呼吸器内科学教室	Clinical characteristics and natural course of chronic obstructive pulmonary disease and/or asthma in Japanese patients: a summary report of two Hokkaido-based cohort studies	Respir Investig, 2023,7	Original Article
339	Nakamura J, Tsujino I, Shima H, Nakaya T, Sugimoto A, Sato T, Watanabe T, Ohira H, Suzuki M, Tsuneta S, Hisada R, Kato M, Konno S	呼吸器内科学教室	Clinical and Hemodynamic Responses to Imatinib in Pulmonary Veno-Occlusive Disease/Pulmonary Capillary Hemangiomatosis: A Retrospective Pilot Study of Five Cases and Review of the Literature	Am J Cardiovasc Drugs,2023.5	Original Article

340	Takimoto-Sato M, Suzuki M, Kimura H, Ge H, Matsumoto M, Makita H, Arai S, Miyazaki T, Nishimura M, Konno S	呼吸器内科学教室	Apoptosis inhibitor of macrophage (AIM)/CD5L is involved in the pathogenesis of COPD	Respir Res,2023.8	Original Article
341	Sato M, Maishi N, Hida Y, Yanaga-Matsuda A, Alam MT, Sakakibara-Konishi J, Nam JM, Onodera Y, Konno S, Hida K	呼吸器内科学教室	Angiogenic inhibitor pre-administration improves the therapeutic effects of immunotherapy	Cancer Med,2023.4	Original Article
342	Sugimoto A, Matsumoto S, Udagawa H, Itotani R, Usui Y, Umemura S, Nishino K, Nakachi I, Kuyama S, Daga H, Hara S, Miyamoto S, Kato T, Sakakibara-Konishi J, Tabata E, Nakagawa T, Kawaguchi T, Sakai T, Shibata Y, Izumi H, Zenke Y, Yoh K, Goto K	呼吸器内科学教室	A large-scale prospective concordance study of plasma- and tissue-based next-generation targeted sequencing for advanced non-small cell lung cancer (LC-SCRUM-Liquid)	Clin Cancer Res,2023,4	Original Article

343	Honjo R, Cho K, Hashimoto K, Takeda K, Seto Y, Kaneshi Y, Furuse Y, Manabe A.	産科・周産母子センター	Neonatal-onset pulmonary alveolar proteinosis is a phenotype associated with poor outcomes in surfactant protein-C disorder	Early Human Development 189 (2024) 105930	Original Article
344	Tamaki R, Noshiro K, Furugen A, Nishimura A, Asano H, Watari H, Kobayashi M, Umazume T.	産科・周産母子センター	Breast milk concentrations of acetaminophen and diclofenac – unexpectedly high mammary transfer of the general-purpose drug acetaminophen	BMC Pregnancy Childbirth. 2024 Jan 29;24(1):90.	Original article
345	Kimura S, Suzuki M, Nakamaru Y, Kano S, Watanabe M, Honma A, Nakazono A, Tsushima N, Hatakeyama S, Homma A	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	TRIM27 expression is associated with poor prognosis in sinonasal mucosal melanoma	Rhinology. 61(3): 263–271, 2023	Original Article

346	Tsushima N, Kano S, Yasuda K, Suzuki T, Nakamaru Y, Suzuki M, Uchinami Y, Aoyama H, Homma A	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Treatment outcomes of the patient with sinonasal mucosal melanoma: the role of endoscopic resection and postoperative radiotherapy	Int J Clin Oncol. 28(9): 1218-1226, 2023	Original Article
347	Kano S, Suzuki T, Yoshida D, Tsushima N, Hamada S, Yasuda K, Uchinami Y, Aoyama H, Homma A	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The superselective intra arterial infusion of cisplatin and concomitant radiotherapy (RADPLAT) is effective for metastatic lymph nodes in head and neck squamous cell carcinoma	Int J Clin Oncol. 28(9): 1121-1128, 2023	Original Article
348	Homma A, Ando M, Hanai N, Harada H, Honma Y, Kanda T, Kano S, Kawakita D, Kiyota N, Kizawa Y, Nakagawa M, Ogawa T, Shinomiya H, Shinozaki T, Suzuki M, Tsuji T, Yasuda K, Zenda S, Kodaira T, Kirita T, Nibu K	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Summary of Japanese clinical practice guidelines for head and neck cancer - 2022 update edited by the Japan society for head and neck cancer	Auris Nasus Larynx. 51(1):174-188 , 2023	Review

349	Tsushima N, Kano S, Suzuki T, Hamada S, Homma A	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Pretreatment elevated mean corpuscular volume as an indicator for high risk esophageal second primary cancer in patients with head and neck cancer	Auris Nasus Larynx. 50(3): 423-429, 2023	Original Article
350	Suzuki M, Miyaji K, Matoba K, Abe T, Nakamaru Y, Watanabe R, Suzuki T, Nakazono A, Konno A, Hinder D, Psaltis AJ, Wormald PJ, Homma A	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Mental workload during endoscopic sinus surgery is associated with surgeons' skill levels	Front Med. 10: 1090743, 2023	Original Article
351	Homma A, Mikami M, Matsuura K, Onimaru R, Yoshida D, Shinomiya H, Ohkoshi A, Hayashi R, Saito Y, Tachibana H, Shiga K, Ueda T, Uemura H, Nakamura K, Fukuda H: Head and Neck Cancer Study Group of the Japan Clinical Oncology Group (JCOG-HNCSG)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Dose-finding and efficacy confirmation trial of the superselective intra-arterial infusion of cisplatin and concomitant radiotherapy for locally advanced maxillary sinus cancer (JCOG1212): Results of the efficacy confirmation phase in patients with T4aN0M0: RADPLAT for T4aN0M0 Maxillary Sinus Cancer	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 118(5): 1271-1281, 2023	Original Article

352	Fujiwara K, Morita S, Fukuda A, Hoshino K, Nakamaru Y, Homma A	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Discrepancies in the caloric testing and video Head Impulse Test results in a case with bilateral lateral semicircular canal malformations	Auris Nasus Larynx. 50(3): 463-467, 2023	Case Reports
353	Aoki Y, Noji T, Tanaka K, Matsui A, Nakanishi Y, Asano T, Nakamura T, Tsuchikawa T, Hirano S	消化器外科 II	Validation study for prognostic scoring system for perihilar cholangiocarcinoma surgery using preoperative factors.	Langenbecks Arch Surg・2023年11月	Original Article
354	Yoshimi Y, Noji T, Okamura K, Tanaka K, Matsui A, Nakanishi Y, Asano T, Nakamura T, Tsuchikawa T, Kawamoto Y, Harada K, Fuyama K, Okada K, Hirano S	消化器外科 II	The Short- and Long-Term Surgical Results of Consecutive Hepatopancreaticoduodenectomy for Wide-Spread Biliary Malignancy.	Ann Surg Oncol・2024年1月	Original Article

355	Ebihara Y, Hirano S, Takano H, Kanno T, Kawashima K, Morohashi H, Oki E, Hakamada K, Urushidani S, Mori M	消化器外科 II	Technical evaluation of robotic tele-cholecystectomy: a randomized single-blind controlled pilot study.	J Robot Surg•2023年6月	Original Article
356	Mizunuma K, Kurashima Y, Poudel S, Watanabe Y, Noji T, Nakamura T, Okamura K, Shichinohe T, Hirano S	消化器外科 II	Surgical skills assessment of pancreaticojejunostomy using a simulator may predict patient outcomes: A multicenter prospective observational study.	Surgery•2023年6月	Original Article
357	Sakurai Y, Ebihara Y, Kurashima Y, Murakami S, Shichinohe T, Hirano S	消化器外科 II	Robot-assisted laparoscopic total gastrectomy for gastric cancer with common hepatic artery passed behind the portal vein: A case report.	Int J Surg Case Rep•2023年8月	Case Reports

358	Okawa Y, Sasagawa S, Kato H, Johnson TA, Nagaoka K, Kobayashi Y, Hayashi A, Shibayama T, Maejima K, Tanaka H, Miyano S, Shibahara J, Nishizuka S, Hirano S, Seto Y, Iwaya T, Kakimi K, Yasuda T, Nakagawa H	消化器外科 II	Immuno-genomic Analysis Reveals Eosinophilic Feature and Favorable Prognosis of Female Non-Smoking Esophageal Squamous Cell Carcinomas.	Cancer Lett•2024年1月	Original Article
359	Murakami M, Onishi S, Yamada K, Ogawa K, Yokoyama S, Kurashima Y, Miyano G, Ishimaru T, Kawashima H, Uchida H, Yamataka A, Okuyama H, Ieiri S	消化器外科 II	How many cases do instructor class pediatric surgeons need to experience to be an independent operator in performing advanced endoscopic surgery? A nationwide survey to establish an ideal curriculum for pediatric endoscopic surgery in Japan.	Pediatr Surg Int•2023年9月	Original Article
360	Tojima H, Murakami S, Poudel S, Kurashima Y, Asano T, Noji T, Okada K, Ito YM, Kaneko H, Izawa Y, Homma H, Hirano S	消化器外科 II	Development of a simulator and training curriculum for liver trauma surgery training for general surgeons.	Global Surg Educ•2024年3月	Original Article

361	Yokoyama S, Kurashima Y, Ieiri S, Yamataka A, Okuyama H, Uchida H, Ishimaru T, Hirano S	消化器外科Ⅱ	Comprehension of fundamental knowledge about pediatric endoscopic surgery: A cross- sectional study in Japan.	Surg Endosc•2023年8月	Original Article
362	Javarone M, Alimenti E, Tada T, Shimose S, Suda G, Yoo C, Soldà C, Piscaglia F, Tosetti G, Marra F, Vivaldi C, Conti F, Schirripa M, Iwamoto H, Sho T, Lee SH, Rizzato MD, Tonnini M, Rimini M, Campani C, Masi G, Foschi F, Bruccoleri M, Kawaguchi T, Kumada T, Hiraoka A, Atsukawa M, Fukunishi S, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Hatanaka T, Kakizaki S, Kawata K, Tada F, Ohama H, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Naganuma A, Casadei -Gardini A, Lampertico P	消化器内科	Incidence and Predictors of Esophagogastric Varices Bleeding in Patients with Hepatocellular Carcinoma in Lenvatinib.	Liver Cancer. 2023 Sep 14;13(2):215-226	Original Article
363	Fukushima S, Katsurada T, Nishida M, Omotehara S, Sakurai K, Yamanashi K, Onishi R, Sakamoto N	消化器内科	Effectiveness of transabdominal ultrasonography in predicting clinical relapse of Crohn's disease.	Intest Res. 2024 Jan;22(1):82-91. doi: 10.5217/ir.2023.00093. Epub 2024 Jan 29. PMID: 38326999; PMCID: PMC10850700.	Original Article

364	Fukushima S, Katsurada T, Sakamoto N	消化器内科	A Woman With Chronic Anemia, Hypoalbuminemia, and Ileo-Ileal Fistula.	Gastroenterology. 2023 Jul;165(1):e6-e8. doi: 10.1053/j.gastro.2022.12.031. Epub 2022 Dec 30. PMID: 36592732.	Case report
365	Harada K, Yuki S, Kawamoto Y, Nakamura T, Kaneko S, Ishida K, Sakamoto N, Komatsu Y	消化器内科	Anti-epidermal growth factor receptor treatment for patients with Neo RAS wild-type metastatic colorectal cancer: a case report of two cases.	Ther Adv Med Oncol. 2023 Nov 28;15:17588359231216090	Case report
366	Satoru Wakasa	心臓血管外科	Treatment Strategy for Chronic Ischemic Mitral Regurgitation.	Journal of Coronary Artery Disease 2023; 29: 79-84	Review

367	Satoru Wakasa, Yasushige Shingu	心臟血管外科	Rough-zone suspension with mitral valve replacement for ventricular functional mitral regurgitation.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Apr;72(4):247-249	Others
368	Ishigaki T, Wakasa S, Sato K, Kato N, Kamikubo Y.	心臟血管外科	Reconstruction of right ventricular outflow tract with severe calcification: lantern procedure	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Jan;72(1):58-60	Case report
369	Ito T, Wakasa S, Sato K, Abe S, Minamida T.	心臟血管外科	Posterior Papillary Muscle Suspension for Treating Systolic Anterior Motion in Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2024;30(1):23-00176.	Case report

370	Ishigaki T, Wakasa S, Shingu Y, Ohkawa Y, Yamada A.	心臓血管外科	Impact of sarcopenia on early and mid-term outcomes of surgery for acute type A aortic dissection in octogenarians	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2023 Nov;71(11):674-680	Original Article
371	Yasushige Shingu, Isao Yokota, Toshiaki Shichinohe, Soichi Murakami, Yuma Ebihara, Yo Kurashima, Satoshi Hirano, Satoru Wakasa	心臓血管外科	Incidence of atrial fibrillation after esophageal cancer surgery with L-carnitine use: a preliminary single-group interventional study.	Surg Today. 2024 Aug;54(8):892-898	Original Article
372	Baba R, Ohkoshi Y, Maeda T, Suzuki K, Iwadate A, Iwasaki K, Onodera T, Kondo E, Iwasaki N.	整形外科	The Influence of Patello-Femoral Overstuffing After Modular Unlinked Bicompartamental Knee Arthroplasty (BiKA) for Medial Tibio-Femoral and Patello-Femoral Osteoarthritis of the Knee	J Arthroplasty. 2024 Mar;39(3):638-644. doi: 10.1016/j.arth.2023.08.069.	Original Article

373	Ishikawa Y, Kanai S, Ura K, Kokabu T, Yamada K, Abe Y, Tachi H, Suzuki H, Ohnishi T, Endo T, Ukeba D, Takahata M, Iwasaki N, Sudo H.	整形外科	Development of Notch-Free, Pre-Bent Rod Applicable for Posterior Corrective Surgery of Thoracolumbar/Lumbar Adolescent Idiopathic Scoliosis	J Clin Med. 2023 Sep 4;12(17):5750. doi: 10.3390/jcm12175750.	Original Article
374	Kaibara T, Kondo E, Matsuoka M, Iwasaki K, Onodera T, Sakamoto K, Oda Y, Tanei ZI, Momma D, Tanaka S, Iwasaki N.	整形外科	Atelocollagen-associated autologous chondrocyte implantation for the repair of large cartilage defects of the knee: Results at three to seven years	J Orthop Sci. 2024 Jan;29(1):207-216. doi: 10.1016/j.jos.2022.12.001. Epub 2023 Jan 9.	Original Article
375	Shimizu T, Takahashi D, Suzuki H, Shimizu H, Ogawa T, Yokota S, Ishizu H, Iwasaki N	整形外科	Validation of parameters recommended for secondary screening for developmental dysplasia of the hip in Japan	J Orthop Sci. 2024 Jul;29(4):1015-1019. doi: 10.1016/j.jos.2023.06.013. Epub 2023 Jul 12.	Original Article

376	Matsui Y, Kondo M, Nishio Y, Kato S, Iwasaki N.	整形外科	Valgus instability and related factors beyond 2 years following unlinked total elbow arthroplasty.	J Shoulder Elbow Surg. 2024 Mar;33(3):544-549	Original Article
377	Miyazaki T, Shimizu T, Ohura H, Katayama N, Iwasaki N, Takahashi D	整形外科	Total hip arthroplasty with femoral shortening osteotomy using polished cemented stem vs. modular cementless stem in patients with Crowe type IV developmental dysplasia of the hip	Arch Orthop Trauma Surg. 2023 Jun;143(6):3487-3493. doi: 10.1007/s00402-022-04518-x.	Original Article
378	Onodera T, Momma D, Matsuoka M, Kondo E, Suzuki K, Inoue M, Higano M, Iwasaki N.	整形外科	Single-step ultra-purified alginate gel implantation in patients with knee chondral defects.	Bone Joint J. 2023 Aug 1;105-B(8):880-887.	Original Article

379	Ishizu H, Shimizu T, Sakamoto Y, Toyama F, Kitahara K, Takayama H, Miyamoto M, Iwasaki N.	整形外科	Radiofrequency Echographic Multispectrometry (REMS) can Overcome the Effects of Structural Internal Artifacts and Evaluate Bone Fragility Accurately.	Calcif Tissue Int. 2024 Mar;114(3):246-254.	Original Article
380	Hara M, Kadoya K, Endo T, Norimasa Iwasaki N	整形外科	Peripheral nerve-derived fibroblasts promote neurite outgrowth in adult dorsal root ganglion neurons more effectively than skin-derived fibroblasts	Exp Physiol. 2023 Apr;108(4):621-635. doi: 10.1113/EP090751. Epub 2023 Feb 28.	Original Article
381	Ebata T, Terkawi MA, Kitahara K, Yokota S, Shiota J, Nishida Y, Matsumae G, Alhasan H, Hamasaki M, Hontani K, Shimizu T, Takahashi D, Endo T, Onodera T, Kadoya K, Iwasaki N.	整形外科	Noncanonical Pyroptosis Triggered by Macrophage-Derived Extracellular Vesicles in Chondrocytes Leading to Cartilage Catabolism in Osteoarthritis.	Arthritis Rheumatol. 2023 Aug;75(8):1358-1369. doi: 10.1002/art.42505. Epub 2023 Jun 4.	Original Article

382	Suzuki T, Kadoya K*, Endo T, Iwasaki N.	整形外科	Molecular and Regenerative Characterization of Repair and Non-repair Schwann Cells.	Cell Mol Neurobiol. 2023 Jul;43(5):2165-2178.	Original Article
383	Terkawi MA	整形外科	Molecular and Cellular Mechanisms of Bone and Cartilage Diseases.	Biomedicines. Sep 8;11(9):2492. 2023.	Original Article
384	Fujita R, Endo T, Takahata M, Koike Y, Yoneoka D, Suzuki R, Tanaka M, Yamada K, Sudo H, Hasegawa T, Terkawi MA, Kadoya K, Iwasaki N	整形外科	High whole-body bone mineral density in ossification of the posterior longitudinal ligament.	Spine J. 2023 Oct;23(10):1461-1470.	Original Article

385	Yamada K, Nagahama K, Abe Y, Hyugaji Y, Ukeba D, Endo T, Onishi T, Ura K, Sudo H, Iwasaki N, Takahata M.	整形外科	Evaluation of surgical indications for full endoscopic discectomy at lumbosacral disc levels using three-dimensional magnetic resonance/computed tomography fusion images created with artificial intelligence.	Medicina 59(5):860, 2023	Original Article
386	Fukada S, Endo T, Takahata M, Kanayama M, Koike Y, Fujita R, Suzuki R, Murakami T, Hasegawa T, Terkawi MA, Hashimoto T, Yamada K, Sudo H, Kadoya K, Iwasaki N.	整形外科	Dyslipidemia as a novel risk for the development of symptomatic ossification of the posterior longitudinal ligament.	Spine J. 2023 Sep;23(9):1287-1295.	Original Article
387	Kida H, Jiang JJ, Matsui Y, Takahashi I, Hasebe R, Kawamura D, Endo T, Shibayama H, Kondo M, Nishio Y, Nishida K, Matsuno Y, Oikawa T, Kubota SI, Hojo S, Iwasaki N, Hashimoto S, Tanaka Y, Murakami M.	整形外科	Dupuytren's contracture-associated SNPs increase SFRP4 expression in non-immune cells including fibroblasts to enhance inflammation development.	Int Immunol. 2023 Jul 7;35(7):303-312.	Original Article

388	Yamamoto R, Yamada S, Atsumi T, Murakami K, Hashimoto A, Naito S, Tanaka Y, Ohki I, Shinohara Y, Iwasaki N, Yoshimura A, Jiang JJ, Kamimura D, Hojo S, Kubota S, Hashimoto S, Murakami M	整形外科	Computer model of IL-6-dependent rheumatoid arthritis in F759 mice	Int Immunol. 2023 Sep 5;35(9):403-421. doi: 10.1093/intimm/dxad016.	Original Article
389	Oue T, Shimizu T, Asano T, Shimodan S, Ishizu H, Arita K, Iwasaki N.	整形外科	Comparison of the Efficacy of Zoledronate Acid or Denosumab After Switching from Romosozumab in Japanese Postmenopausal Patients.	Calcif Tissue Int. 2023 Jun;112(6):683-690.	Original Article
390	Takahata M, Hyakkan R, Oshima S, Oda I, Kanayama M, Hyakumachi T, Fujita R, Endo T, Kajino T, Iwasaki N.	整形外科	Cervical Myelopathy Caused by Non-Rheumatic Retro-Odontoid Pseudotumor: An Investigation of Underlying Mechanisms and Optimal Surgical Strategy.	Global Spine J. 2023 Sep;13(7):2053-2062.	Original Article

391	Ike S, Momma D, Numaguchi K, Matsui Y, Yokota M, Oohinata J, Kondo E, Iwasaki N.	整形外科	Bilateral Humeral Retrotorsion Angle Measured Using an Ultrasound-Assisted Technique in Asian Baseball Players.	Orthop J Sports Med. 2023 May 22;11(5):23259671231166927	Original Article
392	Suzuki Y, Ohkoshi Y, Kawakami K, Shimizu K, Chida S, Ukishiro K, Onodera T, Iwasaki K, Maeda T, Suzuki S, Kondo E, Iwasaki N	整形外科	Assessing the knee joint biomechanics and trunk posture according to medial osteoarthritis severity.	Sci Rep 13, 19186, 2023.	Original Article
393	Homan K, Onodera T, Hanamatsu H, Furukawa JI, Momma D, Matsuoka M, Iwasaki N.	整形外科	Articular cartilage corefucosylation regulates tissue resilience in osteoarthritis.	Elife. 2024 Mar;12:RP92275.	Original Article

394	Suzuki T, Kawamura D, Matsui Y, Iwasaki N.	整形外科	Arthrodesis of the interphalangeal joints of the hand by two-dimensional intraosseous wiring.	BMC Musculoskelet Disord. 2023 Oct 25;24(1):843.	Original Article
395	Shimizu T, Takahashi D, Ishizu H, Yokota S, Hasebe Y, Uetsuki K, Iwasaki N.	整形外科	Anatomical and Simulation Studies Based on Three-Dimensional-Computed Tomography Image Reconstruction of Femoral Offset.	Diagnostics (Basel). 2023 Apr 16;13(8):1434.	Original Article
396	Matsuoka M, Onodera T, Yokota I, Iwasaki K, Hishimura R, Suzuki Y, Hamasaki M, Iwata A, Kondo E, Iwasaki N.	整形外科	Amputation surgery associated with shortened survival in patients with localized soft tissue sarcoma.	J Orthop Sci. 2023 Mar 15:S0949-2658(23)00070-2.	Original Article

397	Endo T, Koike Y, Hisada Y, Fujita R, Suzuki R, Tanaka M, Tsujimoto T, Shimamura Y, Hasegawa Y, Kanayama M, Yamada K, Iwata A, Sudo H, Ishii M, Iwasaki N, Takahata M.	整形外科	Aggravation of Ossified Ligamentum Flavum Lesion Is Associated With the Degree of Obesity.	Global Spine J. 2023 Jun;13(5):1325-1331.	Original Article
398	Naoki hashimoto	精神医学教室	Change of prescription for patients with schizophrenia or major depressive disorder during admission: real-world prescribing surveys from the effectiveness of guidelines for dissemination and education psychiatric treatment project	BMC Psychiatry. 2023 Jun 28; 23 (1):473.	Original Article
399	Hisashi Akiyama, Ryo Okubo, Atsuhito Toyomaki, Akane Miyazaki, Sachiko Hattori, Mariko Nohara, Yohei Sasaki, Ryotaro Kubota, Hiroki Okano, Kanami Takahashi, Yumi Hasegawa, Izumi Wada, Takashi Uchino, Kazuyoshi Takeda, Satoru Ikezawa, Takahiro Nemoto, Yoichi M Ito, Naoki Hashimoto	精神科神経科	The evaluation study for social cognition measures in Japan:Psychometric properties, relationships with social function, and recommendations.	Asian J Psychiatr.2024May:95:10 4003.	Original Article

400	Yuichi Nakamura, Kotaro Sakurai, Shuhei Ishikawa, Toru Horinouchi, Naoki Hashimoto, Ichiro Kusumi	精神科神経科	Outpatient visit behavior in patients with epilepsy: Generalized Epilepsy is more frequently non-attendance than Focal Epilepsy.	Epilepsy Behav. 2023 Aug;145:109345	Original Article
401	Takashi Ozaki , Naoki Hashimoto, Niki Udo, Hisashi Narita, Shin Nakagawa .Ichiro Kusumi	精神科神経科	Neurobiological correlation between phosphorylated tau and mood symptoms in memory clinic patients	Psychogeriatrics.2023 Nov;23(6):954-962	Original Article
402	Satoshi Asakura	精神科神経科	Japanese Society of Anxiety and Related Disorders/Japanese Society of Neuropsychopharmacology:Clin ical practice guideline for social anxiety disorder(2021)	Practice Guideline Neuropsychopharmacol Rep.2023 Sep;43(3):288- 309	Original Article

403	Takuya Saito	精神科神経科	Efficacy of Preventing Relapse Evaluated by a Multicenter Randomized Double-Blind Placebo-Controlled Withdrawal Study of Escitalopram in Japanese Adolescents with Major Depressive Disorder	Randomized Controlled Trial J Child Adolesc Psychopharmacol.2023 Dec;33(10):418-427	Original Article
404	Kenichi Kimura	精神科神経科	Cardiovascular adverse reactions associated with escitalopram in patients with underlying cardiovascular disease:a systematic review and meta-analysis	Front Psychiatry. 2023 sep 22;14:1248397	Original Article
405	Eguchi K*, Yaguchi H*, Nakakubo S, Nakajima M, Yuki Uedab, Egawa K, Shiraishi H, Yabe I	脳神経内科	Video-based detection of epileptic spasms in West syndrome using a deep neural network: A pilot case study.	J Neurol Sci 449: 120671, 2023	Case report

406	Tarisawa M, Matsushima M, Kudo A, Sakushima K, Kanatani Y, Nishimoto N, Sawada J, Matsuoka T, Hisahara S, Uesugi H, Minami N, Sako K, Takei A, Tamakoshi A, Sato N, Sasaki H, Yabe I	脳神経内科	The Movement Disorder Society Criteria: Its Clinical Usefulness in Multiple System Atrophy.	Intern Med. 2024 Mar 18. doi: 10.2169/internalmedicine.3275-23. Online ahead of print.	Original Article
407	Shirai S, Mizushima K, Shibata Y, Matsushima M, Iwata I, Yaguchi H, Yabe I	脳神経内科	Spinocerebellar ataxia type 4 is not detected in a cohort from Hokkaido, the northernmost island of Japan.	J Neurol Sci. 2024 May 15:460:122974. doi: 10.1016/j.jns.2024.122974. Epub 2024 Mar 20.	Letter
408	Abe M, Yaguchi H(coresponding author), Kudo A, Nagai A, Shirai S, Takahashi-Iwata I, Matsushima M, Nakamura N, Isahaya K, Yamano Y, Ashida S, Kasai T, Tanaka K, Watabnabe M, Kondo R, Takahashi H, Hatakeyama S, Takekoshi A, Kimura A, Shiohata T, Yabe I (coresponding author)	脳神経内科	Sez6l2 autoimmunity in a large cohort study.	J Neurol Neurosurg Psychiatry 94(8):667-668, 2023	Letter

409	Matsushima M, Nagai A, Nomachi R, Kudo A, Eguchi K, Wakita M, Shirai S, Iwata I, Horiuchi K, Matsuoka T, Ura S, Houzen H, Yabe I	脳神経内科	Reliability of the unified multiple system atrophy rating scale using the telephone.	Clin Neurol Neurosurg. 2024 Feb;237:108147.	Original Article
410	Eguchi K, Takigawa I, Shirai S, Takahashi-Iwata I, Matsushima M, Kano T, Yaguchi H, Yabe I	脳神経内科	Gait Video-Based Prediction of Unified Parkinson's Disease Rating Scale Score: A Retrospective Study.	BMC Neurol. 2023 Oct 5;23(1):358.	Original Article
411	Matsushima M, Yaguchi H, Koshimizu E, Kudo A, Shirai S, Matsuoka T, Ura S, Kawashima A, Fukazawa T, Miyatake S, Matsumoto N, Yabe I (corresponding author)	脳神経内科	FGF14 GAA repeat expansion and ZFH3 GGC repeat expansion in clinically diagnosed multiple system atrophy patients.	J Neurol. 2024 Jun;271(6):3643-3647. doi: 10.1007/s00415-024-12308-1. Epub 2024 Mar 12.	Letter

412	Eguchi. K, Yaguchi H, Kudo I, Kimura I, Nabekura T, Kumagai R, Fujita K, Nakashiro Y, Iida Y, Hamada S, Honma S, Takei A, Moriwaka F, Yabe I	脳神経内科	Differentiation of speech in Parkinson's disease and spinocerebellar degeneration using deep neural networks.	J Neurol. 2024 Feb;271(2):1004-1012.	Original Article
413	Tarisawa M, Kano T, Ishimaru T, Nomura T, Mizushima K, Horiuchi K, Takahashi-Iwata I, Ura S, Minami N, Houzen H, Yabe I	脳神経内科	Clinical characteristics of patients with cryptococcal meningitis in Hokkaido: A case series.	Intern Med. 2024 May 1;63(9):1281-1287. doi: 10.2169/internalmedicine.1944-23. Epub 2023 Sep 15.	Case report
414	Shirai S, Mizushima K, Fujiwara K, Koshimizu E, Matsushima M, Miyatake S, Iwata I, Yaguchi H, Matsumoto N, Yabe I	脳神経内科	Case series: Downbeat nystagmus in SCA27B.	J Neurol Sci 454:120849, 2023	Others

415	Yaguchi H, Kudo A, Yabe I	脳神経内科	Autoimmune Cerebellar Ataxia.	Clinical Experimental Neuroimmunology 14: 159-166, 2023	Review
416	Kudo A, Yaguchi H (corresponding author), Tanaka K, Kimura A, Yabe I (corresponding author)	脳神経内科	A retrospective study of autoimmune cerebellar ataxia over a 20-year period in a single institution.	J Neurol. 2024 Jan;271(1):553-563	Original Article
417	Nobuo Shinohara	泌尿器科	This Issue 30-5	Int J Urol. 2023 May;30(5):421.	Original Article

418	Kiyohiko Hotta, Masayoshi Miura, Toshiaki Tanaka, Tatsu Tanabe, Naoya Masumori, Nobuo Shinohara	泌尿器科	Surgical strategy for orthotopic kidney transplantation	Int J Urol. 2024 May;31(5):582-584.	Original Article
419	Naoya Iwahara, Kiyohiko Hotta, Takayuki Hirose, and Nobuo Shinohara	泌尿器科	Long-Term Results in Recipients of Late Conversion to a Calcineurin Inhibitor-Free Regimen with Everolimus After Kidney Transplantation	Transplant Proc. 2023 May;55(4):803-808.	Original Article
420	Takayuki Hirose, Kiyohiko Hotta, Takahiro Osawa, Isao Yokota, Tasuku Inao, Tatsu Tanabe, Naoya Iwahara, Nobuo Shinohara	泌尿器科	Longitudinal mortality risks and kidney functional outcomes in Japanese living kidney donors	Int J Urol. 2024 May;31(5):519-524.	Original Article

421	<p>Takashige Abe, Shuhei Yamada, Hiroshi Kikuchi , Ataru Sazawa, Hidenori Katano, Hidetaka Suzuki, Ichiro Takeuchi, Keita Minami, Ken Morita, Kunihiko Tsuchiya, Norikata Takada, Shintaro Maru, Soshu Sato, Takanori Yamashita, Tango Mochizuki, Tomoshige Akino, Yoshihiro Sasaki, Yuichiro Shinno, Norihiro Murahashi, Takafumi Kawazu, Jun Furumido, Haruka Miyata, Ryuji Matsumoto, Takahiro Osawa, Sachiyo Murai, Nobuo Shinohara</p>	泌尿器科	Impact of postoperative complications on long-term survival in bladder cancer patients	Jpn J Clin Oncol. 2023 Oct 4;53(10):966-976.	Original Article
422	<p>Takahiro Osawa, Yasuhisa Fujii, Go Kimura, Hiroshi Kitamura, Yoji Nagashima, Sakura Iizumi, Tsuyoshi Osaka, Ryoichi Tsubouchi, Nobuo Shinohara</p>	泌尿器科	Electronic patient-reported outcome (ePRO) monitoring for adverse event management during cabozantinib treatment in patients with advanced renal cell carcinoma: protocol for a three-arm, randomised, multicentre phase II trial (e-PRO vs paper-PRO or usual care)	BMJ Open. 2023 Jul 26;13(7):e070275.	Original Article
423	<p>Takahiro Osawa, Mototsugu Oya, Tohru Okanishi, Ryohei Kuwatsuru, Haruna Kawano, Yoshihiko Tomita, Yo Niida, Norio Nonomura, Takashi Hatano, Yasuhisa Fujii, Masashi Mizuguchi, Nobuo Shinohara</p>	泌尿器科	Clinical Practice Guidelines for tuberous sclerosis complex-associated renal angiomyolipoma by the Japanese Urological Association: Summary of the update	Int J Urol. 2023 Oct;30(10):808-817.	Original Article

424	Zhai T, Mitamura T, Wang L, Kubota SI, Murakami M, Tanaka S, Watari H.	婦人科	Combination therapy with bevacizumab and a CCR2 inhibitor for human ovarian cancer: An in vivo validation study	Cancer Med. 2023 Apr;12(8):9697-9708.	Original article
425	Ikebe Y, Sato R, Amemiya T, Udo N, Matsushima M, Yabe I, Yamaguchi A, Sasaki M, Harada M, Matsukawa N, Kawata Y, Bito Y, Shirai T, Ochi H, Kudo K	放射線診断科	Prediction of amyloid positron emission tomography positivity using multiple regression analysis of quantitative susceptibility mapping	Magn Reson Imaging. 2023 Nov; 103:192-197	Original Article
426	Kameda H, Kinota N, Kato D, Fujii T, Harada T, Komaki Y, Sugimori H, Onodera T, Tomiyasu M, Obata T, Kudo K	放射線診断科	Magnetic Resonance Water Tracer Imaging Using 17 O-Labeled Water	Invest Radiol. 2024 Jan 1;59(1):92-103	Reviw

427	Fujima N, Nakagawa J, Ikebe Y, Kameda H, Harada T, Shimizu Y, Tsushima N, Kano S, Homma A, Kwon J, Yoneyama M, Kudo K	放射線診断科	Improved image quality in contrast-enhanced 3D-T1 weighted sequence by compressed sensing-based deep-learning reconstruction for the evaluation of head and neck	Magn Reson Imaging. 2024 Feb 8; S0730-725X (24)00038-9	Original Article
428	Nakagawa J, Fujima N, Hirata K, Harada T, Wakabayashi N, Takano Y, Homma A, Kano S, Minowa K, Kudo K	放射線診断科	Diagnosis of Skull-Base Invasion by Nasopharyngeal Tumors on CT with a Deep-Learning Approach	Jpn J Radiol. 2024 Jan 27	Original Article
429	Fujima N, Kamagata K, Ueda D, Fujita S, Fushimi Y, Yanagawa M, Ito R, Tsuboyama T, Kawamura M, Nakaura T, Yamada A, Nozaki T, Fujioka T, Matsui Y, Hirata K, Tatsugami F, Naganawa S	放射線診断科	Current State of Artificial Intelligence in Clinical Applications for Head and Neck MR Imaging	Magn Reson Med Sci. 2023 Oct 1;22(4):401-414	Review

430	Nishioka N, Fujima N, Tsuneta S, Yoneyama M, Matsumoto R, Abe T, Kimura R, Sakamoto K, Kato F, Kudo K	放射線診断科	Clinical utility of single-shot echo-planar diffusion-weighted imaging using L1-regularized iterative sensitivity encoding in prostate MRI	Medicine (Baltimore). 2023 Apr 25;102(17):e33639	Original Article
431	Nishioka N, Shimizu Y, Shirai T, Ochi H, Bito Y, Watanabe K, Kameda H, Harada T, Kudo K	放射線診断科	Automated Detection of Cerebral Microbleeds on Two-dimensional Gradient-recalled Echo T2* Weighted Images Using a Morphology Filter Bank and Convolutional Neural Network	Magn Reson Med Sci. 2024 Mar 15	Original Article
432	Koichi Yasuda	放射線治療科	Radiotherapy with or without chemotherapy for locally advanced head and neck cancer in elderly patients: analysis of the Head and Neck Cancer Registry of Japan.	Int J Clin Oncol. 2024 Mar;29(3):241-247. doi: 10.1007/s10147-023-02450-7. Epub 2023 Dec 29.	Others

433	Kinoshita Rumiko	放射線治療科	Distribution of human papilloma virus genotypes and treatment outcomes in definitive radiotherapy for cervical cancer	J Radiat Res. 2023 Mar 23;64(2):463-470	Original Article
434	Kurisu K, Hokari M, Uchida K, Asaoka K, Ajiki M, Takeda T, Itamoto K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Treatment of aneurysmal subarachnoid hemorrhage in subacute phase; retrospective comparison of treatment in sub- and hyper-acute phases	Clin Neurol Neurosurg/2023Jul	Original article
435	Sugiyama T, Ito M, Sugimori H, Tang M, Nakamura T, Ogasawara K, Matsuzawa H, Nakayama N, Lama S, Sutherland GR, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Tissue acceleration as a novel metric for surgical performance during carotid endarterectomy	Oper Neurosurg/2023Oct	Original article

436	Zhao Z, Cao K, Watanabe J, Philips CN, Zeidner JM, Ishi Y, Wang Q, Gold SR, Junkins K, Bartom ET, Yue F, Chandel NS, Hashizume R, Ben-Sahra I, Shilatifard A	北海道大学脳神経外科	Therapeutic targeting of metabolic vulnerabilities in cancers with MLL3/4-COMPASS epigenetic regulator mutations	J Clin Invest/2023Jul	Original article
437	Tashiro R, Anzawa R, Inoue T, Mikagi A, Ozaki D, Tominaga K, Inoue T, Ishida T, Fujimura M, Endo H, Niizuma K, Tominaga T	北海道大学脳神経外科	The prognostic values of plasma desmosines, crosslinking molecules of elastic fibers, in the disease progression of Moyamoya disease	Bioorganic & Medicinal Chemistry/2024Feb	Original article
438	Nishioka K, Takahashi S, Mori T, Uchinami Y, Yamaguchi S, Kinoshita M, Yamashina M, Kigaki H, Maebayashi M, Aoyama H	北海道大学脳神経外科	The need of radiotherapy optimization for glioblastomas considering immune responses.	Jpn J Radiol/2023Oct	Review

439	Osanai T, Uchino H, Ito M, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	The efficacy of the mobile telemedicine system for digital subtraction angiography of moyamoya disease compare to picture archiving and communication system	JMA J/2024Feb	Original article
440	Ikeda H, Yamaguchi S, Ishi Y, Wakabayashi K, Shimizu A, Kanno-Okada H, Endo T, Ota M, Okamoto M, Motegi H, Iwasaki N, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Supratentorial Multifocal Gliomas Associated with Ollier Disease Harboring IDH1 R132H mutation: A Case Report	Neuropathology/2023Oct	Case report
441	Okuyama T, Kurisu K, Hokari M, Miyata K, Uchida K, Asaoka K, Itamoto K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Successful treatment with urgent revascularization and parent artery occlusion for lethal hemorrhage from intratumoral aneurysm developed 30 years after meningioma surgery: A case report	J Neurosurg Case Lessons/2023May	Case report

442	Takamiya S, Kawabori M, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Stem Cell Therapies for Intracerebral Hemorrhage: Review of Preclinical and Clinical Studies	Cell Transplant/2023Dec	Review
443	Yagi T, Mizuno M, Kageyama H, Endo T, Takeshima Y, Iwasaki M, Kurokawa R, Takai K, Nishikawa M, Hida K, Neurospinal Society of Japan Investigators of Intramedullary spinal cord tumor	北海道大学脳神経外科	Spinal Cord Subependymoma: A Subanalysis of the Neurospinal Society of Japan's Multicenter Study of Intramedullary Spinal Cord Tumors	Neurospine/2023Sep	Original article
444	Mizushima M, Okamoto M, Yamaguchi S, Oki S, Motegi H, Sugiyama M, Manabe A, Shimizu A, Nishioka K, Hashimoto T, Hirato J, Kanemura Y, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Slow-growing WNT medulloblastoma with atypical magnetic resonance imaging findings: Illustrative case	J Neurosurg Case Lessons/2023Aug	Case report

445	Inoue T, Endo T, Muto J, Umebayashi D, Mitsuhara T, Shigekawa S, Kanematsu R, Iwasaki M, Takami T, Hida K, Mizuno M; Investigators of Intramedullary Spinal Cord Tumors in the Neurospinal Society of Japan	北海道大学脳神経外科	Shorter survival time of adolescents and young adult patients than older adults with spinal cord glioblastoma: a multicenter study	J Neurosurg Spine/2023Nov	Original article
446	Nishikawa R, Yamasaki F, Arakawa Y, Muragaki Y, Narita Y, Tanaka S, Yamaguchi S, Mukasa A, Kanamori M	北海道大学脳神経外科	Safety and efficacy of tumour-treating fields (TTFields) therapy for newly diagnosed glioblastoma in Japanese patients using the Novo-TTF System: a prospective post-approval study	Jpn J Clin Oncol/2023Apr	Original article
447	Mizushima M, Sugiyama T, Eguchi K, Tarisawa M, Tokairin K, Ito M, Hashimoto D, Yabe I, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Rescue Extracranial-Intracranial Bypass for Ischemic Stroke Secondary to Progressive Human Immunodeficiency Virus-Associated Vasculopathy	J Neurosurg/2024Jan	Original article

448	Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Recent management option for the hemorrhagic stroke during direct oral anticoagulant therapy	JMA J/2023Oct	Others
449	Fujiwara Y, Fujiwara K, Motegi H, Ishi Y, Morita S, Hoshino K, Fukuda A, Nakamaru Y, Homma A	北海道大学脳神経外科	Quantitative Evaluations of Vestibular Function in Patients With Petrous Apex Cholesterol Granulomas Treated With an Endoscopic Transsphenoidal Approach: A Report of Two Cases	Otol Neurotol. 44(8):809-812, 2023	Case report
450	Sugiyama T, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Preservation of Enlarged Mastoid Emissary Vein during Microvascular Decompression for Trigeminal Neuralgia Accompanied by Abnormal Venous Drainage: A Technical Case Report	NMC Case Rep J/2023May	Case report

451	Tsujiimoto N, Abe H, Okanuka T, Seki T, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Predictors indicating the continuous need for a knee-ankle-foot orthosis in stroke patients at 1 month after onset	J Stroke Cerebrovasc Dis/2023Dec	Original article
452	Fujiwara K, Morita S, Motegi H, Yamaguchi S, Ishi Y, Hoshino K, Fukuda A, Kobayashi M, Nakamura Y, Fujimura M, Homma A	北海道大学脳神経外科	Pre- and post-operative semicircular canal function evaluated by video head impulse test in patients with vestibular schwannoma	Acta Neurochir (Wien)/2024Mar	Original article
453	Tatezawa R, Sugiyama T, Gotoh S, Shindo T, Ikeda H, Hokari M, Takizawa K, Nakayama N, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Possible delayed foreign-body reactions against titanium clips and coating materials after unruptured cerebral aneurysm surgery	Neurol Med Chir (Tokyo)/2023Oct	Original article

454	Houkin K, Osanai T, Uchiyama S, Minematsu K, Taguchi A, Maruichi K, Niiya Y, Asaoka K, Kuga Y, Takizawa K, Haraguchi K, Yoshimura S, Kimura K, Tokunaga K, Aoyama A, Ikawa F, Inenaga C, Abe T, Tominaga A, Takahashi S, Kudo K, Fujimura M, Sugiyama T, Ito M, Kawabori M, Hess DC, Savitz SI, Hirano T	北海道大学脳神経外科	Phase 2/3 Study on Allogeneic Stem Cell Therapy for Acute Ischemic Stroke (TREASURE): Allogenic Stem Cells in Stroke: TREASURE Trial	JAMA Neurol/2024Feb	Original article
455	Ohashi K, Osanai T, Bando K, Fujiwara K, Tanikawa T, Tani Y, Takamiya S, Sato H, Morii Y, Ishikawa T, Ogasawara K	北海道大学脳神経外科	Optimal allocation of physicians improves accessibility and workload disparities in stroke care	Int J Equity Health/2023Nov	Original article
456	Mizushima M, Kawabori M, Yamazaki K, Egawa K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Ommaya reservoir placement using ultrasound guidance via anterior fontanelle combined with frameless electromagnetic neuronavigation in patients with mucopolysaccharidosis type 2: case reports and review of the literature	Childs Nerv Syst/2024May	Case report

457	Tatezawa R, Abumiya T, Ito Y, Gekka M, Okamoto W, Ishii K, Kohyama N, Komatsu T, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Neuroprotective effects of a hemoglobin-based oxygen carrier (stroma-free hemoglobin nanoparticle) on ischemia reperfusion injury	Brain Res/2023Dec	Original article
458	Guo E, Gupta M, Sinha S, Rössler K, Tatagiba M, Akagami R, Al-Mefty O, Sugiyama T, Stieg PE, Pickett GE, de Lotbiniere-Bassett M, Singh R, Lama S, Sutherland GR	北海道大学脳神経外科	neuroGPT-X: Towards a Clinic-Ready Large Language Model	J Neurosurg/2023Oct	Original Article
459	Honda T, Ito M, Uchino H, Sugiyama T, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Moyamoya Syndrome Associated with Late-onset Idiopathic Aqueduct Stenosis Successfully Treated with Endoscopic Third Ventriculostomy	NMC Case Rep J/2024Jan	Case report

460	Kurisu K, Ito M, Uchino H, Sugiyama T, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Long-term Outcomes of Combined Revascularization Surgery for Moyamoya Disease in the Elderly: A Single Institute Experience	Neurol Med Chir (Tokyo)/2024Mar	Original article
461	Morishima Y, Kawabori M, Yamazaki K, Takamiya S, Yamaguchi S, Nakahara Y, Senjo H, Hashimoto D, Masuda S, Fujioka Y, Ohba Y, Mizuno Y, Kuge Y, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Intravenous administration of mesenchymal stem cell-derived exosome alleviates spinal cord injury by regulating NETs formation through exosomal miR-125a-3p	JAMA Neurol/2024Feb	Original article
462	Gotoh S, Kawabori M, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Intranasal administration of stem cell derived exosomes for central nervous system disease	Neural Reg Res/2023Sep	Review

463	Ikeda T, Kawabori M, Yuyuan Z, Yamaguchi S, Gotoh S, Nakahara Y, Yoshie E, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Intranasal administration of mesenchymal stem cell-derived exosome alleviates hypoxic-ischemic brain injury	J Neurosurg/2024Mar	Original article
464	Sawaya R, Yamaguchi S, Ishi Y, Okamoto M, Echizenya S, Motegi H, Fujima N, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Increased CD44 Expression in Primary Meningioma: Its Clinical Significance and Association with Peritumoral Brain Edema	J Neurosurg/2024Feb	Original article
465	Iwasaki M, Naito K, Endo T, Hijikata Y, Mizuno M, Hoshimaru M, Hida K, Takami T; Study group for intramedullary spinal cord tumors in the Neurospinal Society of Japan	北海道大学脳神経外科	Impact of surgical treatment for intramedullary spinal cord metastasis on neurological function and survival: A multicenter retrospective study by the Neurospinal Society of Japan	J Clin Neurosci/2023Nov	Original article

466	Yamasaki M, Ito M, Uchino H, Sugiyama T, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Impact of intra-operative cortical indocyanine green extravasation on local vasogenic edema immediately after direct revascularization in an adult with Moyamoya disease: An illustrative case	Neurol Med Chir (Tokyo)/2024Mar	Original article
467	Okamoto M, Yamaguchi S, Sawaya R, Echizenya S, Ishi Y, Kaneko S, Motegi H, Toyonaga T, Hirata K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Identifying G6PC3 as a potential key molecule in hypoxic glucose metabolism of glioblastoma derived from the depiction of 18F-fluoromisonidazole and 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography	J Stroke Cerebrovasc Dis/2024Feb	Original article
468	Yamashita S, Saito A, Jokura H, Kawaguchi T, Fujimura M, Ogawa Y, Tominaga T	北海道大学脳神経外科	Formation of internal carotid artery aneurysms following gamma knife radiosurgery for pituitary adenomas: a case series and literature review	Acta Neurochir (Wien)/2023Aug	Review

469	Saito T, Endo H, Ando D, Miyagi I, Kawabata Y, Watanabe M, Saito A, Fujimura M, Yazawa Y	北海道大学脳神経外科	Evaluation of cholesterol crystals in carotid plaque by dual energy computed tomography	Neuroradiology/2023May	Original article
470	Ito Y, Sugiyama T, Terasaka S, Matsuzawa H, Harada H, Nakayama N, Ito M, Maruichi K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Differences between acute embolic and atherosclerotic middle cerebral artery occlusion in multiphase arterial spin labeling imaging	Neurol Med Chir (Tokyo)/2024Mar	Original article
471	Sugiyama T, Sugimori H, Tang M, Ito Y, Gekka M, Uchino H, Ito M, Ogasawara K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Deep learning-based video-analysis of instrument motion in microvascular anastomosis training	Acta Neurochir (Wien)/2024Jan	Original article

472	Kobayashi S, Osanai T, Sugiyama T, Fujima N, Takagi R, Yokota I, Hamaguchi A, Nakamura T, Hida K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Comparison of access route for endovascular treatment by time-spatial labeling inversion pulse (Time-SLIP) MRA and contrast enhanced MRA	J Neuroendovasc Therapy/2023May	Original article
473	Kurisu K, Uchida K, Okuyama T, Miyata K, Yamaguchi Y, Ajiki M, Takada T, Hokari M, Asaoka K, Itamoto K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Clinical characteristics of endovascular treatment for acute ischemic stroke with atherosclerotic etiology: Factors associating its clinical outcome	Clin Neurol Neurosurg/2023May	Original article
474	Mizushima M, Ito M, Fujima N, Uchino H, Sugiyama T, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Chronological Volume Changes of the Temporal Muscle Pedicle Used for Encephalo-Myo-Synangiosis in Combined Revascularization for Moyamoya Disease: A Prospective Observational Study	Neurol Med Chir (Tokyo)/2023Jul	Original article

475	Oki S, Ito M, Gekka M, Yamauchi T, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Carotid endarterectomy for a case with an extremely twisted internal carotid artery.	JMA J/2023Oct	Case report
476	Yamaguchi Y, Takada T, Uchida K, Miyata K, Kurisu K, Okuyama T, Tomeoka F, Ajiki M, Hokari M, Asaoka K	北海道大学脳神経外科	Carotid Artery Stenting Using Stent-in-Stent Technique with a Closed-Cell Stent and a Dual-Layer Micromesh Stent: A Case Report	J Neuroendovasc Ther/2023Apr	Case report
477	Uchino H, Ito M, Tokairin K, Tatezawa R, Sugiyama T, Kazumata K, Fujimura M	北海道大学脳神経外科	Association of RNF213 polymorphism and cortical hyperintensity sign on fluid-attenuated inversion recovery images after revascularization surgery for moyamoya disease: possible involvement of intrinsic vascular vulnerability	Neurosurg Rev/2023May	Original article

478	Ohashi K, Osanai T, Fujiwara K, Tanikawa T, Tani Y, Takamiya S, Sato H, Morii Y, Ogasawara K.	北海道大学脳神経外科	Access to mechanical thrombectomy and ischemic stroke mortality in Japan: a spatial ecological study	Front Neurol/2023Sep	Original article
479	Kuroda S, Yamamoto S, Funaki T, Fujimura M, Kataoka H, Hishikawa T, Takahashi JC, Endo H, Nariai T, Saito N, Hori E, Miyamoto S	北海道大学脳神経外科	5-Year Stroke Risk and Its Predictors in Asymptomatic Moyamoya Disease – Asymptomatic Moyamoya Registry (AMORE)	Stroke/2023Jun	Original article
480	Manabu Murakami , Akiko Takeuchi , Shigeki Jin , Kotaro Matoba	北海道大学医学部 医学教育国際関係センター / 北海道大学医学部 法医学教室 / 北海道大学病院 歯科放射線科	How Undergraduates Perceive Stress Factors;An exploratory study.	Pakistan Journal of Medical Sciences. 2023 Jul-Aug;39(4):1219-1220. doi:10.12669/pjms.39.4.7760.	Original Article

481	Manabu Murakami , Akiko Takeuchi , Shigeki Jin , Kotaro Matoba	北海道大学医学部 医学教育国際関係セ ンター / 北海道大学大 学院医学研究院死 因調査センター / 北海 道大学病院 歯科放 射線科 / 北海道大 学医学部 法医学教 室	The importance of early clinical exposure and interprofessional collaboration: Commonalities between Taiwan and Japan in the field of community medicine.	Journal of the Chinese Medical Association. 2023 Nov 1;86(11):1037- 1038. doi: 10.1097/JCMA.00000000 00000996. Epub 2023 Sep 15.	Original Article
482	Manabu Murakami , Akiko Takeuchi , Shigeki Jin , Kotaro Matoba	北海道大学医学部 医学教育国際関係セ ンター / 北海道大学医 学部 法医学教室 / 北海道大学病院 齒 科放射線科	Can the "Five Challenges" Overcome the Problem of "Reform Without Change" in Medical Education? Reexamining the "Hidden Curriculum"	Acta medica portuguesa. 2023 Sep 1;36(9):613- 614. doi: 10.20344/amp.20186. Epub 2023 Sep 1.	Original Article
483	Naoya Kinota , Hiroyuki Kameda , Bai Xiawei , Takaaki Fujii , Daisuke Kato , Bunya Takahashi , Ryo Morita , Daisuke Abo , Ryusei Majima , Hiroschi Ishii , Kazuyuki Minowa , Kohsuke Kudo	北海道大学大学院 医学研究院 画像診 断学教室 / 北海道 大学病院 歯科放射 線科 / 北海道大学 病院 放射線診断科 / 札幌市立総合病院 放射線診断科 / 帯 広厚生病院放射線 科 / 北海道大学医 学部生命医科学工 学グローバルセンター	Blockage of CSF Outflow in Rats after Deep Cervical Lymph Node Ligation Observed Using Gd-based MR Imaging.	Magn Reson Med Sci. 2023 May 30. doi: 10.2463/mrms.mp.2023- 0023.	Original Article

484	Liu Y, Sakaguchi N, Iijima M, Islam MRR, Zhang J, Islam R, Yamauti M, Sano H, Tomokiyo A	北海道大学大学院歯学研究院歯科保存学教室	Effects of short-term exposure of chloramine-T solution on the characteristics of light-cured and chemical-cured adhesives.	Polymers (Basel). 2023 Oct 5; 15(19):3995. doi: 10.3390/polym15193995	Original Article
485	Intajak P, Yuan Y, Sakaguchi N, Saikaew P, Eamsaard P, Matsumoto M, Sano H, Tomokiyo A.	北海道大学大学院歯学研究院歯科保存学教室	Effect of Silver Diamine Fluoride on Bonding Performance and Ultra-morphological Characteristics to Sound Dentin	Dent Mater. 2024 Apr;40(4):e24-e32. doi: 10.1016/j.dental.2024.02.020. Epub 2024 Feb 28.	Original Article
486	Zhang J, Liu Y, Xia L, Zhen J, Gao J, Atsushi T.	北海道大学大学院歯学研究院歯科保存学教室	Constructing heterogeneous single-cell landscape and identifying microenvironment molecular characteristics of primary and lymphatic metastatic head and neck squamous cell carcinoma	Comput Biol Med. 2023 Oct;165:107459. doi: 10.1016/j.combiomed.2023.107459.	Original Article

487	Saito T, Hayakawa M, Honma Y, Murashita M, Kato J, Fukui S, Takahashi M, Takahashi Y, Tsuchida T, Mizugaki A, Takauji S, Hayamizu M, Yoshida T, Katabami K, Wada T, Maekawa K:	北海道大学病院 救急科	Variation in coagulation factor activity levels cause discrepancies between activated partial thromboplastin time and anti-Xa activity for heparin monitoring: a retrospective observational study	J Intensive Care•2023年11月	Original Article
488	Itagaki Y, Hayakawa M, Takahashi Y	北海道大学病院 救急科	Treatments for Trauma-Induced Coagulopathy: Protocol for a Systematic Review and Meta-Analysis	JMIR Res Protoc•2023年12月	Original Article

489	<p>Mineji Hayakawa, Takashi Tagami , Daisuke Kudo. Kota Ono, Makoto Aoki, Akira Endo, Tetsuya Yumoto, Yosuke Matsumura, Shiho Irino, Kazuhiko Sekine, Noritaka Ushio, Takayuki Ogura, Sho Nachi, Yuhei Irie, Katsura Hayakawa, Yusuke Ito, Yuko Okishio, Tomohiro Muronoi, Yoshinori Kosaki, Kaori Ito, Keita Nakatsutsumi, Yutaka Kondo, Taichiro Ueda, Hiroshi Fukuma, Yuichi Saisaka, Naoki Tominaga, Takeo Kurita, Fumihiko Nakayama, Tomotaka Shibata . Shigeki Kushimoto</p>	北海道大学病院 救急科	The Restrictive Red Blood Cell Transfusion Strategy for Critically Injured Patients (RESTRIC) trial: a cluster-randomized, crossover, non-inferiority multicenter trial of restrictive transfusion in trauma	J Intensive Care•2023年7月	Original Article
490	Wada T, Gando S:	北海道大学病院 救急科	Phenotypes of disseminated intravascular coagulation.	Epub•2023年9月	Review

491	Takahashi M, Hayakawa M	北海道大学病院 救急科	Electrocardiogram monitoring as a predictor of neurological and survival outcomes in patients with out-of-hospital cardiac arrest: a single-center retrospective observational study	Front Neurol•2023年7月	Original Article
492	Tsuchida T, Takahashi M, Mizugaki A, Wada T	北海道大学病院 救急科	Differences in acute outcomes of suicide patients by psychiatric disorder: Retrospective observational study	Medicine (Baltimore)•2023年9月	Original Article
493	Hayamizu M, Tsuchida T, Honma Y, Mizugaki A, Yoshida T, Saito T, Katabami K, Wada T, Maekawa K, Hayakawa M	北海道大学病院 救急科	Delayed neurologic improvement and long-term survival of patients with poor neurologic status after out-of-hospital cardiac arrest: A retrospective cohort study in Japan	Epub•2023年4月	Original Article

494	Tsuchida T, Hayakawa M	北海道大学病院 救急科	Comparison of results obtained using clot-fibrinolysis waveform analysis and global fibrinolysis capacity assay with rotational thromboelastography	Sci Rep•2024年3月	Original Article
495	Tsuchida T, Hayakawa M	北海道大学病院 救急科	Characterization and Usefulness of Clot-Fibrinolysis Waveform Analysis in Critical Care Patients with Enhanced or Suppressed Fibrinolysis	Thromb Haemost.2024年1月	Original Article
496	Kenichi Katabami, Takashi Kimura, Takumi Hirata, and Akiko Tamakoshi	北海道大学病院 救急科	Association Between Advanced Airway Management With Adrenaline Injection and Prognosis in Adult Patients With Asystole Asphyxia Out-of-hospital Cardiac Arrest	J Epidemiol•2024年1月	Original Article

497	Takayuki Toki, Noriaki Fujita, Tomohiro Ichikawa, Noriki Ochi, Isao Yokota, Hideki Sudo, Yuji Morimoto	麻酔科	Factors affecting transcranial motor-evoked potential measurements using single-train stimulation with an increased number of pulses during adolescent scoliosis surgery: A prospective observational study	Journal of Clinical Medicine, 12(13): 4433; 2023.	Original Article
498	Kenji Yoshitani, Soshiro Ogata, Shinya Kato, Akito Tsukinaga, Tsunenori Takatani, Nobuhide Kin, Mariko Ezaka, Jun Shimizu, Yuko Furuichi, Shoichi Uezono, Kotaro Kida, Katsuhiko Seo, Shinichi Kakumoto, Hiroshi Miyawaki, Mikito Kawamata, Satoshi Tanaka, Manabu Kakinohana, Shunsuke Izumi, Hiroyuki Uchino, Takayasu Kakinuma, Kimitoshi Nishiwaki, Kazuko Hasegawa, Mishiya Matsumoto, Kazuyoshi Ishida, Atsuo Yamashita, Michiaki Yamakage, Yusuke Yoshikawa, Yuji Morimoto, Hitoshi Saito, Takahisa Goto, Tetsuhito Masubuchi, Masahiko Kawaguchi, Kosuke Tsubaki, Satoshi Mizobuchi, Norihiko Obata, Yoshimi Inagaki, Kazumi Funaki, Yoshiki Ishiguro, Masamitsu Sanui, Kazutaka Taniguchi, Kunihiro Nishimura, Yoshihiko Ohnishi	麻酔科	Effect of cerebrospinal fluid drainage pressure in descending and thoracoabdominal aortic repair: a prospective multicenter observational study	Journal of Anesthesia, 37(3):408-415;2023	Original Article

499	Katsuhiko Aikawa , Yuka Uchinami, Yuji Morimoto	麻酔科	Chronological changes in plasma levobupivacaine concentrations after bilateral modified thoracoabdominal nerve block through perichondrial approach	Journal of Anesthesia 37(4): 641-4; 2023	Original Article
500	Takeda Y, Yamamoto M, Hoshino K, Ito YM, Kato N, Wakasa S, Morimoto Y	麻酔科	Changes in Cerebral Hemodynamics During Systemic Pulmonary Shunt and Pulmonary Artery Banding in Infants with Congenital Heart Disease	Pediatr Cardiol. 44(3), 695-701, 2023	Original Article
501	Soejima T, Ueda K, Hasegawa S, Motoe H, Okada K, Ito Y, Hoshino K, Morimoto Y	麻酔科	Change in cerebral circulation during the induction of anesthesia with remimazolam	J Anesth. 37(1) 92-96, 2023	Original Article

502	Kazuyuki Mizunoya, Keisyu Onodera, Yuki Takahashi, Takayuki Toki, Hitoshi Saito, Yuji Morimoto	麻酔科	Acquired laryngomalacia as a cause of post-extubation stridor and extubation failure following craniotomy: a case report	JA Clin Rep 9(1):44;2023	Case report
503	Yasunori Kubo , Tomonori Kubo , Takayuki Toki, Isao Yokota, Yuji Morimoto	麻酔科	Effects of ephedrine and phenylephrine on cerebral oxygenation: observational prospective study using near- infrared time-resolved spectroscopy,	J Clin Monit Comput. 37(5): 1171-7; 2023	Original Article
504	Chiharu KAWAMOTO, Ryotaro YAGO, Mai FUKUYAMA, Toru TANAKA, Hidehiko SANO, Atsushi TOMOKIYO	むし歯科	Development and Clinical Evaluation of Anti-aspiration Gauze Roll Assessment of Water Absorbency and Usability of Gauze Roll—An Exploratory Study	Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology.2023 12,3(1):129-136	Original Article

505	Takahashi-Kobayashi M, Sada KE, Kawashima S, Miyawaki Y, Nakazawa D, Furuichi K, Okada H, Narita I, Usui J.	免疫・代謝内科学教室	Survey of Japanese nephrologists' use of clinical practice guidelines for rapidly progressive glomerulonephritis.	Clin Exp Nephrol. 2024 Apr;28(4):316-324. doi: 10.1007/s10157-023-02441-y. Epub 2023 Dec 28.	Original Article
506	Nomoto H, Kito K, Iesaka H, Handa T, Yanagiya S, Miya A, Kameda H, Cho KY, Takeuchi J, Nagai S, Sakuma I, Nakamura A, Atsumi T.	免疫・代謝内科学教室	Preferable Effects Of Pemaifibrate On Liver Function And Fibrosis In Subjects With Type 2 Diabetes Complicated With Liver Damage.	Diabetol Metab Syndr. 2023 Oct 26;15(1):214.	Original Article
507	Nakamura A, Miya A, Suzuki Y, Nomoto H, Kameda H, Cho KY, Nagai S, Atsumi T.	免疫・代謝内科学教室	Positive association between proinsulin and fatty liver index in people with type 2 diabetes.	Endocr J. 2024 Feb 28;71(2):193-197.	Original Article

508	<p>Sekizaki T, Kameda H, Nakamura A, Kuwabara S, Nomoto H, Cho KY, Ishi Y, Motegi H, Miyoshi H, Atsumi T.</p>	<p>免疫・代謝内科学教室</p>	<p>Neuromedin B receptor as a potential therapeutic target for corticotroph adenomas.</p>	<p>Pituitary. 2023 Oct;26(5):597-610</p>	<p>Original Article</p>
509	<p>Ogawa H, Yokota S, Hosoi Y, Shindo A, Ogawa N, Yamamura R, Shimizu T, Nakade I, Arai S, Taniguchi M, Nishibata Y, Masuda S, Nakazawa D, Tomaru U, Iwasaki N, Ishizu A.</p>	<p>免疫・代謝内科学教室</p>	<p>Methylprednisolone pulse-enhanced neutrophil extracellular trap formation in mice with imiquimod-induced lupus-like disease, resulting in ischaemia of the femoral head cartilage.</p>	<p>Lupus Sci Med. 2023 Dec 28;10(2):e001042</p>	<p>Original Article</p>
510	<p>Nakazawa D, Takeda Y, Kanda M, Tomaru U, Ogawa H, Kudo T, Shiratori-Aso S, Watanabe-Kusunoki K, Ueda Y, Miyoshi A, Hattanda F, Nishio S, Uozumi R, Ishizu A, Atsumi T.</p>	<p>免疫・代謝内科学教室</p>	<p>Inhibition of Toll-like receptor 4 and Interleukin-1 receptor prevent SARS-CoV-2 mediated kidney injury.</p>	<p>Cell Death Discov. 2023 Aug 10;9(1):293. doi: 10.1038/s41420-023-01584-x.</p>	<p>Original Article</p>

511	Furusawa S, Nomoto H, Yokoyama H, Suzuki Y, Tsuzuki A, Takahashi K, Miya A, Kameda H, Cho KY, Takeuchi J, Nagai S, Taneda S, Kurihara Y, Nakamura A, Atsumi T; SWITCH-SEMA 2 study group.	免疫・代謝内科学教室	Glycaemic control efficacy of switching from dipeptidyl peptidase-4 inhibitors to oral semaglutide in subjects with type 2 diabetes: A multicentre, prospective, randomized, open-label, parallel-group comparison study (SWITCH-SEMA 2 study)	Diabetes Obes Metab. 2024 Mar;26(3):961-970.	Original Article
512	Nomoto H, Kito K, Iesaka H, Oe Y, Kawata S, Tsuchida K, Yanagiya S, Miya A, Kameda H, Cho KY, Sakuma I, Manda N, Nakamura A, Atsumi T.	免疫・代謝内科学教室	Favorable effect of pemaifibrate on insulin resistance and β -cell function in subjects with type 2 diabetes and hypertriglyceridemia: a subanalysis of the PARM-T2D study.	Pharmaceutics. 2023 Jun 27;15(7):1838	Original Article
513	Nomoto H, Takahashi Y, Takano Y, Yokoyama H, Tsuchida K, Nagai S, Miya A, Kameda H, Cho KY, Sakuma I, Manda N, Nakamura A, Atsumi T.	免疫・代謝内科学教室	Effect of switching to once-weekly semaglutide on non-alcoholic fatty liver disease: The SWITCH-SEMA 1 subanalysis.	Pharmaceutics. 2023 Aug 20;15(8):2163.	Original Article

514	Shiratori-Aso S, Nakazawa D, Kudo T, Kanda M, Ueda Y, Watanabe-Kusunoki K, Nishio S, Iwasaki S, Tsuji T, Masuda S, Tomaru U, Ishizu A, Atsumi T.	免疫・代謝内科学教室	CD47 blockade ameliorates autoimmune vasculitis via efferocytosis of neutrophil extracellular traps.	JCI Insight. 2023 Aug 8;8(15):e167486. doi: 10.1172/jci.insight.16748 6.	Original Article
515	Ushijima, Natsumi; Akasaka, Tsukasa; Numamoto, Shinichiro; Kudo, Tsubura; Yokoyama, Atsuro	義歯科	In vivo transmission electron microscopy of the alternating structure of the protrusions between adjacent macrophage- like cells on micropatterns	JOURNAL OF ORAL BIOSCIENCES, Sep 2023	Original Article
516	Wang, Anran; Uchida, Kazuki; Yokoyama, Atsuro; Higashino, Fumihiro; Yasuda, Motoaki	義歯科	Human adenovirus oncolytic properties and the inhibitory role of E4 orf4 and E4 orf6/7 on endogenously activated NF- xB	BIOCHEMISTRY AND BIOPHYSICS REPORTS, Mar 2024	Original Article

517	Sakaguchi, Kiwamu; Mehta, Noshir R.; Maruyama, Tomoaki; Correa, Leopoldo P.; Yokoyama, Atsuro	義齒科	Effect of sitting posture with and without sole-ground contact on chewing stability and masticatory performance	JOURNAL OF ORAL SCIENCE, Oct 2023	Original Article
518	Sakaguchi, Kiwamu; Mehta, Noshir R.; Maruyama, Tomoaki; Correa, Leopoldo P.; Yokoyama, Atsuro	義齒科	Effect of masticatory movements on head and trunk sways, and sitting and foot pressure distributions during sitting position	JOURNAL OF ORAL REHABILITATION, Nov 2023	Original Article
519	Hirata, Eri; Takano, Yuta; Konishi, Daisuke; Maeda, Yukari; Ushijima, Natsumi; Yudasaka, Masako; Yokoyama, Atsuro	義齒科	An antibacterial conjugate of carbon nanohorns for NIR-light mediated peri-implantitis treatment	CHEMICAL COMMUNICATIONS, Sep 12 2023	Original Article

520	本庄遼太	周産母子センター	Diagnosis and management of neonatal respiratory distress syndrome in Japan: A national survey	Pediatr Neonatol. 2023 Jan	Original Article
521	<p>Rossari F, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Yoo C, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Masi G, Bergamo F, Amadeo E, Vitiello F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Iavarone M, Cabibbo G, Montes M, Foschi FG, Vivaldi C, Soldà C, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Streup C, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Hiraoka A, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Persano M, Burgio V, Piscaglia F, Scartozzi M, Cascinu S, Casadei-Gardini A, Rimini M</p>	消化器内科	α -FAtE: A new predictive score of response to atezolizumab plus bevacizumab for unresectable hepatocellular carcinoma	Int J Cancer. 2024 Mar 15;154(6):1043-1056	Original Article

522	<p>Rimini M, Persano M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Salani F, Lonardi S, Piscaglia F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Schirripa M, Montes M, Vivaldi C, Soldà C, Hiraoka A, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Steup C, Hiraoka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Burgio V, Scartozzi M, Cascinu S, Casadei-Gardini A</p>	消化器内科	Survival outcomes from atezolizumab plus bevacizumab versus Lenvatinib in Child Pugh B unresectable hepatocellular carcinoma patients.	J Cancer Res Clin Oncol. 2023 Aug;149(10):7565-7577	Original Article
523	<p>Persano M, Rimini M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Masi G, Yoo C, Lonardi S, Tovoli F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Niizeki T, Montes M, Vivaldi C, Soldà C, Stefanini B, Hiraoka A, Sho T, Nishida N, Steup C, Iavarone M, Di Costanzo G, Marra F, Tamburini E, Cabibbo G, Foschi FG, Silletta M, Hiraoka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Campani C, Amadeo E, Rossari F, Burgio V, Cascinu S, Scartozzi M, Casadei-Gardini</p>	消化器内科	Sequential therapies after atezolizumab plus bevacizumab or lenvatinib first-line treatments in hepatocellular carcinoma patients.	.Eur J Cancer. 2023 Aug;189:112933	Original Article

524	<p>Camera S, Rimini M, Rossari F, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Yoo C, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Masi G, Bergamo F, Salani F, Marseglia M, Amadeo E, Vitiello F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Iavarone M, Cabibbo G, Montes M, Foschi FG, Vivaldi C, Lonardi S, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Steup C, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Hiraoka A, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Persano M, Foti S, Piscaglia F, Scartozzi M, Cascinu S, Casadei-Gardini A</p>	消化器内科	Safety and Efficacy of Lenvatinib in Very Old Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma.	Target Oncol. 2024 Jan;19(1):29-39	Original Article
525	<p>Sasaki T, Suda G, Ohara M, Hosoda S, Kawagishi N, Kohya R, Yoda T, Maehara O, Ohnishi S, Yoshida S, Fu Q, Yang Z, Tokuchi Y, Kitagataya T, Suzuki K, Nakai M, Sho T, Natsuizaka M, Komukai S, Ogawa K, Sakamoto N</p>	消化器内科	Recent prevalence and characteristics of patients with hepatitis delta virus in Hokkaido, Japan.	Hepatol Res. 2023 Oct;53(10):960-967	Original Article

526	<p>Kohya R, Suda G, Ohara M, Sasaki T, Yoda T, Sakurai N, Yoshida S, Fu Q, Yang Z, Hosoda S, Maehara O, Ohnishi S, Tokuchi Y, Kitagataya T, Suzuki K, Kawagishi N, Nakai M, Sho T, Natsuizaka M, Ogawa K, Sakamoto N</p>	消化器内科	<p>Potential Correlation between Changes in Serum FGF21 Levels and Lenvatinib-Induced Appetite Loss in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma</p>	<p>Cancers (Basel). 2023 Jun 20;15(12):3257.</p>	Original Article
527	<p>Tahata Y, Hikita H, Mochida S, Enomoto N, Ido A, Kuroda H, Miki D, Kurosaki M, Hiasa Y, Sakamori R, Kawada N, Yamashita T, Suda G, Yatsuhashi H, Yoshiji H, Kato N, Takami T, Nakao K, Matsuura K, Asahina Y, Itoh Y, Tateishi R, Nakamoto Y, Kakazu E, Terai S, Shimizu M, Ueno Y, Akuta N, Miyazaki M, Nozaki Y, Kabayama M, Sobue S, Moriuchi A, Miyaki T, Kodama T, Tatsumi T, Yamada T, Takehara T</p>	消化器内科	<p>Posttreatment liver function, but not baseline liver function stratifies patient survival after direct-acting antiviral treatment in decompensated cirrhosis with hepatitis C virus</p>	<p>J Gastroenterol. 2023 Dec;58(12):1211-1221</p>	Original Article

528	Nakai M, Morikawa K, Sasaki T, Kohya R, Yoshida S, Hosoda S, Kubo A, Tokuchi Y, Kitagataya T, Yamada R, Ohara M, Sho T, Suda G, Ogawa K, Sakamoto N	消化器内科	Neutrophil gelatinase- associated lipocalin predicts the efficacy of tolvaptan for ascites in patients with liver cirrhosis.	J Gastroenterol. 2023 Jul;58(7):656-667	Original Article
529	Hosoda S, Suda G, Sho T, Ogawa K, Kimura M, Yang Z, Yoshida S, Kubo A, Tokuchi Y, Kitagataya T, Maehara O, Ohnishi S, Nakamura A, Yamada R, Ohara M, Kawagishi N, Natsuizaka M, Nakai M, Morikawa K, Furuya K, Baba M, Yamamoto Y, Suzuki K, Izumi T, Meguro T, Terashita K, Ito J, Miyagishima T, Sakamoto N.	消化器内科	Low Baseline CXCL9 Predicts Early Progressive Disease in Unresectable HCC with Atezolizumab Plus Bevacizumab Treatment	Liver Cancer. 2022 Oct 31;12(2):156-170. doi: 10.1159/000527759. eCollection 2023 Jun	Original Article

530	<p>Rimini M, Stefanini B, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Finkelmeier F, Yoo C, Presa J, Amadeo E, Genovesi V, De Grandis MC, Iavarone M, Marra F, Foschi F, Tamburini E, Rossari F, Vitello F, Bartolini L, Soldà C, Tovoli F, Vivaldi C, Lonardi S, Silletta M, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Himmelsbach V, Montes M, Hiraoka A, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Steup C, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Persano M, Camera S, Foti S, Aldrighetti L, Cascinu S, Casadei-Gardini A, Piscaglia F</p>	消化器内科	Impact of body mass index on the prognosis of unresectable HCC patients receiving first-line Lenvatinib or atezolizumab plus bevacizumab.	Liver Int. 2024 May;44(5):1108-1125. doi: 10.1111/liv.15885. Epub 2024 Mar 22.	Original Article
531	<p>Persano M, Rimini M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Masi G, Yoo C, Lonardi S, Pressiani T, Piscaglia F, Kumada T, Rimassa L, Scartozzi M, Cascinu S, Casadei-Gardini A; HCC COLLABORATIVE GROUP</p>	消化器内科	Identification of Atezolizumab Plus Bevacizumab Prognostic Index via Recursive Partitioning Analysis in HCC: The ABE Index.	Anticancer Res. 2023 Apr;43(4):1599-1610	Original Article

532	Tokuchi Y, Suda G, Kawagishi N, Ohara M, Kohya R, Sasaki T, Yoda T, Maehara O, Ohnishi S, Kubo A, Yoshida S, Fu Q, Yang Z, Hosoda S, Kitagataya T, Suzuki K, Nakai M, Sho T, Natsuzaka M, Ogawa K, Sakamoto N	消化器内科	Hepatitis C virus eradication by direct-acting antivirals causes a simultaneous increase in the prevalence of fatty liver and hyper low-density lipoprotein cholesterolemia without an increase in body weight	Hepato Res. 2023 Jul;53(7):595-606	Original Article
533	Ohara M, Suda G, Kohya R, Sasaki T, Yoda T, Yoshida S, Fu Q, Yang Z, Hosoda S, Maehara O, Ohnishi S, Tokuchi Y, Kitagataya T, Kawagishi N, Nakai M, Sho T, Natsuzaka M, Ogawa K, Sakamoto N	消化器内科	Coexistence of muscle atrophy and high subcutaneous adipose tissue radiodensity predicts poor prognosis in hepatocellular carcinoma	Front Nutr. 2023 Oct 6;10:1272728	Original Article

534	<p>Persano M, Rimini M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Rimassa L, Presa J, Masi G, Yoo C, Lonardi S, Tovoli F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Pressiani T, Kawaguchi T, Montes M, Vivaldi C, Soldà C, Piscaglia F, Hiraoka A, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Steup C, Iavarone M, Di Costanzo G, Marra F, Scartozzi M, Tamburini E, Cabibbo G, Foschi FG, Silletta M, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Cammarota A, Burgio V, Cascinu S, Casadei-Gardini A.</p>	消化器内科	Clinical outcomes with atezolizumab plus bevacizumab or lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma: a multicenter real-world study	J Cancer Res Clin Oncol	Original Article
535	Ishizu H, Shimizu T, Ohashi Y, Kusunoki K, Kanayama M, Iwasaki N, Oha F.	整形外科	Zinc improves Denosumab and eldelcalcitol efficacy for bone mineral density in patients with hypozincemia	J Bone Miner Metab. 2024 Mar;42(2):233-241. doi: 10.1007/s00774-024-01498-3.	Original Article

536	Shimizu T, Miyazaki T, Yokota S, Ishizu H, Takahashi D, Iwasaki N.	整形外科	Effect of longer femoral head on leg length, offset, and range of motion in total hip arthroplasty: a simulation study	Sci Rep. 2024 Jan 21;14(1):1829. doi: 10.1038/s41598-024-52264-4.	Original Article
537	Yanagisawa N, Matsuoka M, Onodera T, Iwasaki K, Hamasaki M, Ebata T, Hosokawa Y, Kondo E, Iwasaki N.	整形外科	Amputation surgery associated with shortened survival in patients with localized extremity bone sarcoma	J Orthop. 2024 Mar 18;54:124-130. doi: 10.1016/j.jor.2024.03.017.	Original Article
538	Tomoka Shima , Noriyuki Fujima , Shigeru Yamano , Hiroyuki Kameda , Masaaki Suzuka , Akiko Takeuchi , Kinoshita Yurika , Iwai Nanami , Kohsuke Kudo, Kazuyuki Minowa	北海道大学病院 歯科放射線科	Non-Gaussian model-based diffusion-weighted imaging of oral squamous cell carcinoma: associations with Ki-67 proliferation states	Oral Radiology. 2023.Mar 27.doi: 10.1007/s11282-023-00682-x.	Original Article

539	Hiroyuki Kameda , Yumi Nakada , Yuta Urushibata , Hiroyuki Sugimori , Takaaki Fujii , Naoya Kinota , Daisuke Kato , Minghui Tang , Keita Sakamoto , Kohsuke Kudo	北海道大学病院 放 射線診断科	Imaging of 17O-labeled Water Using Fast T2 Mapping with T2-preparation: A Phantom Study.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine.2024 Mar 15. doi: 10.2463/mrms.tn.2023- 0152.	Original Article
540	Akiko Takeuchi , Hideki Hyodoh , Shigeki Jin , Satoshi Tanaka , Manabu Murakami , Kazuyuki Minowa , Kotaro Matoba	北海道大学医学部 死因究明センター	Objective Evaluation of Oral and Pharyngeal Areas in Autopsy Cases of Obstructive Sleep Apnea Syndrome via Postmortem CT.	Curr Med Imaging. 2023 Mar 28. doi: 10.2174/15734056206662 30328082804. Online ahead of print.	Original Article
541	Tsuneta S, Suno K, Fujieda Y, Watanabe M, Watanabe S, Hirata K, Nagai T, Kudo K.	北海道大学大学院 歯学研究院 放射線 学教室	Accumulation of Technetium- 99m Tetrofosmin on Myocardial Perfusion Scintigraphy in a Patient With Immunoglobulin G4-Related Coronary Periarteritis.	Canadian Journal of Cardiology. 2024 Mar,40(3):450-451. doi: 10.1016/j.cjca.2023.10.02 1. Epub 2023 Oct 29.	Case report

542	Noriyuki Fujima , Junichi Nakagawa ,Hiroyuki Kameda , Yohei Ikebe , Taisuke Harada , Yukie Shimizu , Nayuta Tsushima , Akihiro Homma , Jihun Kwon , Masami Yoneyama ,Kohsuke Kudo	北海道大学病院 放射線診断科	Improvement of image quality in diffusion-weighted imaging with model-based deep learning reconstruction for evaluations of the head and neck.	MAGMA. 2023 Nov 21. doi: 10.1007/s10334-023-01129-4.	Original Article
543	[Masanori Iwasaki,Maki Shirobe,Keiko Motokawa,Misato Hayakawa,Kazuhito Miura,Lena Kalantar,Ayako Edahiro,Hisashi Kawai,Yoshinori Fujiwara,Kazushige Ihara,Yutaka Watanabe,Shuichi Obuchi,Hirohiko Hirano]	予防歯科	Validation of self-reported articulatory oral motor skill against objectively measured repetitive articulatory rate in community-dwelling older Japanese adults: The Otassha Study	Geriatrics & Gerontology International	Original Article
544	[Masanori Iwasaki,Maki Inoue,Michihiko Usui,Wataru Ariyoshi,Keisuke Nakashima,Yoshie Nagai- Yoshioka,Tatsuji Nishihara]	予防歯科	The association between trypsin-like protease activity in the oral cavity and kidney function in Japanese workers.	Journal of Clinical Periodontology	Original Article

545	[Masanori Iwasaki,Keiko Motokawa,Maki Shirobe,Misato Hayakawa,Yuki Ohara,Yoshiko Motohashi,Ayako Edahiro,Hisashi Kawai,Yoshinori Fujiwara,Yasuyuki Sakata,Kazushige Ihara,Yutaka Watanabe,Shuichi Obuchi,Hirohiko Hirano]	予防歯科	Serum levels of vitamin D and periodontal inflammation in community-dwelling older Japanese adults: The Otassha Study	Journal of Clinical Periodontology	Original Article
546	[Masanori Iwasaki,Maki Shirobe,Keiko Motokawa,Tomoki Tanaka,Kazunori Ikebe,Takayuki Ueda,Shunsuke Minakuchi,Masahiro Akishita,Hidenori Arai,Katsuya Iijima,Hiroyuki Sasai,Shuichi Obuchi,Hirohiko Hirano]	予防歯科	Prevalence of oral frailty and its association with dietary variety, social engagement, and physical frailty: Results from the Oral Frailty 5-Item Checklist.	Geriatrics & gerontology international	Original Article
547	[Misuzu Sato, Sachiko Ono, Hayato Yamana, Akira Okada, Miho Ishimaru, Yosuke Ono, Masanori Iwasaki, Jun Aida, Hideo Yasunaga]	予防歯科	Effect of periodontal therapy on glycaemic control in type 2 diabetes.	Journal of Clinical Periodontology	Original Article

548	[Masanori Iwasaki,Akihiro Yoshihara,Kana Suwama,Takashi Zaitso,Seitaro Suzuki,Hikaru Ihira,Norie Sawada,Jun Aida]	予防歯科	A cross-sectional study of the association between periodontitis and physical activity in the Japanese population	Journal of Periodontal Research	Original Article
549	Yuya Hirano, Noriyuki Fujima, Kinya Ishizaka,Takuya Aoike,Junichi Nakagawa,Masami Yoneyama,and Kohsuke Kudo	放射線部	Utility of Echo Planar Imaging With Compressed Sensing-Sensitivity Encoding (EPICS) for the Evaluation of the Head and Neck Region	Cureus. 2023;16:e54203	Original Article
550	Yoshimura T, Yamada R, Kinoshita R, Matsuura T, Kanehira T, Tamura H, Nishioka K, Yasuda K, Taguchi H, Katoh N, Kobashi K, Hashimoto T, Aoyama H	放射線部	Probability of normal tissue complications for hematologic and gastrointestinal toxicity in postoperative whole pelvic radiotherapy for gynecologic malignancies using intensity-modulated proton therapy with robust optimization	Journal of Radiation Research. 2024;65:369-378.	Original Article

551	Maeda T, Ishikawa K, Oda Y, Kano S, Tsushima N, Sakashita T, Homma A, Yamamoto Y, Funayama E:	形成外科	Utility of color Doppler ultrasonography in monitoring of a free jejunal flap.	Laryngoscope 133: 3361-3369, 2023	Original Article
552	Maeda T, Yamamoto Y, Hayashi T, Furukawa H, Ishikawa K, Miura T, Hojo M, Funayama E:	形成外科	Restoration of lymph flow by flap transfer can prevent severe lower extremity lymphedema after inguinal-pelvic lymphadenectomy.	Surg Today 53: 588-595, 2023	Original Article
553	Ishikawa K, Sasaki S, Furukawa H, Maeda T, Miura T, Sasaki Y, Yamamoto Y, Funayama E:	形成外科	Effectiveness and safety of percutaneous sclerotherapy using absolute ethanol and/or polidocanol for maxillofacial venous malformations involving the masticatory muscles: A case series.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol 135: 355-362, 2023	Original Article

554	Miura T, Yamamoto Y, Funayama E, Ishikawa K, Maeda T:	形成外科	Development of a simultaneous and noninvasive measuring method using high-frame rate videography and motion analysis software for the assessment of facial palsy recovery in a rat model.	J Plast Reconstr Aesthet Surg 82: 211-218, 2023	Original Article
555	Hoshino Y, Osawa M, Funayama E, Ishikawa K, Miura T, Hojo M, Yamamoto Y, Maeda T: T	形成外科	Therapeutic Potential of the Prolyl Hydroxylase Inhibitor Roxadustat in a Mouse Hindlimb Lymphedema Model	. Lymphat Res Biol 21: 372-380, 2023	Original Article
556	Sasaki Y, Ishikawa K, Hatanaka KC, Oyamada Y, Sakuhara Y, Shimizu T, Saito T, Murao N, Onodera T, Miura T, Maeda T, Funayama E, Hatanaka Y, Yamamoto Y, Sasaki S:	形成外科	Targeted next-generation sequencing for detection of PIK3CA mutations in archival tissues from patients with Klippel-Trenaunay syndrome in an Asian population.	Orphanet J Rare Dis 18: 270, 2023	Original Article

557	Maeda T, Yamamoto Y, Satoh A, Hayashi T:	形成外科	Refinements in the reconstruction of bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw.	JPRAS Open 35: 1-5, 2023	Case Reports
558	Sasaki Y, Ishikawa K, Miura T, Funayama E, Yamamoto Y, Maeda T:	形成外科	Partially involuting congenital hemangioma with pyogenic granuloma-induced rapid progression following incisional biopsy in infancy: A case report.	Clin Case Rep 11: e7941, 2023	Case Reports
559	Sasaki Y, Sakuhara Y, Sasaki S, Maeda T, Yamamoto Y, Ishikawa K:	形成外科	Intranodal lymphangiography with lipiodol as a diagnostic and therapeutic approach for spontaneous cervical chyle leak.	Clin Case Rep 11: e8161, 2023	Case Reports

560	Yamashita A, Kusajima EG, Honda S, Kimura C:	形成外科	A case of repeated injuries leading to a diagnosis of classical Ehlers-Danlos syndrome.	Int J Surg Wound Care 4: 146-149, 2023	Case Reports
-----	--	------	--	---	--------------

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準拠すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「国立大学法人北海道大学における人を対象とする生命科学・医学系研究に関する規程」に基づき、「北海道大学病院生命・医学系研究倫理審査委員会内規」及び「北海道大学病院生命・医学系研究倫理審査委員会標準業務手順書」を整備し、当倫理審査委員会の運営手続き等について定めている。 手順書は総則、審査委員会設置者の責務等、生命・医学系研究倫理審査委員会の役割・責務等、生命・医学系研究倫理審査委員会事務局の各章から構成され、「ヘルシンキ宣言」の趣旨に添い人を対象とする生命科学・医学系研究を審議するための手順を規定している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反ポリシー」及び「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反マネジメント内規」を整備し、本院において実施する臨床研究に係る利益相反の適切な管理、審査及び指導等について必要な事項を定めている。	

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回
---------------------------------------	------

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年5回
<p>・研修の主な内容</p> <p>【タイトル】 臨床研究の倫理と計画 ～倫理審査の視点から～ 【目的】 特定臨床研究を実施する際に必要となる知識に関する教育 【対象者】 特定臨床研究実施する者および支援するもの 【研修時間】 1時間30分 【研修内容】 ・ 倫理指針の復習 ・ 臨床研究の倫理 ・ 臨床研究事務局の視点 【実施日】 2023年4月20日</p> <p>【タイトル】 遺伝医療と医療倫理 【目的】 特定臨床研究を実施する際に必要となる知識に関する教育 【対象者】 特定臨床研究を支援する者および実施する者 【研修時間】 1時間 【研修内容】 ・ 倫理とは ・ 倫理委員会とガイドライン ・ 二次的所見の取り扱い ・ 出生前遺伝学的検査に関する倫理 ・ 遺伝差別について 【実施日】 2023年5月9日</p> <p>【タイトル】 臨床研究・治験従事者研修 【目的】 臨床研究・治験を適正に実施することのできる人材の養成 【対象者】 医療機関において臨床研究・治験に係る業務を行っている、若しくは今後行う予定があり、今後も継続して臨床研究・治験業務を遂行できる医師・歯科医師など 【研修時間】 7時間 【研修内容】 ・ 研究倫理、利益相反、PPI ・ 生命科学・医学系研究指針、臨床研究法 ・ スタディデザイン、生物統計 ・ プロトコールに関連するICHガイドライン 【実施日】 2023年9月15日</p> <p>【タイトル】 治験・倫理審査委員会委員研修 【目的】 臨床研究を倫理性、科学性、信頼性の側面から適正に審査する人材の養成 【対象者】 臨床研究倫理審査委員会、治験審査委員会の委員、事務局関係者（臨床研究支援業務に従事する方を含む） 【研修時間】 7時間 【研修内容】 ・ デイオバン事件から省みる研究倫理</p>	

- ・生命科学・医学系研究指針、臨床研究法
- ・患者や家族、ボランティアの視点からみる臨床研究への参加
- ・研究者と委員・事務局の両者の立場から考える、良い臨床研究とは？

【実施日】 2023年10月20日

【タイトル】 研究倫理の近年の動向

【目的】 特定臨床研究を実施する際に必要となる知識に関する教育

【対象者】 特定臨床研究を実施する者および支援するもの

【研修時間】 1時間30分

【研修内容】

- ・狭義の研究倫理（研究対象者の保護）
- ・広義の研究倫理（研究公正全般）
- ・症例報告の倫理と規制
- ・二重投稿・二重出版の問題

【実施日】 2024年3月14日

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院は、北海道大学の教育・研究機関として、良質な医療を提供すると共に、優れた医療人を育成し、先進的な医療の開発と提供を通じて社会に貢献することを理念として掲げています。

初期臨床研修医のほか、各領域の後期研修医（専攻医）や専門医・指導医資格取得者、さらに国外の医師免許取得者（臨床修練医）に対する高度医療技術の維持・習得を目指し、様々な研修を行っています。教育資源としては、大学病院に特有の稀少症例や難治症例に加えて、北海道内の関連病院と連携して多様な臨床経験ができる様、各領域で研修体制を整備しています。このような体制のもと、全人的な診療能力を有する専門医を育成するとともに、リサーチマインドを涵養するため、大学院での研究活動を推奨し、新たな診断治療法の開発をすすめています。

平成30年度から新専門医制度が導入され、当院では総合診療科を除く18の基本領域において基幹施設として研修専門委員会を設置し、専門医制度整備指針に則って専門研修プログラムを取りまとめました。初期臨床研修修了後は、各科専門研修プログラムに沿って、当院および研修連携施設において臨床研修を行って所定の修了要件を満たしますと、各基本領域の専門医資格試験を受験することが可能になります。尚、専門研修プログラムは、女性医師など専攻医の多彩な背景やニーズを考慮して多様な研修が行える様、配慮されています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	723人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
豊嶋 崇徳	血液内科	教授	39年	内科
真部 淳	小児科	教授	40年	小児科
氏家 英之	皮膚科	教授	22年	皮膚科
橋本 直樹	精神科神経科	准教授	23年	精神科
平野 聡	消化器外科Ⅱ	教授	36年	外科
須藤 英毅	整形外科	特任教授	25年	整形外科
渡利 英道	婦人科	教授	34年	産婦人科
石田 晋	眼科	教授	33年	眼科
本間 明宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	35年	耳鼻咽喉科
安部 崇重	泌尿器科	准教授	28年	泌尿器科
藤村 幹	脳神経外科	教授	30年	脳神経外科
工藤 與亮	放射線診断科	教授	30年	放射線科
森本 裕二	麻酔科	教授	38年	麻酔科
田中 伸哉	病理診断科	教授	34年	病理
安本 篤史	検査・輸血部	助教	20年	臨床検査 (H31～R6年度受入休止)
早川 峰司	救急科	准教授	27年	救急
山本 有平	形成外科	教授	40年	形成外科
向野 雅彦	リハビリテーション科	教授	22年	リハビリテーション

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
別紙のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
別紙のとおり
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
別紙のとおり

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

I 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名 等	目 的 等		
1	1年目研修 (GW) ・ (講義)	看護専門職者として、自覚と責任ある行動がとれるための自己の課題を見いだせる	年1回	86名
2	2年目看護職員からのビデオメッセージ	身近な先輩の体験談を聞き、新しい環境に慣れ、看護師として成長するためのヒントが得られる	年1回	94名
3	2年目フィジカルアセスメント研修	フィジカルアセスメントに基づき、他者と協働して患者に安全・安心なケアを提供する	年1回	78名
4	3年目研修 I (GW)	3年目の果たす役割を明確にし、看護に対する自己啓発ができる	年1回	69名
5	3年目研修 II (GW) ・ (講義)	事例を事例検討としてまとめることで、自身の看護実践を内省し実践に結び付けることができる	年1回	66名
6	医療情報システム操作訓練	医療情報システムについて理解する	年1回	94名
7	がん看護エキスパートナース養成プログラム「エキスパート養成コース」 (全7回)	院内認定がん看護エキスパートナース養成	年7回	2名
8	がん看護エキスパートナース養成プログラム「ベーシックコース」 (全17回)	院内認定がん看護エキスパートナース養成	年間計17回	計361名
9	看護過程研修	看護過程を展開する能力を高め患者患者参加型看護の実践ができる 看護過程を展開する能力を高め、看護実践の一連の過程を記録できる	年1回	68名
10	看護管理研修 (講義) (全3回)	部署の強みや目標を論理的に分析し、チームメンバーと協働して課題解決のための実践ができる	年1回	9名
11	看護部新人オリエンテーション	学習・啓蒙目的	年1回	102名
12	看護倫理研修 (GW) ・ (講義)	チーム医療の中で患者の権利擁護者としての看護師の役割を理解し倫理的視点に基づいて看護実践を行う能力を高める	年1回	38名
13	既卒新任看護職員のためのピアサポートの会	既卒新任看護職員同士が交流でき、それぞれの思いや悩みを共有し相互支援できる	年1回	6名
14	静脈注射エキスパート認定研修	静脈注射に関する高度な知識・技術を持つ静脈注射エキスパートを育成する	年1回	25名
15	職場復帰プログラム①「育児復帰前オンライン交流会」	育児と仕事の両立を図り今後の働き方、キャリアプランを考える機会となる	年1回	15名
16	職場復帰プログラム②「医療安全」「感染管理」「労務管理」「キャリアデザイン」	育児と仕事の両立を図り今後の働き方、キャリアプランを考える機会となる	年1回	33名
17	新規採用者合同研修 (接遇)	接遇とコミュニケーション、チーム医療とプロフェッショナリズムについて講義、演習を通して学ぶ	年1回	165名
18	新規採用者多職種合同研修 (臨床倫理研修)	医療職者として、臨床倫理の重要性を認識し患者・家族と行われている医療の倫理的問題について正しく共有する	年1回	165名
19	新人看護職員研修 (救命救急処置)	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	90名
20	新人看護職員研修 (注射)	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	94名
21	新人看護職員研修 (輸液ポンプ・シリンジポンプ)	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	94名
22	新人看護職員補充研修	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年6回	470名
23	新人看護職員研修 (採血と検体の取り扱い)	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	94名
24	新人看護職員研修 (廃用症候群予防・関節可動域訓練 呼吸理学療法 (体位ドレナージ))	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	85名
25	新任看護職等「重症度、医療・看護必要度」研修	重症度、医療・看護必要度について理解し、評価できる	年1回	104人
26	多重課題研修	助言や指導を受けながら多重課題に対応する	年1回	82名
27	認知症看護実践力向上研修	認知症看護の実践能力を高める	年1回	33名
28	フィジカルアセスメント研修	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を演習で学ぶ	年1回	88名
29	プリセプター研修	育児休業者が最近の医療・看護の動向を理解し、実践を学ぶことで円滑に職場復帰ができるように支援する	年1回	53名
30	北海道大学病院看護部新任職員オリエンテーション	看護部理念・看護者の責務・組織運営・人材育成・看護業務について理解する	年1回	94名
31	末梢静脈注射留置針研修 (講義)	院内の看護師に対する末梢静脈留置針挿入教育プログラムの標準化を図り、看護師が末梢静脈留置針を安全に挿入できる	年1回	94名
32	末梢静脈注射留置針試験	院内の看護師に対する末梢静脈留置針挿入教育プログラムの標準化を図り、看護師が末梢静脈留置針を安全に挿入できる	年1回	87名

33	夜間看護補助者オリエンテーション	学習・啓蒙目的	年1回	2名
34	リーダー研修(講義)・(GW)	看護チームにおけるリーダーの役割を理解しリーダーシップを発揮できる	年1回	43名
35	医師事務作業補助研修会	加算要件の指定研修	年1回	19名
36	育児短時間者職場復帰プログラム	育児休業から職場復帰する看護職への支援体制についての情報提供	年1回	33名
37	院内学級感染対策講習会	学習・啓蒙目的	年3回	22名
38	看護助手研修	チーム医療における看護助手の役割を理解し、実践できる	年1回	118名
39	看護補助者研修	学習・啓蒙目的	年1回	13名
40	指導看護師養成研修「ベーシックコース」	実習指導や新人看護師教育のリーダーとして部署内教育に参画し、看護実践教育を行う人材を養成する	年1回	10名
41	新入看護職員オリエンテーション	学習・啓蒙目的	年4回	合計7名
42	静脈注射エキスパート更新試験		年1回	50名
43	静脈注射エキスパート認定試験(実技)・(筆記)	静脈注射に関する高度な知識・技術を持つ静脈注射エキスパートを育成する	年1回	25名
44	外注職員清掃作業員教育	学習・啓蒙目的	年2回	72名
45	専門領域別研修会	学習・啓蒙目的	年3回	28名
46	北海道大学病院 看護師特定行為研修	北海道大学病院は、地域における高度急性期医療から在宅医療までを支える人材を育成し、社会に貢献するために、的確な判断のもとに安全な医療・看護を提供できる看護師である特定行為研修修了者を養成する。	年1回	2名
47	夜間看護補助者オリエンテーション	学習・啓蒙目的	年1回	4名
48	倫理事例検討会「皆で深めよう倫理的推論」	他者の価値観を理解し倫理的行動をとることができる	年1回	29名
49	医事課医師事務作業補助員研修	初心者研修	年間計17回	38名
50	2023年第2回臨床検査セミナー 「研究、学会発表、論文投稿の基本(考え方、進め方など)について」 村上 聡(アボットジャパン合同会社 医学統括・品質薬事本部 医学統括部)	研究の啓蒙	年1回	50名
51	2023年第3回QMS勉強会「外部精度管理規定の改訂ポイントについて」和田 妙子	規定の理解度向上	年1回	94名
52	2023年第4回QMS勉強会「2023年定期・臨時内部監査報告」小栗 聡	ISO15189の理解度向上	年1回	84名
53	2023年第5回QMS勉強会「第10回サーベイランス(S10)是正処置」品質管理室	第10回サーベイランス是正処置の周知	年1回	115名
54	BLS演習	BLS基礎知識の習得・演習体験	年1回	9名
55	HPVワクチンに関する講演会	HPVワクチンについて正しく理解する	年1回	48名
56	KYT学習会	KYTについて基本知識の習得	年1回	30名
57	R5(2023)年度部内BLS/AED講習会「2023年度検査・輸血部BLS/AED講習会」西野 久雄	BLS/AEDの対応	年1回	74名
58	医療技術部全体研修	再開発に向け経営を学ぶ	年1回	173名
59	がん治療 周術期管理セミナー	がん治療化学療法前の口腔管理を目的とした治療及び治療計画の作成(チーム医療含む)等理解を深める	年1回	30名
60	基礎学習会 「組み立て」編、「洗浄」編、「滅菌」編(全3回)	組み立て業務の基礎知識の習得	年1回	28名
61	検査・輸血部定期勉強会 「VVR発生時の対応、災害時の避難誘導」 山本雅史、村上望	採血室におけるVVR、避難誘導	年1回	60名
62	検査・輸血部定期勉強会 「検査・輸血部 図書管理手順書:0-00-mn1-6」改版に伴う説明 工藤 悠輔	手順書改版に伴う説明	年1回	54名
63	検査・輸血部定期勉強会「個人情報管理」高橋 香代子	個人情報管理の周知徹底	年1回	72名
64	検査・輸血部定期勉強会 「新型コロナウイルス感染者でのトロポニン測定の意義」 藤井 聡	新型コロナウイルス感染者対応	年1回	53名

65	検査・輸血部定期勉強会 「わいせつ・ストーカー」対応に関するビデオ上映会 山下 直樹	「わいせつ・ストーカー」対応	年1回	56名
66	検査・輸血部定期勉強会 「針刺し・切創及び皮膚・粘膜曝露発生時の対応」 瀧 圭介	針刺し・粘膜曝露時の対応	年1回	60名
67	検査・輸血部予行会 「Alinity i を用いた新規第三世代TRAb測定試薬の基礎的検討」 菊地 菜海	学会発表に向けた予行発表	年1回	45名
68	検査・輸血部予行会 「気管支喘息患者における新旧基準による気管支拡張薬反応性に影響する因子の検討」 表原 里実	学会発表に向けた予行発表	年1回	52名
69	検査・輸血部予行会 「適応型ノイズ除去フィルタを用いた臍臓の超音波画質向上の検討」 岩井 孝仁 「小児ハーゲットリンパ腫による腸重積の化学療法による治療効果を経過観察し得た症例」 表原 里実	学会発表に向けた予行発表	年1回	49名
70	検査・輸血部予行会 「北海道大学病院版Rapid AST in bloodcultures(RAST)でのStaphylococcus属のセフォキシチン (CFX) 阻止円径は微量液体希釈法のメチシリン感受性を予測可能か」 福元 達也	学会発表に向けた予行発表	年1回	47名
71	検査・輸血部定期勉強会 「La-vialat QM → Caresphere QMの変更箇所について」 神林 真依 (シスメックス株式会社 日本・東アジア地域本部 ICT営業推進部)	品質管理システム変更に伴う説明	年1回	85名
72	新任リスクマネージャー集合講習会	新任リスクマネージャーが知っておいてほしいこと、医療安全に関する知識と体制、役割	年1回	33名
73	プログラム医療機器の薬事規制概要	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構職員研修会	年1回	68名
74	メンタルヘルス研修会	心と体のセルフケアについて学ぶ	年1回	215
75	医療安全に関する講演会	北海道大学病院医療安全の日 講演会	年2回	154名
76	検査・輸血部定期勉強会「神経損傷疑い(等)に対する医療安全報告作成手順」山本 雅史	採血時の神経損傷疑い(等)への対応	年1回	72名
77	検査・輸血部予行会 「HLA不適合造血幹細胞移植における高感度HLA交差適合試験法の有用性の検討」 櫻澤 貴代	学会発表に向けた予行発表	年1回	47名
78	検査・輸血部予行会「IgG4-IgE複合体によるIgE測定への影響」中野 恵一	学会発表に向けた予行発表	年1回	46名
79	検査・輸血部予行会「UV-C照射を用いた薬剤耐性菌に対する紫外線殺菌効果の検討」瀧 圭介	学会発表に向けた予行発表	年1回	44名
80	検査・輸血部予行会「ハイブリッド視察によるI&A受審を経験して」伊藤 誠	学会発表に向けた予行発表	年1回	40名
81	検査・輸血部予行会「空調故障が血清鉄の測定に影響を及ぼした事例」南 静菜	学会発表に向けた予行発表	年1回	43名
82	検査・輸血部予行会「抗トロポニンI抗体 vs. 抗トロポニンT抗体の存在様式と出現頻度」中野 恵一	学会発表に向けた予行発表	年1回	41名
83	検査・輸血部予行会「心エコー検査を契機に見えられた先天性心膜欠損症の1例」柳 裕介	学会発表に向けた予行発表	年1回	36名
84	腰痛予防研修会	腰痛予防におけるセルフケア方法や介助のコツについての知識を習得する	年1回	88名
85	症例コンサルテーションとミニセミナー「精巣腫瘍の病理診断の基本概念」	診断病理に関する知識修得	年1回	23名
86	専門領域に関する研修	人工呼吸器安全管理講習会I基礎課程 I-1, I-2, I-3 (1)、BLS/AED講習会、人工呼吸器安全管理講習会、医療機器に関する研修等	計9回	203名
87	医療安全管理部感染制御合同講演会	2022年度のインシデントを振り返って個人情報保護について	年2回	合計5812名
88	令和5年度歯科第二診療室救急シミュレーション	緊急時の対応の研修	年1回	20名
89	令和5年度北海道大学病院初任職員オリエンテーション	学習・啓蒙目的	年1回	98名

2 業務の管理に関する研修の実施状況

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名	目 的 等		
1	医療技術部管理者研修	自衛消防組織について学ぶ	年1回	52名
2	副看護師長研修	組織における副看護師等としての役割を体験を通じて理解する	年1回	71名
3	新任看護師長研修①	看護師長の役割が理解できる	年1回	3名
4	新任看護師長研修②	看護師長に求められるスキルを高め看護管理者としての役割を發揮できる	年3回	3名
5	新任看護師長研修③	看護師長に求められるスキルを高め看護管理者としての役割を發揮できる	年2回	3名
6	新任リスクマネージャー集合講習会	新任リスクマネージャーが知っておいてほしいこと、医療安全に関する知識と体制、役割	年1回	33名

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 渥美 達也
管理担当者氏名	総務課長 医事課長 医療支援課長 薬剤部長

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・病院日誌は総務課にて保管管理。 ・診療録を病院外に持ち出す際の取扱いについては、「北海道大学病院における個人情報管理に関するガイドライン」を定め、個人が特定できる情報については、個人情報保護管理区域外への一切の持出しを禁止し、相当程度に個人の特定が困難な情報については、保護管理者への届出を行った上でパスワードロックを用いた媒体でのみ持ち出しを許可している。 ・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。 ・平成22年に電子カルテを導入し、それ以前の紙カルテについては、5年間の保存期間を設けて診療録管理室にて保管している。また、紙媒体で生成される説明承諾書等については、スキャンして電子カルテに取込み、かつ、原本も保管している。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療録管理室	
		看護記録	診療録管理室	
		検査所見記録	診療録管理室	
		エックス線写真	診療録管理室	
		紹介状	診療録管理室	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録管理室	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各課において適切に保管している。
		高度の医療の提供の実績	医事課、経営企画課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、経営企画課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	経営企画課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課、薬剤部	
	規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	適切に保管している。

		医療に係る安全管理のための委員会 の開催状況	医療支援課	
		医療に係る安全管理のための職員 研修の実施状況	医療支援課	
		医療機関内における事故報告等 の医療に係る安全の確保を目的 とした改善のための方策の状況	医療支援課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課	適切に保管している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療支援課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療支援課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療支援課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療支援課	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療支援課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療支援課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療支援課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療録管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療支援課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		監査委員会の設置状況	医療支援課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療支援課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療支援課
		職員研修の実施状況	医療支援課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課、経営企画課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 壬生 篤志
閲覧担当者氏名	総務課長補佐 今野 日出男
閲覧の求めに応じる場所	総務課事務室
閲覧の手続の概要 利用者は必要に応じ、文書により閲覧責任者に閲覧を申し出、閲覧担当者は閲覧責任者に確認のうえ閲覧に応じる。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方 2. 医療に係る安全管理のための委員会等に関する組織の基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本的事項 4. 医療機関における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者等からの相談に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有）</p> <p>・ 開催状況：年12回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理上の問題が発生した場合の対応ならびに原因究明のための調査および分析に関すること 2. 医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案および実施に関すること 3. 医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関すること 4. 医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握および必要に応じた方策の見直しに関すること 5. 医療安全に関わる職員の教育・研修に関すること 6. 医療事故報告等に関する改善のための方策に関すること 7. その他医療事故等に関すること 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年4回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全に関する講演会 「採血・穿刺時の神経損傷予防」（2019年度講演会の録画） ・ 受講方法：エルゼビア社のeラーニングツール「Safety Plus」による受講 2. 医療安全・感染管理に関する講習会（必修研修） 「2022年度のインシデントを振り返って」，「北海道大学における個人情報管理」， 「COVID-19 5類化をどう迎えるか」，「抗菌薬適正使用について」 ・ 受講方法：対象者を制限した集合形式、エルゼビア社のeラーニングツール「Safety Plus」による受講 3. 医療安全・感染管理に関する講習会（必修研修） 「患者確認と指さし呼称」，「BLS/AED講習」， 「COVID-19 5類化を振り返って」，「抗菌薬適正使用について」 ・ 受講方法：エルゼビア社のeラーニングツール「Safety Plus」による受講 4. 医療安全の日講演会 「医療における質と安全～手術医学から考えてみる～」 ・ 受講方法：全職員を対象とした集合形式、エルゼビア社のeラーニングツール「Safety Plus」による受講 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)

・ その他の改善のための方策の主な内容:

1. 報告書に伴う問題点の把握方法(各部署,安全管理部門の問題点の認識)インシデント報告に関する分析からフィードバックまでの対応(職員への周知と再発防止)

1) 専任リスクマネジャー(GRM)が当該リスクマネジャー(RM)へ事実確認を行い,報告内容の監査・分析を行い,問題事例や有害事象の場合は,当該RMとの検討,患者の影響度,患者への対応状況などを協議し対応している。

2) レベル3bの有害事象の場合は,当該部署のRMに当該部署として検討を行った結果と再発防止策について,事例報告書として詳細報告を要請し,事例報告書に基づき原因・起因を分析し,病院長に報告している。

3) レベル4,5の有害事象は,GRMが聞き取り・現場検証などの事実調査を行い,当該RM・関係者との事象の検討,患者の影響度,患者への対応などを協議している。GRMが作成した検証資料に基づき,病院長・医療安全管理部長・当該部署の責任者とRMにより原因検討を行い,重篤な事案の場合は医療事故対策部会で原因検討の上,病院の見解を明確にしている。

2. 問題点の分析方法(各部署,安全管理部門の問題点の分析方法)

1) 必要な事例については,専門分野の委員を指名し,WG,院内医療事故検討会を設置し,原因分析・再発防止策を作成する。

2) レベル3a以上の報告は,毎週月曜日にインシデントレポート検討・判定会において,レベル・過誤の判定と合併症の妥当性の検討を行うとともに,報告内容を分析し,原因と患者への影響度を検討し,医療事故報告制度への報告対象事例の判定を行っている。

3. 改善策の検討方法

1) 報告の全体的分析は,毎月と年間において実施し,発生レベル・報告状況・場面別に集計し,発生場面別や職種別の発生状況について定量的分析を行い「医療安全に関する報告集計」を作成し,各委員会に周知を図っている。また,病院運営会議においても報告し,周知を図っている。

2) 各診療科・部署の安全管理を図るために,前年度の当該診療科・部署での報告について年間集計し,当該診療科・部署での優先的課題を分析し,年度前半で,診療科・部署RM等で対策を検討し,年度末に再度,今年度の当該診療科・部署での報告について集計し,優先的課題の評価を実施し,次年度に向けて継続事項を検討している。

3) 医薬品・医療機器に関する事象については,関係専門委員会で再発防止策を検討し,システム改善・教育体制などの企画を検討している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容： 北海道大学院内感染指針は以下の項目から成っている。 1 院内感染対策に関する基本的な考え方 2 院内感染対策に関する管理組織機構 (1) 院内感染対策委員会 (2) 院内感染対策特別部会 (3) 感染制御部 (4) インфекションコントロールチーム (ICT) (4) - 2 感染防止対策チーム (5) 抗菌薬適正使用支援チーム (AST) (6) 感染対策マネージャー連絡会議 3 職員研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針 6 抗菌薬適正使用に関する基本方針 7 患者等への情報提供と説明に関する基本方針 8 感染対策に関する地域連携への取り組み 9 その他院内感染対策の推進のために基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容： ・ 院内感染防止対策の検討及び推進 ・ 院内感染防止の対応及び原因究明 ・ 院内感染等の情報収集及び分析 ・ 院内感染防止等に関する職員の教育・研修</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年18回
<p>・ 研修の内容（すべて）： 【別紙】令和5年度 感染防止に関する教育活動計画 参照</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) 「感染症のアウトブレイク発生に伴う保健所への報告基準」を制定し、保健所や大学内の報告に係る基準及び方法等について整備済みである。(平成23年6月17日医政指発第1号に基づき、平成23年8月25日病院執行会議において承認)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 感染防止対策チームを設置して、院内感染状況、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止策等の実施状況の把握と指導を行っている。 ・ 耐性菌サーベイランス、COVID-19等、感染症法に基づく院内感染症発生状況の迅速な把握と対応を行っている。 ・ 加算2・3を算定する各連携医療機関とのカンファレンスおよび加算1の連携医療施設と加算2・3の連携医療施設(各加算1連携医療施設の加算2・3医療連携施設を含む)合同カンファレンスの開催等により市内の医療機関および札幌市保健所との連携を図っている。 ・ 感染制御部専任の事務補佐員(非常勤職員)1名を継続して配置し、平成24年7月から事務職員(常勤職員)1名を配置した。 ・ 平成28年11月から、感染制御部専従の看護師1名を新たに配属した。</p>	

- ・ 平成30年12月から、感染制御部専従の薬剤師1名を新たに配属した。
- ・ 令和3年1月から、感染制御部専任の医師（助教）1名を新たに配属した。
- ・ 令和6年2月から、全手術症例のSSIサーベイランスを開始した。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年6回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1. 研修医オリエンテーション「処方全般」 開催回数：1回（2023年4月資料配布のみ）、対象：医師、歯科医師</p> <p>2. 新任職員研修「薬剤の知識とリスクマネジメント」 開催回数：1回（オンデマンド）、対象：医師以外全職種</p> <p>3. 医薬品に関する講習会「危険薬の取扱い」 開催回数：2回（集合開催）、対象：看護師他、その後部署に戻り伝達講習</p> <p>4. 異動後医師研修「危険性の高い薬剤の取り扱い」 開催回数：2回（2023年4月、10月オンデマンド）、対象：医師</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成（有）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全使用に関する手順書</p> <p>1) 医療安全上、注意を要する薬剤リスト</p> <p>(1) 特に安全管理が必要なリスト</p> <p>(2) 配合注意・投与ルートで注意を要する注射薬</p> <p>(3) 誤認に注意薬剤2) 指示・伝達ルール</p> <p>(1) 指示・伝達ルール</p> <p>(2) 口頭指示は原則禁止</p> <p>3) 内服薬に関する管理基準</p> <p>(1) 内服薬管理基準</p> <p>(2) 薬剤管理指導業務手順書</p> <p>(3) 入院患者の持参薬確認業務手順書</p> <p>(4) 誤調剤に対する調剤室対応手順</p> <p>4) 注射薬に関する管理基準</p> <p>(1) 注射業務管理基準</p> <p>(2) 注射薬混合調製（ミキシング）手順書</p> <p>5) 危険性の高い薬剤に関する手順書</p> <p>(1) 危険性の高い薬剤の取扱い手順書</p> <p>(2) カリウム注射剤取り扱いマニュアル</p> <p>(3) アナフィラキシーショックへの対応</p> <p>(4) 抗凝固・抗血小板療法施行時における出血性合併症および処置・手術時の対応</p> <p>6) 抗がん薬に関する手順書</p> <p>(1) 院内がん化学療法要項</p> <p>(2) がん化学療法実施運用手順書</p> <p>(3) 抗がん薬被爆防止に関するマニュアル</p> <p>(4) 院内におけるがん化学療法の安全性に関する取り決め</p> <p>(5) 血管外漏出およびアレルギー反応発生時の対応について</p> <p>7) 医療安全情報管理</p> <p>(1) 医療安全性情報管理体制</p> <p>(2) 薬剤部における医薬品情報管理マニュアル</p> <p>8) 医薬品管理</p> <p>(1) 病棟における注射剤管理業務手順書</p> <p>(2) 病棟における薬剤業務基準</p> <p>(3) 麻薬管理取扱い手順</p> <p>(4) 手術部における薬剤業務手順書（周術期薬剤管理）</p> <p>(5) 放射性医薬品に関する手順書</p> <p>(6) 院内製剤に関する手順書</p>	

- 9) インスリン療法マニュアル
 (1) インスリン療法マニュアル
 (2) インスリンラインナップ
 (3) 各製剤の使い方
 (4) 参考資料
 10) 医薬品の採用に関する手順書
 11) 他施設との連携に関する手順書

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)
 - ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)：
- 1) パテントブルー；センチネルリンパ節の同定
 - 2) オメガベン；栄養吸収障害の対応
 - 3) シドフォビル、フロベネシド；アデノウイルス感染症
 - 4) 厚生労働省エイズ治療薬研究班供給の各種薬剤；HIV感染症関連の治療
 - ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 医薬品の情報管理体制として、薬剤部における医薬品情報管理手順を作成し、それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」として、医薬品医療機器総合機構(PMDA)からの医療安全情報は「PMDA医療安全情報」「緊急安全性情報」「安全性速報」「PMDAから医薬品適正使用のお願い」としてメールにより診療科・部門に提供している。また、関係機関からの医薬品に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼している。
 - ・ 医薬品に関するインシデント集計・分析結果により、専門委員会やワーキング等で医薬品に関するインシデント防止対策や講習会内容の検討を行っている。
 - ・ 未承認薬に関して、未承認新規医薬品等管理部において当院で使用したことのない医薬品または高度管理医療機器であって「医薬品医療機器法」による承認または認証を受けていないものの提供に関する申請の受理および提供の可否について審査する体制としている。
 - ・ 適応外使用に関しては、薬剤部においては調剤時に確認・記録を実施している。また、医薬品適応外使用(禁忌含む)の把握と申請の徹底を図るため、医薬品適正使用ワーキングを通じて申請状況を親委員会である医薬品安全管理体制専門委員会に諮ることとなっている。また、薬剤部においては適応外ならびに禁忌薬使用状況を疑義照会履歴等で定期的に同委員会に報告し、問題がある場合は適宜、委員会から指導を行う体制としている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター：感染対策として令和5年10月1日から令和6年2月29日までにeラーニング形式で定期研修を開催した。 放射線部：年4回
<p>・ 研修の主な内容： （ME機器管理センター） 生命維持管理装置はEラーニングで実施しテスト3問とアンケート調査を実施した。</p> <p>1. 人工心肺装置・ECMO装置UNIMOを中心とした基礎的内容・テスト3問・アンケート 計50名：医師・歯科医師（8名）看護師（40名）臨床工学技士（1名）臨床検査技師（1名）</p> <p>2-1. 人工呼吸器・人工呼吸器SERVO airを中心とした基礎的内容・テスト3問・アンケート 計154名：医師・歯科医師（9名）看護師（143名）臨床工学技士（1名）臨床検査技師（1名）</p> <p>2-2. 人工呼吸器・人工呼吸器Servo iを中心とした基礎的内容・テスト3問・アンケート 計70名：医師・歯科医師（4名）看護師（64名）臨床工学技士（1名）臨床検査技師（1名）</p> <p>3. 血液浄化装置・透析装置（維持透析）を中心とした基礎的内容・テスト3問・アンケート 計57名：医師・歯科医師（4名）看護師（50名）臨床工学技士（2名）臨床検査技師（1名）</p> <p>4. 除細動器・手動式除細動器（AEDを除く）の基礎的内容・テスト3問・アンケート 計168名：医師・歯科医師（8名）看護師（156名）臨床工学技士（1名）臨床検査技師（2名）</p> <p>5. 閉鎖式保育器・閉鎖式保育器の基礎的内容・テスト3問・アンケート 計16名：医師・歯科医師（2名）看護師（12名）臨床工学技士（1名）臨床検査技師（1名）</p> <p>（放射線部） 9. 診療用高エネルギー放射線発生装置（2023/4/17, 5/16） 10. 診療用放射線照射装置（2023/12/25） 11. 陽子線治療装置（2024/1/5）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定（有）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容： （ME機器管理センター） 院内で汎用性ある医療機器については中央管理による保守点検に関する計画の策定と点検を実施し、検査部と放射線部・超音波センターは部門内で計画を策定し実施している。 その他として、単一診療科や病棟で使用する医療機器は医療機器感染管理体制専門委員会で見落としが無いように医療機器の資産台帳と照合したうえで、使用状況と廃棄の可能性および保守点検の必要性を年1回アンケート調査で計画を策定し点検を実施している。対象装置552台のうち88.8%が完了している（部材・代替器の遅延のため特定の機種の数台に遅れが生じている）。</p> <p>（放射線部） 放射線治療機器における、①始業点検、②2回/月以上の出力線量測定、③3ヶ月及び6ヶ月毎に放射線特性及び幾何学的点検、④漏洩線量等の放射線管理に関する測定を実施している。 他に製造メーカーと保守契約を結び年間4回の定期メンテナンスを実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集	

その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば):
 - 1) 3Dスキャナー、3D画像撮影装置; 顔面補綴物制作過程で使用
- ・ その他の改善のための方策の主な内容:
 - (ME機器管理センター)
医療機器安全管理体制専門委員会から年1回の院内通知で目的外・適応外使用を調査する。
調査期間以外については各診療科からの相談と申請がある際に医療機器安全管理体制専門委員会で審議し把握している。
 - (放射線部)
月に1回定例で放射線治療品質管理会議を開催。放射線科治療医、医学物理士、診療放射線技師で情報共有を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として、副病院長（医療安全担当）（医師）を配置し、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（10名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬剤部において、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認の徹底並びに適応外、禁忌等の処方に係る確認等については、薬剤師を指名して同様の業務を実施している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>薬剤部において、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認の徹底並びに適応外、禁忌等の処方に係る確認等については、薬剤師を指名して同様の業務を実施している。</p> <p>・担当者の指名の有無（有）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部，職種 薬剤師 4名） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ 有 ）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： インフォームド・コンセントについては、院内マニュアルに沿って実施し、診療録管理室が現状のモニタリングを行い、指導等を行っている。また、説明する機会も増えていることから、関連部門（各診療科・看護部）・医療安全管理部と協議してマニュアルの改正等（要項を含む）があれば、職員に周知する。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録の記載内容の確認について、毎年、各部署の診療録点検を実施し指導している。</p> <p>また、点検結果をリスクマネージャー連絡会議において報告し、各部署へ周知し、適切に診療録等の管理が行われるようにしている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（２）名、兼任（５）名</p> <p>うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（１）名</p> <p>うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（２）名</p> <p>うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（０）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療事故及びインシデント（以下「医療事故等」という。）報告の受理及び分析に関すること。 2 医療安全管理委員会の運営並びにその記録等の作成及び保存、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。 3 リスクマネージャー連絡会議の運営並びにその記録等の作成及び保存、その他リスクマネージャー連絡会議の庶務に関すること。 4 医療安全に関する教育及び研修に関すること。 5 医療現場からの医療事故等の相談に関すること。 6 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載内容の確認及び指導に関すること。 7 医療事故等の発生時における患者又はその家族への対応状況の確認及び必要な指導に関すること。 8 医療事故等に対する原因究明の実施状況確認及び必要な指導に関すること。 9 医療安全に係る連絡調整に関すること。 10 医療安全の確保に資する診療の状況の把握に関すること。 11 職員の医療安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。 12 その他医療安全対策の推進に関すること。 	
<p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に</p>	

係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（1件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・ 活動の主な内容：
 - 1 高難度新規医療技術の提供に関する実施申請の受理及び提供の可否について審査すること。
 - 2 高難度新規医療技術の実施における手順等の遵守状況の確認に関すること。
 - 3 その他高難度新規医療技術に関すること。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・ 活動の主な内容：
 - 1 未承認新規医薬品等の提供に関する申請の受理及び提供の可否について審査すること。
 - 2 未承認新規医薬品等の提供に関する実施状況の確認に関すること。
 - 3 その他未承認新規医薬品等に関すること。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年243件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年109件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- 1 医療安全管理上の問題が発生した場合の対応並びに原因究明のための調査及び分析に関すること。
- 2 医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施に関すること。
- 3 医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関すること。
- 4 医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握及び必要に応じた方策の見直しに関すること。
- 5 医療安全に関わる職員の教育・研修に関すること。
- 6 医療事故報告等に関する改善のための方策に関すること。
- 7 その他医療事故等に関すること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：福島県立医科大学））

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：島根大学））

・技術的助言の実施状況

【医療安全】

・極力対面の会議を減らして省力化を図っている点はいいことと思います。

・「6週間以内の再入院率」「48時間以内の再手術率」等、医事課と協力してデータを出している。

・インシデント報告においてオカレンス報告の設定を検討されてはいかがでしょうか？

・「6週間以内の再入院率」「48時間以内の再手術率」等、医事課と協力してデータを出しているが、数字の羅列であり、グラフにして可視化を行うと説明時に活用しやすいと思われます。

・医療安全管理委員会の対面開催は1年間で1回、10回はメール審議でした。委員会でのディスカッションが行われているかが不明です（Googleformを活用しているとのことでした）。対面の回数を増やしてもいいのではと思います。

・リスクマネジャー会議について8月はお休みとのことですが、必要な周知等が毎月あると思いますので8月の開催もご検討されるといいと思います。

・リスクマネジャー会議において周知した事柄が部署内でのどの会議等で伝達されたかの周知完了報告の提出を検討されたいのではと思いました。

【医薬品等】

・禁忌・適応外使用に該当する医薬品の把握や、未承認新規医薬品等の対応についてフローなどで分かりやすい体制となっている。

・未承認新規医薬品等の対応手順が明文化されておらず、対応者が変わると対応できないことが懸念される。体制変化にスムーズに対応できるよう明文化することが望まれる。また、承認の有効期限については、新たな医薬品の登場や治療法が変更になった時の対応として設定のできる体制を構築されることを提案します。

【高難度】

- ・ 管理部と評価委員会の役割がメンバーも分かれ権限の分離が十分できている。
- ・ 高難度技術の申請に関しフォーマットが整備されているなど申請・相談しやすい体制が整っている。
- ・ 管理部および評価委員会の開催は対面およびメール審議を行うなど働き方改革に沿った運営がなされている。
- ・ 高難度技術の対象は、診療科医師が変更になった場合、新規医療機器の把握など外保連、中保連以外の分野に関し体制が整っている。
- ・ 行われた高難度技術の定期的な報告、有害事象が発生した場合、現在どのくらいの数の高難度技術が病院内で行われているかなどモニタリングの体制が十分に整っている。
- ・ 手術部を主体に能動的モニタリングも行われているが、手術室以外で行われる高難度技術に対してどのようにモニタリングを行うか今後検討をお願いしたい。

【外部監査】

- ・ 開設者（総長）に変わり監事に参加していただいていることは適切です。
- ・ 代行で参加した監事が総長にいつ報告したかを議事録にも追記されることをご検討ください。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談室を設置し、医療支援課が対応している。医療支援課長が業務を総括している。窓口の周知方法は、外来ホールにポスターを掲示し周知している。なお、医療安全に係る情報は、GRMに連絡し、調査を行う。また、医療の質向上推進室と患者相談窓口・医療安全管理部合同会議を月1回開催し、情報を共有している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

1. 医療安全に関する講演会

「採血・穿刺時の神経損傷予防」（2019年度講演会の録画）

2. 医療安全・感染管理に関する講習会（必修研修）

「2022年度のインシデントを振り返って」、 「北海道大学病院における個人情報管理」、
「COVID-19への対応」、 「抗菌薬適正使用について」

3. 医療安全・感染管理に関する講習会（必修研修）

「患者確認と指さし呼称」、 「BLS・AED」、 「COVID-19 5類化を振り返って」、 「抗菌薬適正使用について」

4. 医療安全の日講演会

「医療における質と安全～手術医学から考えてみる～」

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：2023.11.20（継続）

医療安全管理責任者：2023.12.15 受講済（継続）

医薬品安全管理責任者：2024.1.26 受講済（継続）

医療機器安全管理責任者：2023.12.15 受講済（継続）

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2024年3月に日本医療評価機構が実施する病院機能評価（機能種別版評価項目 一般病院3
3rdG:V.3.0）の訪問審査を受審。同年8月に補充的な審査を受審。現在、審査結果報告書の連絡待ち。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本医療評価機構を通じ公表予定。

- ・ 評価を踏まえ講じた措置

審査結果報告書における評価Cの項目に対する改善の取組報告書作成予定

(注) 記載時点の状況を記載すること

令和5年度 感染防止に関する教育活動計画

2024年3月31日 感染制御部

全職員対象研修

1. 職員対象

研修区分	開催月日	対象者	参加人数	時間	内容	確認テスト正答率
1 令和5年度臨床研修医 オリエンテーション(医科)	4月3日(月) 10:15 ～ 11:15 臨床研修センター セミナー室	医科臨床研修医 (※4月1日付採用者)	18名	60分	講義:感染制御研修 講師:感染制御部長 石黒 信久	-
	採用後、随時 資料配布により実施	医科臨床研修医 (※4月2日以降採用者)	1名	-		-
2 令和5年度臨床研修医 オリエンテーション(歯科)	4月3日(月) 14:00 ～ 15:00 多職種連携教育研究 棟5Fセミナー室	歯科臨床研修医	40名	60分	講義:院内感染対策(総論・各論) 講師:感染制御部長 石黒 信久	-
3 看護部新人オリエンテーショ ン	4月3日(月) 11時45分 ～ 12時30分 臨床大講堂	看護部新入職者	102名	45分	講義:「新型コロナウイルス感染症体調管理について」 講師:感染管理認定看護師 渡邊 翼	-
4 令和5年度北海道大学病院 初任職員オリエンテーション	4月3日(月) ～ 1月31日(水) e-ラーニング	看護職	98名	30分	講義:「北大病院の感染管理」 講師:感染管理認定看護師 小山田 玲子	-
5 令和5年度北海道大学病院 初任職員オリエンテーション	4月5日(水) ～ 9月30日(土) e-ラーニング	①医療技術部 ②薬剤部 ③事務職 (※4月1日付採用者)	①16名 ②9名 ③12名 合計37名	30分	講義:「北大病院の感染制御(COVID-19への対応)」 講師:感染制御部長 石黒 信久	-
	採用後、随時 e-ラーニング	①医療技術部 (※4月2日以降採用者)	11名			-
6 異動後医師研修	4月12日(水) ～ 9月30日(土) e-ラーニング	医師(4月1日付採用者)	93名	30分	講義:「北大病院の感染制御」 講師:感染制御部長 石黒 信久	-
	採用後、随時 e-ラーニング	医師 (※4月2日以降採用者)	5名			-
	5月10日(水)					

7	第1回専門領域別研修会	17時30分 ～ 19時00分 症例検討室1.2	看護職	21名	90分	講義:「標準予防策」 講師:感染管理認定看護師 林 貴皓	-
---	-------------	-----------------------------------	-----	-----	-----	---------------------------------	---

8	第1回医療安全管理部・感染制御部合同講演会	7月7日(金) 17時30分～ 18時30分 臨床大講堂	リスクマネジャー サブリスクマネジャー 感染対策マネジャー 感染対策サブマネジャー	132名	60分	1)2022年度のインシデントを振り返って 医療安全管理部長 南須原 康行 2)個人情報保護について 医療安全管理部長 南須原 康行 3)抗菌薬適正使用について 感染制御部薬剤師 鏡 圭介 4)COVID-19 5類化をどう迎えるか 感染制御部長 石黒 信久	正答率 1)98.4% 2)98.4% 3)98.4% 4)96.1% 5)98.4%
9	新入看護職員 オリエンテーション	8月1日(火) 10時00分～ 11時00分 看護部会議室	看護職	2名	60分	「北大病院の感染管理」 感染管理認定看護師 小山田 玲子	-
10	第2回専門領域別研修会	8月10日(木) 17時45分～ 18時45分 症例検討室1.2	看護職	3名	60分	講義:感染管理分野「感染経路別予防策」 講師:感染管理認定看護師 渡邊 翼	-
11		8月17日(木) 17時45分～ 18時45分 症例検討室1.2	看護職	4名			-
12	第1回医療安全管理部・感染制御部合同講演会	8月22日(火) ～ 10月25日(水) Safety Plus	病院全職員 ①医師・歯科医師 ②看護師 ③中央診療部門 (薬剤師/検査技師など) ④事務 ⑤その他	2,765名	約60分	1)2022年度のインシデントを振り返って 医療安全管理部長 南須原 康行 2)個人情報保護について 医療安全管理部長 南須原 康行 3)抗菌薬適正使用について 感染制御部薬剤師 鏡 圭介 4)COVID-19 5類化をどう迎えるか 感染制御部長 石黒 信久	正答率 1)100% 2)100% 3)100% 4)100% 5)100%
13	新入看護職員 オリエンテーション	9月1日(金) 10時00分～ 11時00分 看護部会議室	看護職	2名	60分	講義:「北大病院の感染管理」 講師:感染管理認定看護師 小山田 玲子	-
14	新型コロナウイルス感染症対策研修(e-ラーニング)	10月2日(月) ～ 3月31日(日) Safety Plus 病院情報システム (HIS端末)	病院全職員 ①医師・歯科医師 ②看護師 ③中央診療部門 (薬剤師/検査技師など) ④事務 ⑤その他	1)Safety Plus 910名 2)HIS端末 1,285名 合計 2,195名	15分	講義:「新型コロナ5類化の課題」 講師:感染制御部長 石黒 信久	-
15	新入看護職員 オリエンテーション	11月1日(水) 9時00分～ 10時00分 看護部会議室	看護職	2名	60分	講義:「北大病院の感染管理」 講師:感染管理認定看護師 小山田 玲子	-
16	新入看護職員 オリエンテーション	12月1日(金) 9時00分～ 10時00分 看護部会議室	看護職	1名	60分	講義:「北大病院の感染管理」 講師:感染管理認定看護師 小山田 玲子	-
17	e-ラーニング 「検体採取の注意点」	1月9日(火) ～ 3月31日(日) e-ラーニング(HIS端末)	検体採取に関わる全職員	583名	約10分	・SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出 ・SARS-CoV-2検査PCR ・CD抗原チェック ・抗菌薬検査:TBボトルとTB-PCR ・採血管の転倒混和 ・採血量の厳守について ・水冷検体について ・血液ガスについて	-
18	第2回医療安全管理部・感染制御部合同講演会	1月17日(水) ～ 3月25日(月) Safety Plus	病院全職員 ①医師・歯科医師 ②看護師 ③中央診療部門 (薬剤師/検査技師など) ④事務 ⑤その他	2,877名	約60分	1)患者確認と指さし呼称 2)BLS/AED 講師:救急科 吉田 知由 3)COVID-19 5類化を振り返って 感染制御部長 石黒 信久 4)抗菌薬適正使用について 感染制御部専従薬剤師 新沼 悠介	正答率 1)100% 2)100% 3)100% 4)100%

合計	8,992 名
----	---------

2. 院内学級・外注職員・ボランティア

	研修区分	開催月日	対象者	参加人数	時間	内容
1	夜間看護補助者 オリエンテーション	4月17日(月) 14:30 ～ 15:00 看護部会議室	夜間看護補助者 (ルフトメディカル)	2名	30分	講義:「標準予防策」 講師:感染管理認定看護師 渡邊翼
2	夜間看護補助者 オリエンテーション	5月1日(月) 14:00 ～ 14:30 看護部会議室	夜間看護補助者 (ルフトメディカル)	2名	30分	講義:「標準予防策」 講師:感染管理認定看護師 渡邊翼
3	院内学級 第1回感染対策講習会	5月11日(木) 11:20 ～ 12:00 ひまわり分校	①小中学校生徒 ②教員 ③その他(保護者)	①1名 合計1名	40分	講義:「院内感染予防」 実習:「手洗い」 講師:感染管理認定看護師 林 貴皓
4	夜間看護補助者 オリエンテーション	6月5日(月) 15時15分 ～ 15時45分 看護部会議室	夜間看護補助者 (ルフトメディカル)	2名	30分	講義:「標準予防策」 講師:感染管理認定看護師 渡邊翼
5	看護補助者研修	7月10日(月) 14時30分 ～ 15時00分 看護部会議室	看護補助者	8名	30分	講義:「標準予防策」 講師:感染管理認定看護師 渡邊翼
6	看護補助者研修	8月1日(火) 13時30分 ～ 14時00分 特別会議室	看護補助者	3名	30分	講義:「標準予防策」 講師:感染管理認定看護師 渡邊翼
7	第1回外注職員 清掃作業員教育	8月2日(水) 15時30分 ～ 16時30分 医系多職種連携教育 研究棟5階セミナー室 C	清掃作業員 (キョウワプロテック)	43名	90分	講義:「①除塵②安全なごみの運搬③トイレ清掃④ジャンナーカート」 演習:「①除塵」 2階中央診療棟北2階廊下の排気口及びロッカーの除塵、 物流管理センター内入り口の排気口及びロッカー 「②トイレ清掃」 医系多職種連携教育研究棟(クリニカルシミュレーションセンター) 2階多目的トイレ、女子トイレ 講師:感染制御部/感染管理認定看護師 小山田玲子、渡邊翼 安全衛生管理室/衛生管理者 新山久美、田島綾子
8	看護補助者研修	8月3日(木) 13時30分 ～ 14時00分 特別会議室	看護補助者	2名	30分	講義:「標準予防策」 講師:感染管理認定看護師 渡邊翼
9	第2回外注職員 清掃作業員教育	8月3日(木) 15時30分 ～ 16時30分 医系多職種連携教育 研究棟5階セミナー室 C	清掃作業員 (キョウワプロテック)	29名	90分	講義:「①除塵②安全なごみの運搬③トイレ清掃④ジャンナーカート」 演習:「①除塵」 2階中央診療棟北2階廊下の排気口及びロッカーの除塵、 物流管理センター内入り口の排気口及びロッカー 「②トイレ清掃」 医系多職種連携教育研究棟(クリニカルシミュレーションセンター) 2階多目的トイレ、女子トイレ 講師:感染制御部/感染管理認定看護師 小山田玲子、渡邊翼 安全衛生管理室/衛生管理者 新山久美、田島綾子
10	院内学級 第2回感染対策講習会	9月7日(木) 11:20 ～ 12:00 ひまわり分校	①小中学校生徒 ②教員 ③その他(保護者)	①4名 ②4名 ③5名 合計13名	40分	講義:「院内感染予防」 実習:「手洗い」 講師:感染管理認定看護師 渡邊 翼

11	院内学級 第3回感染対策講習会	2月8日 (木) 11:20 ～ 12:00 ひまわり分校	①小中学校生徒 ②教員 ③その他(保護者)	①4名 ②4名 ③0名 合計8名	40分	講義:「院内感染予防」 実習:「手洗い」 講師:感染管理認定看護師 林 貴皓
----	--------------------	---	-----------------------------	---------------------------	-----	--

合計	113	名
----	-----	---

3. 学生・研修生・他院対象

	研修区分	開催月日	対象者	参加人数	時間	内容
1	小児科学・小児外科学	5月10日(水) 8時45分～ 10時15分 第3講堂	医学部学生	92名	90分	講義:「小児科学・小児外科学」 講師:感染制御部長 石黒 信久
2	全学教育 「感染症と免疫」	5月11日(木) 16時15分～ 18時00分 高等教育推進機構N2 教室	北大学生	42名	105分	講義:「感染症と免疫」 講師:感染制御部長 石黒 信久
3	北海道医療大学 認定看護師研修センター	6月19日(月) 9時10分～ 12時40分 北海道医療大学 サテライトキャンパス 講義室A	感染管理分野 認定看護師研修生	29名	180分	講義:「感染症学各論」 講師:呼吸器内科/感染制御部助教 中久保 祥
4	北海道医療大学 認定看護師研修センター	7月3日(月) 9時10分～ 12時40分 北海道医療大学 サテライトキャンパス 講義室A	感染管理分野 認定看護師研修生	29名	180分	講義:「医療関連感染サーベイランス各論 カテーテル関連血流感染サーベイランス」 講師:感染管理認定看護師 渡邊 翼
5	北海道医療大学 認定看護師研修センター	7月10日(月) 13時00分～ 14時30分 北海道医療大学 サテライトキャンパス 講義室A	感染管理分野 認定看護師研修生	29名	90分	講義:「職業感染対策」 講師:感染管理認定看護師 小山田 玲子
6	北海道医療大学認定看護師 研修センター 感染管理分野実習	9月7日(木) ～ 10月17日(火)	認定看護師研修生	1名	41日間	臨地実習
7	中学生の職場体験	10月26日(木) 10時15分～ 11時15分 入札室	北海道教育大学附属札幌 中学校	12名	60分	講義:「自分を守る感染対策」 講師:感染管理認定看護師 小山田 玲子
8	統合・感染症学	11月16日(木) 8時45分～ 10時15分 第3講堂	北海道大学医学部 3年次学生	90名	90分	講義:「細菌感染症、深在性真菌感染症、寄生虫感染症&輸入感染症」 講師:感染制御部長 石黒信久
9	統合・感染症学	11月16日(木) 10時30分～ 12時00分	北海道大学医学部 3年次学生	95名	90分	講義:「耐性菌の発生秩序、MRSA感染症&発熱患者へのアプローチ」 講師:感染制御部長 石黒信久
10	統合・感染症学	11月17日(金) 8時45分～ 10時15分	北海道大学医学部 3年次学生	78名	90分	講義:「ウイルス感染症予防接種の適応と意義」 講師:感染制御部長 石黒信久

11	統合・感染症学	11月17日（金） 10時30分 ～ 12時00分	北海道大学医学部 3年次学生	92名	90分	講義:「院内感染対策、感染症関連の医療訴訟事例から学ぶ教訓」 講師:感染制御部長 石黒信久
12	統合・感染症学	11月22日（水） 8時45分 ～ 10時15分	北海道大学医学部 3年次学生	72名	90分	講義:「検体の取り扱いと診断法について」 講師:感染制御部長 石黒信久
13	統合・感染症学	11月22日（水） 8時45分 ～ 10時15分	北海道大学医学部 3年次学生	71名	90分	講義:「新型コロナウイルス感染症」 講師:感染制御部長 石黒信久

合計	732	名
----	-----	---

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 医療法第10条に規定する者であって、人格が高潔で、学識に優れ、かつ、組織管理能力等の病院を管理する上で必要な資質及び能力並びに医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 本学ホームページで公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理上の問題が発生した場合の対応並びに原因究明調査及び分析に関する事。 2. 医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施に関する事。 3. 医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関する事。 4. 医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握及び必要に応じた方策の見直しに関する事。 5. 医療安全に関わる職員の教育・研修に関する事。 6. 医療事故報告等に関する改善のための方策に関する事。 7. その他医療事故等に関する事。 <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院運営会議 2. リスクマネジャー連絡会議 <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（ 無 ）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（ 無 ）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
渥美達也	○	医師	病院長
平野聡		医師	副病院長／臨床研修センター長
佐藤嘉晃		歯科医師	副病院長（歯科担当）
南須原康行		医師	医療安全管理責任者／医療安全管理部長 ゼネラルリスクマネジャー（医師）
根岸淳		歯科医師	医療安全管理部副部長 ゼネラルリスクマネジャー（歯科医師）
藤原晶		医師	ゼネラルリスクマネジャー（医師）
岡本千秋		看護師	ゼネラルリスクマネジャー（看護師長）
太田絢		看護師	ゼネラルリスクマネジャー（副看護師長）
植田孝介		薬剤師	ゼネラルリスクマネジャー（薬剤師）
宮前祐士		薬剤師	ゼネラルリスクマネジャー（薬剤師）
石田晋		医師	手術部長
武富紹信		医師	物流管理センター部長
遠藤晃		教員	医療情報企画部長
豊嶋崇徳		医師	国際医療部長
安斉俊久		医師	ME機器管理センター部長
菅原満		薬剤師	薬剤部長／未承認新規医薬品等管理部長

岡 林 靖 子		看護師	看護部長
渡 邊 千 秋		臨床検査技師	医療技術部長
石 黒 信 久		医師	感染制御部長
小 野 尚 子		医師	高難度新規医療技術管理部長
佐 藤 典 宏		医師	臨床研究開発センター長
長 川 武 司		事務	事務部長
賀 古 勇 輝		医師	附属司法精神医療センター長
渡 利 英 道		医師	教授（産科，婦人科）
氏 家 英 之		医師	教授（皮膚科）
真 部 淳		医師	教授（小児科）

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 無 ）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容
 病院長は、副病院長を総長へ推薦、病院長補佐を指名、診療科長、中央診療施設等の長を命ずる権限を有している。
 病院執行会議、病院教員人事委員会等病院の管理運営・経営・人事に係る重要な会議において議長となり議決している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 副病院長（総務担当）は、病院全体の運営にかかる連絡調整を行い、副病院長（医科担当）は、医科診療科の総括及び他部署との連絡調整を行い、副病院長（歯科担当）は、歯科診療科の総括及び他部署との連絡調整を行い、副病院長（医療安全・労務管理担当）は、医療安全及び労務管理にかかる総括及び他部署との連絡調整を行い、副病院長（看護業務・患者サービス担当）は、看護部の統括、患者サービスの向上及び他部署との連絡調整を行っている。

 また、病院長補佐（病院経営、再開発、施設担当、歯科担当、経営戦略担当、経営・事務担当、研究、地域連携、国際担当、臨床研究中核、産官学、研究支援担当、病院経営、医療技術担当）は、病院長が特に命じた事項について、企画及び立案並びに病院に各部署間の連絡調整を行っている。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 本院職員のうち、長年職務に精通し、経験豊富な者から人選する。
 研修は組織管理、働き方改革に関するシンポジウム等に参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員会の開催状況：年2回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 北海道大学病院の医療に係る安全管理の業務執行の状況について、北海道大学病院長等から報告を求め、又は必要に応じて確認を実施すること。 2. 北海道大学病院の医療に係る安全管理について、北海道大学総長及び病院長に報告し、必要に応じて是正措置を講じるよう意見を述べること。 3. 前2号に掲げる業務について、その結果を公表すること。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有） ・ 委員名簿の公表の有無（有） ・ 委員の選定理由の公表の有無（有） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有） ・ 公表の方法：北海道大学ホームページ 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
橋場 弘之	田村・橋場法律相談事務所	○	法律に関する識見を有する者	無	1
橋本 暁佳	札幌医科大学		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
高田 久	北海道盲導犬協会		医療を受ける者	無	2
向野 雅彦	北海道大学大学院		医療を提供する者	無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
既存の大学規程や内部規程で対応

- ・ 専門部署の設置の有無（ 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）

- ・ 公表の方法
北海道大学病院ホームページ

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成30年10月に「国立大学法人北海道大学病院管理運営協議会」を設置し、年1回、特定機能病院としての管理・運営状況について調査・審議している。 なお、構成員は以下のとおりである。 (1) 医療に係る識見を有する者 若干名 (2) 法律に関する識見を有する者 若干名 (3) 病院の管理及び運営に関する識見を有する者 若干名 (4) その他総長が必要と認めた者 ・ 会議体の実施状況（ 年1回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有 ）（ 年1回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 北海道大学ホームページ（全学規則集）に掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
中村 隆	札幌総合法律事務所	○	無
松家 治道	北海道医師会長		無
渡辺 敦	札幌医科大学附属病院長		無
行松 泰弘	北海道大学理事		有

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ）・ 通報件数（年6件）・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ）・ 周知の方法 <p>→リスクマネジャー連絡会議にて年に2回必ず周知している</p> <p>院内専用端末にて掲載</p>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>広報誌及びウェブサイトにて、本院の理念と目標、地域の中核病院としての役割、先進的な医療に関する情報提供を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>診療科間の連携についてのルールが整備されており、他診療科への受診依頼、依頼先においての検査結果等の患者情報が電子カルテを通して共有されている。患者の情報が不足している場合は補足説明を電話で直接行う等により、緊密かつ緊急に連携できる体制を整えている。</p>	